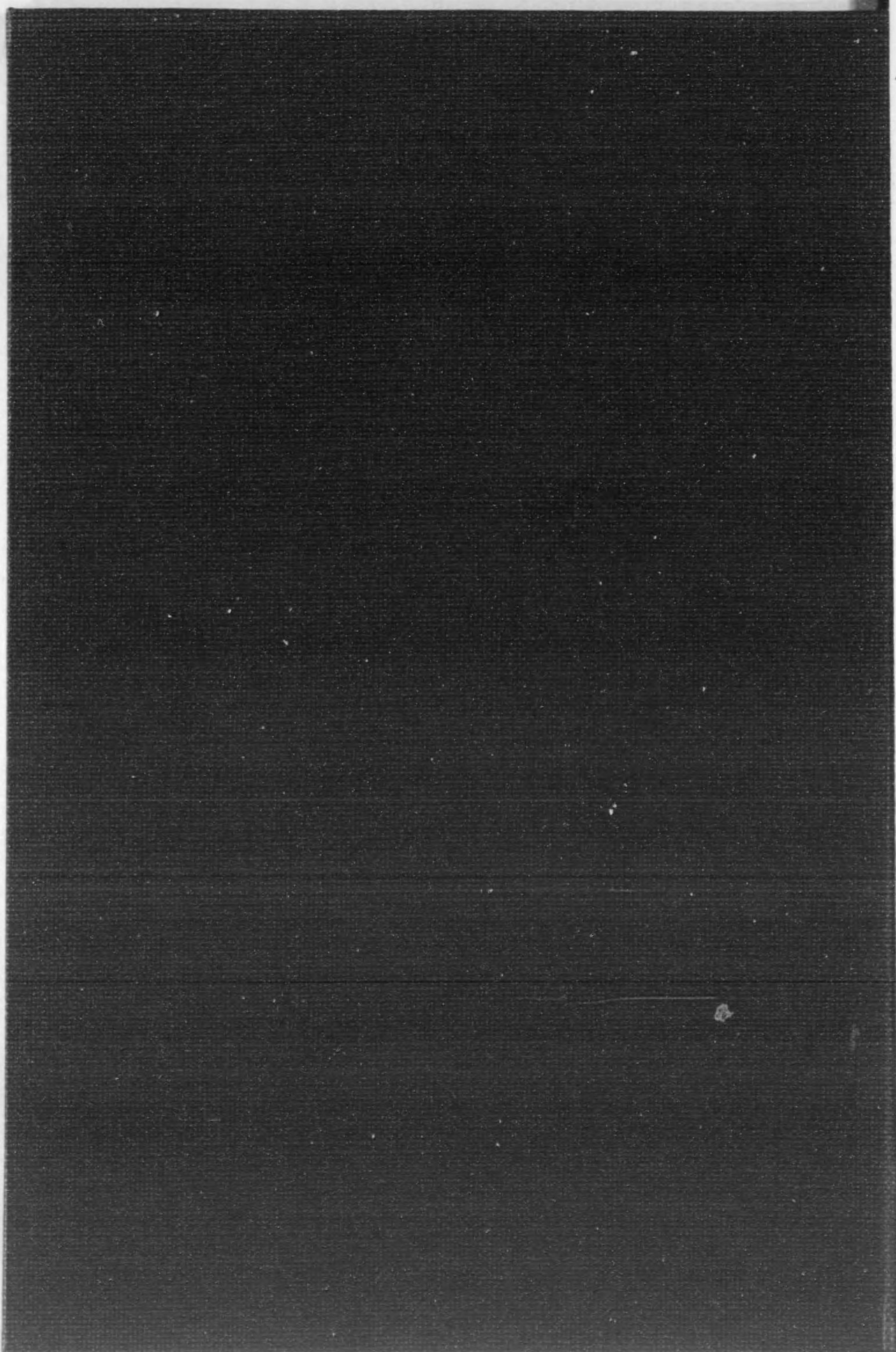


始



HZ 411 19

326
211

戰時
國地
方資
料
第五輯

內務省地方局

326-211



戰時
列國

地方資料

第五輯

內務省地方局

寄贈本

大正
6. 11. 28
寄贈

凡例

一、本輯は今次の大戦争か世界各国の經濟財政に及ぼせる變動の状態竝に交戦各國か國民志氣の振興に關して採りたる方策及各國民志氣の發露に關する資料を輯録せり。

一、背後に於ける財力の如何は近世戰術の變化に伴うて益、其の勝敗の決定に重要な影響を及ぼすに至れり。特に今次の時局に於て其の然るを見る。隨て各國政府は戰費の調達、物資の供給に苦心慘慚し勢ひ非常の手段に據らざるを得ざるに至り財政經濟の

凡例

二

状態に著しき變動を與へたり。即ち此の經濟事情の轉機を瞥見するは亦徒爾の業にあらざるへし。

一、一國の興廢は繋りて一に國民の志氣にあり。是を以て各交戰國政府は深く意を軍事思想の涵養、一般國民の志氣の振興に傾注せざるはあらず。是等當局の施設、國民精神の發露は亦以て他山の石と爲すへし。一、本輯は其の内容により二編と爲す。更に之を章節に分ちしは閱讀の便宜を計るの意に出づ。

大正六年十一月

内務省地方局

目次

第一編 戦時の財政經濟

第一章 戦時の地方財政

第一節 佛國セーヌ縣豫算

第二節 巴里市債發行に關する布令

第三節 巴里市債發行に關する市會意見

第二章 戦時に於ける各國經濟事情の變遷

第一節 交戰諸國

一 總説

二 戦亂と經濟關係の變遷

三 英國の經濟事情

目次

四 露國の經濟事情……………六三

五 伊太利の經濟事情……………七四

六 日本の經濟事情……………七九

第二節 中立諸國……………八一

一 和蘭及白耳義の經濟事情……………八四

二 スカンデナヴィヤ諸國の經濟事情……………九二

三 西班牙の經濟事情……………九六

四 米國の經濟事情……………一〇〇

第二編 軍國氣質……………一一九

第一章 軍事教育……………一一九

第一節 米國に於ける青年の軍事教育論……………一一九

第二節 獨逸に於ける青年の軍事豫備教育論……………一三〇

第二章 士氣の振興……………一三九

第一節 海外英人愛國組合……………一三九

第二節 英國に於ける囚徒の愛國心……………一四四

第三節 佛國民の勇武……………一四七

第四節 戰線背後の佛國農民……………一六一

第五節 佛國婦人の愛國心……………一六五

第六節 佛國に於ける學校と戦争……………一七七

第七節 勃牙利兵の手紙……………一八九

第八節 海外に於ける獨逸人の愛國心……………一九三

第九節 時局と獨逸都市の活動……………二〇〇

第十節 獨逸に於ける自由祖國協會……………二〇七

第十一節 獨逸の馬鈴薯麵粉精神……………二一五

第十二節 普國議會に於ける首相の演説……………二二〇

第十三節 奥國の兒童と軍務服役……………二二五

第三章 軍資の醜獻……………二三一

第一節 海外英人の獻金……………二三一

第二節 英國獻金美談……………二三八

第三節 獨逸皇帝の優詔……………二四九

第四節 海外獨逸人の犠牲心……………二五二

第五節 伯林赤十字社の後援事業……………二五四

戰時
國時
地方資料 第五輯

第一編 戰時の財政經濟

第一章 戰時の地方財政

第一節 佛國セーヌ縣豫算



(一九一七年四月二十一日佛國經濟雜誌所載)

摘要 佛國セーヌ縣に於て、千九百十六年度の財政状態を見るに、失業者救助費、郊外町村用石炭貯藏庫建設費及被動員者家族の割増給與金等の支出の爲歳出過の結果を來したるを以て、三回に涉り總計六千二百二十二萬二千七百法の縣債を發行せざるを得ざりき。

一、千九百十七年度の豫算に於ては、歳入總額一億七千二百二十七萬七千七百

第一編 戰時の財政經濟

五十六法餘にして、歳出總額一億六千九百八十萬九千七百七十八法餘外豫備百四十六萬七千三百七十七法餘なりとす。而して收支の權衡を保つ爲、更に新縣債の發行を爲さむとす。即ち縣會の決議に依れば、一箇年の償還年限及最高利率六分五厘の條件を以て四千七百萬法の起債を爲し、而して之が財源に就ては從來の慣例に依り百分附加税に據らむとす。一、今稅收入の豫算を見るに、地租、人別動産稅及門窓稅の百分附加税に就ては自然増收ありとするも、營業稅に於て減少ある爲總額九十七萬二千法を計上せらるゝに過ぎず、之を千九百十四年に比し約六萬法の減收なり。又經常百分附加税は四千三百九十九萬五千法餘に計上せらるゝも、非常百分附加税に至ては全部、既定大道路工事に充當せらるゝ者とす。一、尙豫算報告員の説明に依れば、セーヌ縣は各種の慈惠救濟事業の爲、約一億二千萬法を負擔するを以て頗る過重なるものと言はざるべからず。

*

*

*

千九百十七年度に適用せらるべきセーヌ縣豫算は、巴里市の豫算の如く千九百十五年度及千九百十六年度の豫算編製の際に選擇されたる資料とは甚だ異なりたる標準に依れり。現に同縣廳及同縣會は千九百十四年度豫算の計數を殆ど變更せずして模倣するを避け理論に拘泥せず假定の計數を捨て、最も事實に近き計數を採用したり。

セーヌ縣會は縣負擔に屬する社會連帶責任の諸費、就中失業者救助費、郊外町村の用途に供せむとする石炭貯藏庫建設費及被動員者の家族の割増給與金等を支辨せむが爲には、前二箇年の經過に徴し、非常財源を探索するの義務あることを承認したり。故に同會は千九百十四年九月二十一日布令及同布令の追認を目的とせる千九百十五年三月十七日法律を以て、同縣に附與されたる特權を利用し二千四百五萬二千七百法の縣債證券 (Bons départementaux) 發行の手段を採らむとせりと雖、幸にして石炭の殘餘ありて之に要する費用を減ぜしを以て、其の發行高は千九百五萬二千七百法に減ぜられたり。

一九一六年
末に於ける
一年度の
債總額

千九百十五年十二月二十三日に至り更に縣會は千九百十六年度歳入出豫算の均衡を確保する爲、並に該年度の最初四箇月間に對し千九百十四年八月五日の法律に規定されたる給與金を受くべき被動員者の家族中子女一人毎に給與せらるべき二十五サンチム^の割増金の拂渡に備へむが爲、更に一千九百七十七萬法の縣債の發行を議定したり。其の後三箇月を経て千九百十六年四月十六日に至り、千九百十六年の八箇月間の割増金拂渡に要する爲、更に二千二百四十萬法の起債を爲さむとす。故に同縣知事が千九百十七年度の豫算案に添付せし覺書(Memoire)に特に附記せし如く、結局千九百十六年度の豫算は四千二百七十七萬法の縣債の發行を待て始めて收支の均衡を得たるものと謂ふべし。其の發行高に最初の發行高即ち一千九百五萬二千七百法を加算するときは、縣債の總額は千九百十六年度末に於て六千二百二十二萬二千七百法に達す。假令前記の起債後幾ならずして支拂殘餘の莫大なる金額の拂渡を爲すの必要ありたりと雖、恰も縣の財政状態豊かなりしを以て、千九

一九一七
年度の
歳入
概算

知事
提案
の
豫算
と
の
比較

百十六年度末迄千九百十六年度の豫算に豫定したる縣債の實收(Realisation)を延期することを得たり。

以上記述せしものは千九百十七年度の豫算審議の際に於けるセーム縣財政の状況なり。千九百十七年度の豫算は昨年十二月三十一日の縣會に於て可決せられたり。而して其の議決歳入出豫算概要左の如し。歳入總額は一億七千二百七十七萬七千五百五十六法二十九サンチム、歳出總額は一億六千九百八十八萬九千七百七十八法七十二サンチムにして、臨時の支出の爲、豫備金として百四十六萬七千三百七十七法五十七サンチムを計上せらる。然るにセーム縣知事が縣會に提出したる豫算覺書に計上せる千九百十七年度の歳入總額は一億五千三百五十三萬八千三百三十三法六サンチム、歳出總額は一億五千二百三十六萬八千三百三十三法六サンチム(豫備金を除く)なるを以て、更に縣債を起し二千九百五十九萬七千九百三十五法十七サンチムに豫定されたる歳出過を補充し以て收支の權衡を立てむとせるなり。故に縣知

事提案の豫算案の金額と縣會に於て議決せし金額との間には、歳入に於て千七百七十三萬九千二十三法二十三サンチーム、又歳出に於て千七百四十四萬千六百四十五法六十六サンチームの差額あり。其の因つて生じたる理由を観るに、歳入に就ては債券の増額千七百四十萬二千六十四法八十三サンチーム及各種の自然増収三十三萬六千九百五十八法四十サンチームより、又歳出に就ては下記の點より來るなり。即ち公設低廉家屋事務局 (Office public des habitations à bon marche) 費千萬法、郊外町村の慈惠事務局補助金三百萬法、生活費の騰貴に對する職員の手當及家族扶養者の給與金 (allocations pour charges de famille) 二百三十五萬五千法、救濟兒童收容費の増額百二十二萬九千法、戦時事業補助金六十萬法、雜支出の増額二十五萬七千六百四十五法六十六サンチーム是れなり。

一九一七
年度起債
額及其の
財源

然れども豫算上收支の權衡を保たむとするには、多額の縣債を發行せざるを得ざるを以て、縣會は之に關し一種の決議を可決したり。其の決議に依れ

一九一七
年度起債
額及其の
財源

ば償還期限を一箇年とし最高利率六分五厘を以て四、千、七、百、萬法の新縣債發行に必要なる手續を當該官憲に稟請せむことを縣知事に委ね、且該縣債の償還に充當する財源は、慣習に従ひ之を翌年度の豫算に計上せむとせり。實際セーヌ縣は百分附加税 (Centimes additionnels) を課するの外他に據るべき財源を索むるに由なしと雖、縣知事の既に説明せる如く、目下議院に於て審議中なる政府財政改革案の如何に依り直接税の本税に著しき變動を生ずるやも計られざるを以て、此の際財源を百分附加税に求むるの策は甚だ其の時を得ざるに似たり。彼の有名なる古來の四直接税(地租、人別動産税、門窓税、營業税)は政府の財政に對し未だ十分の使命を果さずと雖、政府は法律上の假定に據り依然百分附加税を以て府縣及市町村の豫算の財源と爲せり。

方今縣の本税負擔額は地租 (Contribution foncière) 二千五百七十六萬八千四百法、人別動産税 (Contrib. personnelle-mobilière) 二千三百七十五萬四千法、門窓税 (Contrib. des portes et fenêtres) 九十九萬二千法、營業税 (Contrib. des patentes) 三千六百七十五萬九千

法なるを以て、**縣附加税**(Centime départemental)の収入額は九十七萬二千法なり。營業税に關して茲に注意すべきは、千九百十四年度の本税額四千五百八十萬四千七百八十五法八十九サンチームは、戦争の爲商工業に及ぼせし經濟上の影響に因り約一千萬法を減ぜしも、經濟上の恐慌稍沈靜したるを以て、再び約八十萬法を増加したり。又假令地租、人別動産税、及門窓税の百分附加税に就ては自然增收あり得とするも、千九百十四年度に於る縣附加税 (Centime départemental) 額は百三萬一千六百二十一法六十五サンチームにして其の年々て毎年四萬法を増加せしにも拘らず、千九百十六年度には現時の事件の爲九十四萬七千六百四法に減じ、千九百十七年度の豫算に従ふときは九十七萬二千法乃至九十七萬三千法を計上せらるゝに過ぎず。本年度に對するセーヌ縣の**經常百分附加税** (Centimes additionnels ordinaires) の豫定収入は四千三百九十九萬五千二百法に見積られ、**非常百分附加税** (Centimes additionnels extraordinaires) に至ては其の収入は全部千九百四年二月十二日の法律を以て認可せられたる

郊外町村
償還金

巴里市又は郊外町村に於ける大道路工事の爲募集されたる縣債の償還に充當せざるを得ざるなり。千九百十六年度に於ては本税一法に對し九サンチーム十分の七の附加税収入を該縣債に充當するを要せしも、千九百十七年度に於ては八サンチーム十分の五の豫定額にて足れるが如し。

又臨時歳入中には巴里市の貯炭庫を模倣して建設されたる所謂豫備倉庫 (Stock de précaution) と稱する石炭庫を郊外に設置したる爲、要せし費用の一部を、郊外町村 (les communes suburbaines) より償還するを以て、其の収入を計上するを要す。千九百十六年七月十二日縣會の決議に依れば、該建設費は容積每噸八十五法の割合にして總噸數九萬噸なるを以て、其の建設費は七百六十五萬法となるなり。而して其の金額の五分の四は町村の負擔にして、其餘は縣に於て負擔するものとす。千九百十六年度の豫算に掲げたる該償還金の豫定収入は百五十三萬法なるを以て、町村償還金の四分之一に相當し、其の殘額四百五十九萬法は千九百十七年度に實收せらるべき収入中に計上せられたり。

本年度のセーヌ縣豫算に關する一般報告は、ジルー氏の後任者なるアンリ・セリエー氏に依り爲されたり。同氏が昨年十二月三十一日縣會議場に述べたる有益なる説明中、就中下記の事實は最も注目に値す。千九百十六年度の豫算には臨時費と看做すべきものにして、而かも之に充つべき収入なきものあり。是れ即ち生活費の騰貴に因り職員に給與すべき手當金二百八十五萬法、郊外に在る小學校の男女代教員に給與する舍宅料五十七萬法、被動員者の兒童に下付せらるゝ割増給與金(日々二十五)一千七百萬法、慈惠事務局臨時補助金三百萬法、セーヌ縣低廉家屋事務局の寄附金一千萬法合計三千三百九十八萬六百元法是れなり。尙茲に注意すべきは、前記の一千七百萬法の金額は召集されたる兵卒の爲同意したる割増給與金を確實に六月間支拂ふに足らざることなり。實に慈惠的事業の爲、セーヌ縣の負擔の如何に過重なる乎を見るべきなり。加之本年度の豫算は其の年度の支出にあらざるも、其の以前に企畫せられし事業費、例へば千九百十六年度に發行せられ更に其の募集契

約を更改されたる千九百萬法の債券の償還及セーヌ縣石炭庫の建設に要せし若干金額の支拂の如き支出を負擔せり。

之を要するに前記の事業は、千九百十七年度の歳入に於て合計二千三百六十四萬二千七百法、又歳出に於て二千七百四十六萬六千五百五十一法三十八サンチームなるを以て、勢ひ三百八十二萬三千八百五十一法三十八サンチームの缺損を生ずることゝなるなり。若し三千四百萬法に近き臨時費を除くときは、經常歳入は一億六十三萬四千四百五十六法二十九サンチームとなり、歳出は一億八百三十六萬二千六百二十七法、三十四サンチームとなるを以て、結局七百七十二萬八千七百七十一法五サンチームの缺損を生ずべき結果に歸着せむとす。而して其の缺損額たるや永久的のものにして、戦亂の爲縣附加税の課税額にして減收せられずむば生ぜざりしものと看做すを得べし。今前記の諸計數を合算するときは、歳入の總計は一億二千四百二十七萬七千五百五十六法二十九サンチームとなり、又歳出の合計は一億六千九百八十二萬九

千七百七十八法七十二サンチームとなり、更に之に準備金百四十六萬七千三百七十七法五十七サンチームを加ふるときは、其の總計は上述せし如く一億七千二百七十七萬七千五百五十六法二十九サンチームとなり、四千七百七十七法の缺損を生ぜむとす。從て之が爲之に相當する債券を發行し、其の缺損を補充するを要するなり。

千九百十七年度セーヌ縣當初豫算に掲げられたる主なる歳入左の如し。
 經常百分附加税四千三百九十九萬五千二百法、非常百分附加税八百二十六萬八千三百七十五法、縣有地より生ずる收入及其の事業收入二百四十萬五千四百二十四法六十サンチーム、經常補助金四千六百六十六萬九千九百五十七法八十七サンチーム、臨時補助金四十六萬一千十六法六十五サンチーム、縣債六千六百五萬二千七百法、臨時收入四百六十一萬六千四百四十三法九十二サンチームなり。經常補助金の章には、其の總額を掲ぐるも其の内譯は、救濟兒童、資力なき老衰者、癡疾者、不具者、瘋癲病者の救助、其他縣の救濟事業及道路事業に

一九一七年度豫算
 主なる歳入
 たる目

必要なる諸費中政府、巴里市、町村及個人の補助金若は分擔額を含む。

又歳出に關しては特に左記の費目を擧ぐるを要す。即ち俸給及應費四百九十三萬六千六十五法八十九サンチーム、縣道の敷設、設計、變更及維持に關する費用三百十萬三千二百十法八十五サンチーム、町村道の敷設、設計、變更及維持に關する費用二百四十一萬九千六百六十九法、救濟兒童費千七百五十二萬五千二百五十一法六十七サンチーム、資力なき老衰者、癡疾者及不具者の救助費二千八百六萬九千六百五十二法、多數家族家庭救濟費二百十九萬七千三百八十七法、其他の救濟費千四十一萬五千四百九十九法十九サンチーム、瘋癲病者救療費千七百五十一萬一千六百三十三法、町村經常費の補助額二百萬二千七百六十五法六十五サンチーム、其他若干の臨時費合計(町村及營造物の)は三千二百九十一萬法、教育費の補助金二百七十一萬六百七十八法八十三サンチーム、縣債募集費三千三百九十一萬二千三百六十一法九十一サンチームなりとす。

若し該豫算より縣債の費用及縣の經常支出を控除するときは、アンリー、セリエー氏の舉示せし如く、一億二千萬法以上の費用が經常及臨時の救濟事業に供せらるゝや明なり。此の負擔は本論中に記述せし莫大なる縣債の償還に依り著しく減ぜられたりと雖、尙頗る重荷なりと謂はざるべからず。

第二節 巴里市債發行に關する布令

(一九一七年四月十四日佛國經濟雜誌所載)

(摘要)一、本令は一九一七年四月五日の公布に係り、巴里市に於て、多額の流動公債に伴ふ弊害を防止せむが爲、今後市會の決議を以て賦課すべき租税の外、六億三千二百萬法以下の市債を發行するを得べきことを定めたるものなり。

一、本令に依れば、償還年限を五箇年、利率を六分以下とす。債券は記名又は無記名とし、其の額面價格は五百法と爲すべきも、セーヌ縣知事に於て

必要と認むるときは、之を五分一券に分割し得べきものとす。

一、本令に依りて發行せられたる債券は、巴里市が其の償還期限前に發行する長期債券の應募拂込金として、之を收受することを得べし。

千九百十七年四月七日官報は左の布令を公布せり。

第一條 巴里市ハ今後市會ノ決議ヲ以テ負擔セムトスル市税ヲ除クノ外五箇年ノ償還年限ト六分以下ノ利率トヲ以テ最高額六億三千二百萬法迄債券ヲ發行スルコトヲ得

該債券ハ額面金高ヲ五百法トシ記名又ハ無記名トス但シセーヌ縣知事ニ於テ必要ト認ムルトキハ該債券ノ五分一券ヲ發行スルコトヲ得

第二條 巴里市ハ本令ニ基キ發行セラレタル債券ヲ今後巴里市カ本令ニ定メタル債券ノ償還期限前ニ發行セムトスル長期債券ノ應募拂込金トシテ

收受スルコトヲ得且其ノ應募者ハ巴里市金庫ニ渡シタル該債券元金ノ金高ニ達スルマテ優先權ヲ有ス
前項ノ場合ニ於テハ該債券ハ發行價格ヲ以テ引受クヘシ但シ利子及既得ノ割増償還金 (prime d'amortissement) ノ割合ハ併セテ之ヲ控除スルモノトス
第三條 内務大臣及大藏大臣ハ各其ノ主管事務ニ就テ本令實施ノ責ニ任ス

第三節 巴里市債發行に關する市會意見

(一九一七年六月二日佛國經濟雜誌所載)

(摘要) 本篇は前掲布令を以て、巴里市に認可したる六億三千二百萬法の市債發行に關し、市會議事の經過を論じたるものなり。
一、該市債發行に關し、セーヌ縣知事の巴里市會に對する提案の要旨を觀るに、巴里市の流動債は漸次必要に應じて發行せられたるものにして、其の償還期限一定せず、隨て日々の償還高は數千法乃至數百萬法に達し、爲

に巴里市の出納事務を常に煩雜ならしむるの憂あり、仍て現在流通せる市債を五箇年期限の債券に借換えむとするに在り。
一、斯の如く流動債の償還期を一定せむとすることに就ては、市町村總會議員は舉つて之に賛成したり。

一、唯該市債の償還期限に就ては、縣知事の提案に對し、巴里市豫算報告委員長ドーセー氏の如きは、十二箇年若くは十五箇年説を唱へ、ジュヴァール、アルヌール氏の如きは、縣知事は戦後幾許ならずして金利下落すべしと思惟せるも、戦争終熄の曉には農工業等の恢復を圖るべき資本の需要に急を來し、隨て五箇年の短き歲月に於ては到底金利の低落を見る能はざるべきを以て、償還期限を十二箇年となすべしと主張せり。而かも市會の大勢は、今後五箇年若くは十二箇年後に果して金利の下落を見るや否やは今遽に之を卜知するを得ず、加之償還期限五箇年以上の市債は議會の同意を得ざるべからざるの不便ありと做し、終に知事の提案の如く、五

箇年に決定するに至れり。

一、該市債の擔保に就ては、或は入市税の増率論あり、或は新税賦課説の出でたるありと雖、結局自由に處分し得べき財源の範圍内に於て財政状態の改善を圖り、以て危急存亡の秋に際し納税者をして過重の負擔に苦ましむるが如きの弊を避くるは、最も機宜を得るの策なりと做し、終に豫算の經常收入を以て擔保に充つるに決せり。

*

*

巴里市債發行に關するセーヌ縣知事案と市會の議決

巴里市會 (Conseil municipal de Paris) は、去三月三十一日の議場に於て多額に失する流動公債より生ずる弊害を防止せんが爲、セーヌ縣知事より同會に提出されたる提案を採用したり。其の結果巴里市は今後市會の決議を経て賦課すべき租税の外に、六分以下の利率にて五年間に償還すべき市債六億二千萬法を發行するを得せしめ、先づ五億法發行の認可を主務官廳に稟請せむことをセーヌ縣廳に督促したり。其の募集費の最高額を一千二百萬法と定め、之

市債發行手續に關する布令

を發行高に加算するものとし、而して該市債は豫算の經常收入を以て擔保せらるゝなり。

該市債募集の手續を定むる爲、千九百十七年四月十七日の縣令を以て補足されたる同年四月五日の參議院限りの布令は、額面五百法の債券を發行し、最高額六億三千二百萬法の金額を前記の條件を以て募集することを巴里市に認可したり。而して該債券は更に之を五分一券に分割するを得るものとす。

市會は四月二日の議場に於て、九億法の市債の擔保となれる附加税は千九百九年十二月三十日の法律を以て認可せられたる大土木工事費に依然充當せらるべく、第二期及第三期の募集は戦争後に至り金融市場の状況の許すを待ち實行すべき旨決議せり。市町村總會 (Assemblée communale) が新なる市債の處理を確實にし且豫算の缺額を補充する爲最低額四千四百萬法の新財源を可決せむとするを以て、新に賦課せむとする諸税の審査に關しては之を次回の會期に譲りたり。

巴里市の
流動債

以上の處分は數回の討議を重ねて始めて採用せられたるものなるを以て、以下其の経過を略述せんとす。抑、巴里市の流動債は千九百十四年十二月以來一箇年若くは六箇月の期限を以て發行されたる三種の市債より成ると雖、特別事業に充當さるべき負債千九百十二年に發行せし九億法及二億五百万法の瓦斯事業費、二億四千万法の鐵道事業費、二億法の低廉家屋建築事業費より實收せし金額の支途を轉じて一般の出納に供したるを以て、其の金高は未だ莫大に上らざるなり。セーヌ縣知事は昨年十二月一日の豫算覺書を以て巴里市の流動債を六億七千万法に定めたりと雖、市債の償還諸般の支拂、就中瓦斯事業費整理の爲施せし處分の結果に據り、終に知事は千九百十七年一月十五日に至り六億七千万法の流動債額を六億二千万法に改めたり。即ち其の金額中五億九千万法の債券の償還に充當し、三千万法は起債資金中より市の出納上に立替へたる金額を表し、猶ほ其の餘に新債募集費として豫定すべき千二百萬法の金額を見込たるなり。

知事の提
案に對す
るドラ
ンネー
氏の
賛成
意見ドロー
シー
氏の
反對
意見

ドランネー氏は千九百十七年一月三十一日より二月十七日に渉る議事録中に流通せる市債を先づ五箇年期限の債券に借換え更に他日其の債券を相當の期限を定め年賦償還法に依り償還すべき長期債券に改めむとする計畫を賛成したり。巴里市豫算報告委員長ドローシー氏は今日より八十年間に償還すべき十億若くは十一億法の獎勵金附長期債券を整理債として發行せむことを主張し、知事の意見に反對せり。本件に關するドローシー氏の駁論は、縣知事が流動債を整理すと言ふも是れ誤解にして、該借換事業は其の實單に流動債の延期整理に過ぎずと言ふに在り。之を要するに今回の借換事業は單純なる延期即ち其の償還期を繰延べむとするものにして、決して眞の確定的整理に非ざるが故に、蓋し諸辯士就中シヤセーギネゴアイヨン氏が市會の公開席上に於て主張せし駁論は決して根柢なきに非らざるが如し。前論の可否は姑く措き、ドランネー氏は流動債は確定の償還期限なくむは、日々の償還高は數千法乃至數百萬法となりて、之が爲巴里市應の出納事務を常に煩雜な

らしむるが故に、市町村總會議員は擧て償還期の長短は敢て問ふ所にあらざるも唯だ流動債の償還期を一定するの必要を認めたる旨議會の議事覺書舉示したり。顧ふに市債の期限に就てドーサー氏の意見に依れば、現今の金利は今後久しく變動せざるべしと確信するに反し、縣知事が短期を採りたるは全く戦後兩三年を経過せば金利の下落を招くべしとの豫想に出でたるなりといふ。蓋し巴里市は近き將來に於て借換を行ふを得べき規約を以て長期市債を募集するを得べきや敢て疑なしと雖、此の如き負債の募集費は先づ五箇年間に償還すべき市債を募集し、其の償還期に至り更に長期債券に借換ゆる市債の募集費と殆ど同一なるを以て、縣に於ては右の借換は債券所持人の蒙るべき損害に依り其の實行を至難なりと思惟せり。

又縣廳の覺書には約五千四百萬法の收入ある直接及間接課税を以て市債を擔保し併せて豫算の毎年の缺損額を補充せむとの計畫を立てたり。又二千萬法の收入ある直接課税は、直接税の百分附加税 (Centimes additionnels) の新設

若くは土地、居住用建物、工業用建物、商業用建物及汚物排除に關して賦課したる市税の増率、又は右の三税を改め借家人の負擔に於て巴里市に在る建物の純収益より徴收する單純なる三分の借家税より成り、其餘の收入は葡萄酒、梨酒、麥酒及鑛水の如き衛生的飲料に賦課する入市税に求めむとす。ドーサー氏も大體該入市税を承認せるのみならず、猶若干の物件にも該税を賦課せむことを主張せり。

且同氏が知事の覺書に關し第一委員の名義を以て去三月二十二日市會に提出したる報告書中に、エルネスト・カロン氏の外、シャッセーヌ・ゴアイヨン、ローレン、モーリス・カンテン、デュヴァール、アルヌール及ドウヴールの諸氏より提起し市町村總會に於て受理したる他の意見を掲載し、且ドーサー氏は土地抵當銀行より債券を發行せし爲、最初の計畫を改め、現在流通の債券の時價に相當する市債を起すを以て足れりとし、且同氏の最も得策とする長期市債を起さざる以上は、十二箇年若くは十五箇年の債券を發行せむとする計畫に左袒す

租税増率

る旨を注目せしめたり。又収入の増加に關しては、第一委員はエルネスト・カロン氏の機關紙は、土地、居住建物、工業用及商業用建物に賦課したる市税並汚物排除に關する租税の増率又はセーヌ縣廳の提案せる入市税の増率を賛同し、三千九百萬法の餘力あらば市債の擔保に足るべきを以て、其餘の資金即ち千五百萬法を用ひ、毎年の豫算缺額の一部を補填するを得べしと爲せり。

エルネスト・カロン氏の説

報告委員エルネスト・カロン氏は提出されたる各種の議案審議の際に次の原因より生ずる流動債募集の根本を回想せしめむとするに努めたり。戦争状態より來れる収入の減額は甚だ莫大にして、先づ入市税の収入は千九百十四年に於て三千萬法、千九百十五年に於て五千三百五十萬法、又千九百十六年に於て五千萬法を減じ、市會の企てたる事業、就中失業者救済に關する費用は數百萬法に達し、石炭貯蓄庫の建設に約四千萬法を要し、巴里市吏員の給與金及手當金に八百法若くは一千萬法の定額を要せり。更に同氏は其の報告書の決論を説明せしに縣廳の覺書の決論と恰も符合せり。

シャッセー・ギユ・ゴアイオン氏の延期説

シャッセー・ギユ・ゴアイオン氏は縣知事の主張したる「急施類似公債整理」(Pact of consolidation *hative*)とも稱すべきもの、可否を論述するに當り、其の整理の爲急劇に撰擇されたる租税の重荷は、戦時の負債を精算し得ざるのみならず、擾亂後に至りても、市の財政を恢復するに足らざる旨を述べ、且若し必要あらば千九百十七年中、市の財務の處理を容易ならしむるが爲、更に一億五千萬法の市債の發行を主務官廳に請求するも敢て不可なかるべしとし、市財政の改革の必要は敢て急迫を要すとも認められざるを以て、他の新なる研究と共に之を次回の會議に譲り、更に其の調査を行はむとの説を固執したり。

又シャッセー・ギユ・ゴアイオン氏はドーサー氏の如く、戦後は必ず資本の需要劇甚なれば今後五年間金利は甚だ高率なるのみならず、少なくとも今後十年間は更に金利の騰貴を見るべきを以て、本件の如き重大問題を決せむとするは猶ほ數箇月の研究を要すべしとの意見に傾けり。然れども事實上に於ては吾人は假令其の期限を多少延期するも、其の結果本件に關し確固たる成績

を擧ぐべきことを推想するを得ざるなり。

モーリス・カンテン氏は現に流通せる市債券所持人の三分一以上より其の償還を請求すべしとの豫想は、條理上之を採用するを得ず。且妄りに公の信用に巨額の資金を要求するは豫め巴里市民に重税を賦課するに至ることなきやを擧示し、五箇年期の新市債を二億法に制限せむとする計畫を辯護したり。右の計畫に従ふときは短期債券の發行高を著しく制限せむとするに在るを以て、之が擔保に要する金額は千二百七十八萬四千七百五十法に過ぎざるなり。故にモーリス・カンテン氏の説に依れば、之が爲には更に附加税を賦課するも或は直接課税又は間接課税を採用するも敢て不可なしとせり。又ローレン氏が期限を五箇年とし新市債を三億三千萬法に定めむことを主張する所以は、處分し得べき財源の範圍内に於て財政の現状を著しく改良せむと欲したるに在り。是れ實に危急存亡の秋に際し納税者をして重税の負擔を免れしむるものと謂ふべし。

モーリス・カンテン氏の
高制限發行の
債券發行の
説

處分し得
べき財源

今其の處分し得べき財源を擧ぐれば、九億法の市債の擔保に供せられたる附加税一千三萬三千法を新市債に代用し、且之に加ふるに年賦償還金として土地抵當銀行に拂込むべき金額一千二十九萬六千法は千九百二十四年より支拂ふべきものなるも巴里市の都合上之を前拂せむとするに在るを以て其の金額を之に充當せむとするに在り。ローレン氏の説はアルビー氏により賛成せられたるも、セーヌ縣知事、報告委員及モーリス・カンテン氏より提出されたる意見に基き市會に於て否決せられたるは其の當を得たるが如し。該意見は九億法の市債の擔保を廢し更に之を新市債の擔保に充用せむとするときは勢ひ其の事件を議會の審議に附するを要せむ、若し之を議會の議に附することゝならむか、嘗に該市債を以て起工せむが爲既に可決されたる極めて緊要なる道路事業のみならず、該市債自身の募集をも延期せらるゝこととならむといふに在り。本件に關しては既に議會に於て討議の際第一回の募集額は支出額に足らざると二億法以上なりとの議論出でたる程にて、元來

此の如き緊要なる事件に關しては、必ず収入支出の均衡を嚴守すべきものにして、收入に超過し二億法の金額を支出するが如きは不當の處置にして、餘りに起業の念急にして理財に關する初歩の規則をも無視するものと謂ふべし。

ジュヴァール・アルヌール氏の説に依れば、工場、機械、工業及農業用の器具を修理し又は幾多の破壊を復興する爲め資本の需要急なれば、五箇年の短歳月間には到底金利の低落を見るを得ざるを以て、五箇年の期限は不足なりと認めたり。同氏の觀る所に據れば、若し新に市債を發行せむと欲せば其の償還期を十二箇年に延長するを要するが如し。右の説が市會に於て尊重せられざりし所以は、一は五箇年若くは十二箇年後に至らば果して金利が下落するや否やは遂に卜知するを得ず、又一は五箇年期の市債の發行は參議院限りの布令を以て認可せらるゝも、其の以上の期限の負債に就ては議院の同意を促さざるを得ざる事實あるを以てなり。殊に巴里市の爲其の同意を得るは殆ど常に至難にして多數の日子を要すればなり。

五箇年説
に對する
ジュヴァール・
アルヌール氏の
反對説

ドヴァイル氏が百分附加税(Contingent additionnel)の賦課説を排斥し斷然入市税(Octroi)の可決を宣言せし辯論に依り漸く討論の終結を告げたり。因て同氏は巴里市營の工業を一層巧に經營し莫大なる收入を收得せむが爲汎く市債問題の調査を行はむことを要求し、且同氏の視る所に依れば、毎年の豫算を補充せんとするに必要なる金額は一千萬法、一千五百萬法若くは二千萬法に止まらずして、殆ど四千萬法に見積られ、將來の募集せむとする整理市債の擔保を前記の金額に合算するとき、其の金額を約八千萬法に増加するを要すといふ。

今や六億三千二百萬法の市債を整理し且少くも豫算の缺額の一部を補充せむが爲賦課すべき租税は他日市會に於て審議せられむとす。既に市會に於て證明せられたる如く經常收入のみにて、毎年の豫算に數百萬法の缺額を生ずるにも拘らず猶ほ豫算の經常收入を以て市債の擔保に供せむとする總會の決議に満足するは實に堪へざるが故に、ジュヴァール・アルヌール氏より要請し縣知事に於て承認せし如く、市債と同時に租税を可決するは實

際上巧妙なる財政策たるや敢て疑なきなり。若し總會に於て後日に至り五千四百萬法の新財源を定めむとするは、是れ恰も牛車を牽牛の前面に繋ぐに異ならず。之を動かさむとするも動かざるべし。故に假令斷言するを得ざるも、最後には一切の課税案は種々の理由を以て順次に否決せられ、其の結果は終に眞の擔保なくして市債を募集することゝなり、隨て遠からずして之が整理を要するに至らむ。

眞の擔保なくして市債を募集するに決す

第二章 戦時に於ける各國經濟

事情の變遷

ジョルジュ・ダヴネール述

(一九一七年二月レビュ、デ、デウ、モンド所載)

第一節 交戦諸國

(摘要) 一、總説 歐洲戦亂の結果は、總ての方面に懼るべき擾亂を惹起し、世界經濟上の状態に一大變革を來し、交戦國の尨大なる戦費の負擔は租税の賦課を重くし、貿易に愈、保護政策を採らしめ、隨て物價騰貴の趨勢を誘致せり。之が匡正には唯慎重なる國家の力を俟つを要す。

一、戦亂と經濟關係の變遷 戦争に因る交通の杜絶、生産物に對する市場の變遷、原料品供給の變動等は、米國の紡績業を始め諸國の工業に著大な

る影響を及ぼしたり。戦争は世界交通路に變化を來せし結果、米國の製造業を隆盛ならしめ、特に其の政府は海運界に優越なる地位を占めむとして、凡ゆる政策を施し、船舶建造に對して至大の保護を加へ、以て其の希望の實現に努めつゝあり。戦争はまた中立國の海運を繁榮ならしめ斯界の人々をして巨大なる利益を擧得せしめたり。英國の海運は戦争に因り至大の打撃を蒙りたりと雖、尙且莫大なる利益を擧げ得たり。

一、英國の經濟事情 英國に於ける物價騰貴の狀況を見るに、一般物價は平均六割の騰貴を示せり。多く海外輸入に待てる生活必需品の著しき騰貴を來さむとするや、政府は肉類の徵發、協定價格による買入、穀類の輸入獎勵、農耕の獎勵等に依り之が調節に勉めたりと雖、而かも尙異常の昂騰を免かれざりき。然れども是等貯藏品は潤澤にして、英國民をして饑餓に陥らしむるが如きの虞なし。

砂糖は戦前獨逸國の供給を仰ぎつゝありしも、開戦後世界市場に於て八

十萬噸の買占め以て之が供給の圓滑を圖ることを得たり。糸類、金屬類の騰貴は、食料品に比して更に甚しきものあり。而かも戦後の準備の爲、輸出を禁止し貯藏品の蓄積を圖れり。皮革類に至りては、軍需品たるが爲其の急激なる需要は價格を著しく騰貴せしめたり。

一、露國の經濟事情 露國は貿易上元來原料品供給國たりしが、戦争は原料品の輸出を杜絶し、資本の缺乏に苦ましめ、其の經濟狀態に異常の變動を生ぜしめたり。特に露國の國民生活に一轉機を劃せるは、多年其の生活に浸潤せる酒精飲用の禁止にして、之が爲國民の勞働能力と富力とを高めしこと鮮少ならず、露國の主産物たる穀類は、輸出不可能の狀態にあるにも拘らず、爲替相場の下落により價格騰貴し、畜産物に至りては戦争に依り需要を増加せるに拘らず、生産地の侵奪、生産の減少に因り價格の上騰を見たり。特に露國に於ける交通機關及輸送力の不備不十分なることは、物資の分配を滯滞せしめ、更に軍事上の必要は他の輸送力を削減

し、益、物價の昂騰を誘致し更に石炭木材製紙原料の騰貴は是等と相待つて益、其の勢を助長せり。此間唯特種奢侈品は、其の輸出の途を失ひたるが爲下落せるものあり。

一、伊太利の經濟事情 地理上外國より物資の供給を受けざるべからざる伊太利に於ては、海運業不振の爲物資の供給充分ならず、加ふるに産金額は貧弱となり、貿易は逆調に陥り、運送賃は昂騰し爲に物價は著しき昂騰を招けり。固より政府は之に對して調節の策を講ぜしと雖、生活費は二十五割乃至五十割の騰貴を致したり。

一、日本の經濟事情 戦争は日本の貿易に發展の機會を與へたり。輸出は著しき増加を示し、特に紡績業の隆盛と新市場の開拓とは駭目すべきものあり。

一 總 說

今次の大亂が若し獨り獨逸國の貪婪飽くを知らざる野心に依りて挑發せられたるものとせば、獨逸は其の非行に就き責任を免るゝことを得ざるは固より其の所なりと雖、聯合國も長日月を経るに非ざれば、獨逸によりて擾亂せられたる秩序を恢復することを得ざるべし。而して歐洲諸國が理論的觀察と努力とに依り多年の平和時代に於て樹立するを得たる其の繁榮を阻害せられ、以て戰亂の第一犠牲者となり、經濟界の形勢亦戰亂の爲全世界に涉り一變せられむとす。

抑も歐洲諸國は假令積極的の統治權を有せざるも、尠くとも世界の年長者たるも、積年の努力により全世界に優越權を有するとは争ふべからざる事實にして、或は教師たり或は物資供給者たり、或は銀行家たりき。然るに其の生徒は幾許ならずして其の教訓に通曉し、曩の顧客は歐洲の貨物を好まず、又勞働者は其の資本を必要とせざるに至り隨て歐洲は同國の工場と資本とを

目的とするの外なきに至らむとす。戦亂は何時終局を告ぐるや遽に測知するを得ずと雖其の結果は歐洲諸國をして恐らく今日まで知らざりし自國の生命を自覺せしめたるなるべし。

戦亂に因りて生ずる破壊に對し極力抵抗を試みたる學術及工業と相並び物質的秩序に於ても種々の攪亂行はれ、今日人に知られざる幾多の新事實は他日人をして一驚を喫せしむるに足らむ。視よ、歐洲諸國が輕卒に驚くべき巨額の資金を支出して顧みざる間に知らず識らず世界の形勢一變し、歐洲大陸諸邦は互に其の地位を轉換せむとす。今やアテネ人莫斯科人は必要なる織物を市俄古市に注文し日本國は智利國に其の物産陳列場を創立し、其の物産は大洋を通過し、從來大西洋を横斷する船舶の輸入せし物品に代らむとするにあらざや。

戦争が尙ほ長引き而して獨逸兩帝國をして戰鬪力を失はしむるまで之を繼續するの必要ありとせば、敵味方は共に戦争の爲其の資本の半を喪失せむ。

戦費の處
大と戦後
の影響

何となれば交戦國は流動公債若くは確定公債を起し或は紙幣を發行し、其の外恩給金又は損害賠償の爲、動産不動産を合せ、殆ど其の國民の資産の半に等しき債務を負はむとすればなり。然れども戦敗者は再び戦前の状態に復舊せむと欲せば勢ひ重荷を負擔せざるべからざるを以て、此の賠償は既に獨逸兩帝國をして強て各種の租税を賦課せしめ、勞銀を上騰せしめ、以て工業上の生産費を増加するに至らむ。又若し職工が饑饉時代の如く其の勞銀下落して古の如く擧て移住せば愈、勞働者の缺乏を招き益、生産費を激増するに至らむ。

敵軍幾百萬人の敗北及其の資金の散亂は政治上重大なる關係を有す。近世の政府は古の如く、『人』を購買せずして、領土内に在る一切の『物』を信用に依て徵發するが故に資金は昔時に於ける如く戦争の唯一の原動力となるを得ざるや疑なしと雖、貧國が富國よりも弱きは是れ亦否定すべからざる事實なりとす。

假令戰勝國より償金を要求せられ得とするも之を多數の聯合國間に分配すべきを以て其の振り分けられたる金高は甚だ少額に過ぎ、各其の國債を償還するに要する額に對し著しき不足を見るべし。若し其の償金の分配を受けたる諸國が既に募集し若くは今後募集せむとする國債の利子を拂ひ豫算上收支の平均を立て又は爲替相場を回復する爲、各其の國の中央銀行に立替金を償還せむと欲せば既に英國が其の範を示したるが如く各國は人及物に對し多額の收入ある各種の租税を賦課せざるを得ず。何となれば單一なる財源より多額の資金を吸収せむときは、其の財源を涸渇せしむるの虞あれば、各種の租税を徵收するを以て策の得たるものとなすべければなり。而して海關税は此の點に付き最も有力なる財源たるべきものとす。

戰亂によりて惹起せられたる産業上の不秩序は、遂に交戰國は勿論中立國に對しても多くの市場を閉鎖し、其の全部又は一部を殆ど確定的に失はしめたり。自國固有の産業は尙幼稚の域を脱せずと雖、多少到る處に其の發展を

財源とし
税の海關

見る場合に於て、自ら愈發展せむと欲するも到底其の力及ばざるときは、其の成長發達の爲何等かの保護なかるべからず。此の保護とは他なし、關稅率即ち是也。故に概ね交戰國は相互に高率の障壁を構へて輸入を防遏せむとするを以て、其の結果は既に内地税及多額の發行紙幣の影響により上騰せし物價を愈騰貴せしむ。

以上叙述するが如くなるを以て物價の騰貴は自から高低あり、其の理由亦千差萬別なるも全世界を通ずる趨勢にして容易に其の停止する所を知らざらべし。於是通貨は其の購買力を失ひ物價は漸々騰貴するを以て商品資金及勞働は極めて巨額なる通貨を以て評價さるゝ新現象を見るに至らむ。唯茲に變動なきは債權と確定の所得ある有價證券にして、是れ實に債務者に取るとは其の負擔を輕からしむるものと謂ふべし。

世界の諸國に於て急劇に物價の奔騰を來たすは甚だ憂慮すべき事實にして、其の「不條理」を匡正せむと欲せば國家の力に據るの外なく、國家も亦其の重

任を自覺す。是れ固より國家當然の任務なるが如しと雖、若し國家が禁止的又は保護的干渉を以て若干の工業を保護することあらむか、其の工業は外國の競争なきを以て轉じて獨占權を擅にするの弊を生ぜむ。之を要するに國家は生産者と消費者との權衡を維持し、兩者の幸福を圖り公正なる物價、公正なる利得及公正なる賃銀を定むべきなり。

二 戦亂と經濟關係の變遷

前述の推斷の遠からずして實現せらるべきや否は姑く措き、交通の杜絶及貿易の萎靡より來れる衰頹の程度及其の期間は固より茲に卜知することを得ずと雖、歐洲諸國は俄然輸入の杜絶と販路の激少とを來したるを以て二箇年以來世界到る處に於て資金を得むが爲購買者の探索に焦慮し又各、其の國に必要な未製品若くは製造品を輸入せむが爲賣主を求むるに汲々たり。斯くして其の必需品の一部は漸く他國に於て之を得、他の一部は今日迄抛棄

交通杜絶
と經濟上
の打撃

紡績業と
米國

して顧みざりし自國領土内の資源を開發し、或は從來存在せざりし工場を自國に創立することに依りて之を發見せり。右の事實が露國若くは英國に於ては勿論西班牙國又は合衆國にても發生せるを想はゞ、敢て交戰國と中立國とを問はざる共通的現象なりと謂ふべし。

紡績業及織物業は若干國若くは若干地方を限り獨占の傾ありしと雖、今や其の事業は世界各地に傳播普及せられむとす。故に合衆國に於て紡績器械製造家は各地に創立せられたる新工場に於て無數の注文に接し、同國某製造家の如きは現に三千五百臺の自動的織物器械を引渡したる如き其の一斑を窺ふに足らむ。又西班牙國は獨逸品の意匠を模倣し自國の模造品を以て内地雜貨店の需要を充し、日本は支那の市場を獨占せむとし、殊に露國に於ては近時羊毛及綿製品の産額著しく増加せしを以て、日本及合衆國の兩國は頻に之を着眼せり。

開戦以來露國の冶金業も亦其の面目を一變したり。從來ヴオルガ地方の工

露國の製
鐵業

場の生産高は到底需要に應ずるに足らざりしが故に、露國は既に年來粗製鋼鐵の半以上を輸入に仰ぎたる狀況なりしも、現今にては鋼鐵の相場は從來の約三倍となり内地の製鐵事業は殆ど需要の倍額を産出するの狀況なりとす。又丁抹國及スカンデナヴィヤ諸國の工場は、平時に於ては、獨逸國より加工品の供給を受けしが戦争は該工場に一種の特権を與へたり。即ち兩國に未製品を輸入せむとするときは、甚だ煩雜にして且つ至難となり、例へば亞鉛及橄欖油の如きは其の價格騰貴したるが爲、那威國の魚類罐詰業の利益をして殆ど減少せしめざりき。

平時に於て英國は工業用酒精の産出高極めて少量なりしを以て、之が爲開戦以來火藥の製造を妨害せられたること尠少なりとせず。加ふるに潜航艇戦は倫敦の大蒸餾所に於て使用する印度糖蜜の輸入を不確實ならしめたるを以て、愈、其の不足を感ずるに至れり。其の後幾許ならずして右の大蒸餾所は單獨にて軍需品の材料を悉く供給するを得ざることを認め、從來蘇格蘭及

英國の
造業の

愛耳蘭の工場に於て玉蜀黍を以て少量の酒精を蒸餾したることを顧み、政府は是に補助金を與ふると同時に九十萬ヘクトリットの酒精を供給するの義務を負はしめたり。其の國人は之に因て獨逸其の他大陸の諸國內に衰へたる蒸餾業を、自國內に發達せしめむことを期せり。其の蒸餾酒精は相當の販路あるべきを以て、管に一種の財源たらしむとするのみならず、從來動もすれば過不足より來れる其の相場の高低を防止するを得むとす。要するに是れ全く獨逸が封鎖を行ひたる間接の結果にして、英國に取りては封鎖の繼續せらるゝに随つて輸出の困難は輸入のそれよりも更に大なる打撃なりと言はざるべからず。

交通の杜絶より起れる他の一種の影響は、伊太利及西班牙に於て、石炭の騰貴の爲原動力の生産者たる水流利用の事業をして、頗る發達せしめたること是なり。伊太利に於ては輸出入の禁止は工業の種類に従ひ利害相半ばし、或は有益なる販路を遮断せられ損失を蒙れるものあり。例へば婦人用の卷髮

伊國及西
班牙の發
展

及機械製の麥藁帽の如き即ち是にして、北亞米利加及英吉利の兩國は、獨逸の供給を避け、主として伊國トスカニア市に於て之を購買せむとす。

這次の戦争は同種の工業と雖、其の工場的位置如何に依り全く反對の結果を招致したり。ヴァラットリ、バランシア、セゴヴィヤ及サラマンカ地方の陶器製造所は其の附近に於て原料を得るの便を有せしが故に、戦亂の爲利益を得たるもオヴェドール及サンタデル地方は平時原料を交戦國より仰ぎたるを以て、其の製造所は全く衰頹せり。嘗て西班牙工業監督官曰く『假令這般の戦争が我國産の爲新に販路を開きたりと雖、工業上の能力を具備し、若くは近世の商業政策に通曉したる専門的人物なきを以て、往々其の販路獲得の機運に乗ざるを知らざるなり』と。交戦國兵卒用の衣服の調製は、豫期せられたる如き利益を與へず。何となれば西班牙國には羊毛の十分なる貯蓄なかりしを以て、若し注文契約を履行せむと欲せば不廉なる價格を以て之を購せざるを得ざればなり。

工場位置
と戦争
の影響

西班牙に
於ける
工業の
勃興

資金の
缺乏

然れども西班牙に於ては二年來歐洲諸國の要求に促され、斬新なる各種の工業の勃興するを見たり。即ち英國へは小形の鎌盤を輸出し、佛國の爲に珉珠の搗碎器を製造し、又吸水布及着色皮は其の輸入止みたるを以て、自國に於て之を製造せり。其の他自國の硝子は其の品質粗惡にして且つ適當なる職工の缺乏せるにも拘らず、イエナ、洪牙利及巴里よりの輸入の衰頹を補充する爲、マドリッド府に電気ラムプの工場を新設したるも亦全く輸入杜絶の理由に基くものとす。前記の事實に反し、内地の信用の缺乏は恰も紙類拂底し到る處其の價格の上騰を來たせる時に當り、西班牙に於けるアルファ紙製造所の事業をして中止するの已むなきに至らしめたり。隨て他の諸國就中佛國に於ては職工の缺乏に苦しむるにも拘らず、西班牙に於ては、職業を失ひたる職工多き奇現象を示し、更に資金の缺乏は惹いて鐵道の敷設をも中止せしむるに至れり。是マラガとカデー間の線路敷設の際にして、其の鐵道の管理者は白耳義人なりしを以てなり。其の他『西班牙南部商會』の取引は、八十プロ

セント乃至九十プロセントの減少を示せり。是れ該會社の所有する鐵道沿線の鑛山に於ては船舶の缺乏と運賃の騰貴の爲其の開掘を停止したるに職由す。

戦争は合衆國に於て鐵道貨物の輻輳の爲、焦眉の急務に迫れる物品の外、一切の貨物の輸送を停止せしめ、尙冬期中も一時は紐育市に赴く大鐵道線路には四萬五千臺の貨車蝟集し其の荷卸を待てり。斯くの如く貨物の停滯は太平洋上の運賃率の十倍せしを見て以て明なるが如く其の船腹の缺乏より來れりと雖、單に之のみに起因せずして、其の巨細の事實を観察するときは頗る奇異に堪へざることあり。太平洋上の運賃は鋼鐵を除き決して前者の如き割合を以てせず。例へばカリフォルニアより支那に至る運賃を観るに、革類は五倍、農具は三倍、銅若は食用油類は二倍を要し、又紐育よりリヴァプールに、麥粉を運搬せむとするときは、七倍の運賃を要せしも、シャートル香港間に於ては運賃約三倍に上騰せしに過ぎず、故に該航路に依る時は紐育リヴァプール航

戦争に因る米國の經濟上の發展

路に依るよりも四十プロセント以上の運賃を要せしものが現今に至りては三十プロセント以下となれり。

合衆國より歐洲への輸出の發達を見るときは、右の如き運賃の等差を闡明するに餘あり。最近ワシントン商務局長の觀察に依れば、「二箇年來歐洲より米國に輸入されたる多數の物産は今や合衆國の工場に於て製造せらるゝに至れり。是れ合衆國に於ては歐洲よりも廉價にて其の工場を建設するを得ることを證明するものにして一驚に値せずむばあらず。戦後米國の經營狀況に一大變革を惹起すべきこと期して待つべきなり」と。

世人の臆測するが如く遠からずして、世界の貿易航路に變遷を來すべきを豫期し、北米人は着々船舶を建造するの準備を怠らずと云ふ。千九百十三年七月より千九百十四年六月に至る十二箇月間に外國船に依りて輸入されたる商品は、自國船の輸入高よりも約八倍以上なり。是れ畢竟米國所有の商船甚だ尠きに緣由するに外ならざるなり。更に四十年前に遡り之を観るに、千

八百六十年乃至千八百九十年間は造船業の獎勵を企畫したるも、其の保護厚きに過ぎ却て之を萎靡せしめ、又米國商船旗を立てむと欲する船舶には、頗る嚴格なる條件を遵守せしめたるを以て、米國の商船所有者をして殊更に其の船舶に他國の商船旗を樹立せしむるの結果を齎せり。今や合衆國は開戦の當初に於て急遽に船舶を喪失したるを以て、萬難を排し完全なる商船隊を備へ、以て一切他國の勢力圏外に立たむと欲せり。數月前同國商務卿の言に曰く「海上に於ては吾同胞は未だ自由の民に非ず」と。

千九百十四年に當り合衆國は其の港内に抑留されたる獨逸船を購買せむとの計畫を立て、又千九百十六年に於て、十二億四千萬法の此の船舶を無償沒收するを得べしとの考案は、恐らくウイリソン氏に宛てたるウイリアム第二世の回答に影響を及ぼしたる所あらむ。當時柏林市の巷説に依れば、是全く合衆國は戦争の終熄を待ち、直に海上に於ける獨逸國の有する商業權を奪取せむとする態度なりと。豈に計らんや。獨逸國も亦銳意造船事業に忙殺せ

られ、更にブレイメン及漢堡港に閉鎖せられ、既に困憊したる船舶に新銳の勢力を加へむとす。三百萬噸の汽船及帆船をして既に其の用を爲さざるに至らしめたる此の戦亂に於て、戦勝者が戦敗者の船舶に對し如何なる主張を爲さむとするや、蓋し何人も想像するに難からざるべし。然れども米國人は既に海運業に十五億法の資金を投じ、六十萬噸の急速力なる旅客船若くは貨物船を自國の船籍に編入せしめたるにも拘らず、戦争の終熄を待たずして、同國の歴史上未曾有の努力を以て熾に造船事業を企畫せり。又造船の注文は驚くべき多數に上り殆ど想像も及ばざる有様なり。造船廠を擴張し船材を準備し、其の修理場を増築し、現今既に十三萬四千噸の船舶は工場に据付けられ、其の噸數は愈増加して止まざるなり。又毎年の進水船舶は百萬噸以上にして、是れ實に戦争前英國に於て造船數の最も多數なる一箇年の噸數の約半を超過するものと謂ふべし。想ふに合衆國は、船舶載貨の多數を占むべき木材、石炭、鐵材、穀類の如き重量の船積貨物を有するが故に、同國商船は一種の特權

ある機會を有するものゝ如し。

兩大陸間に於て石油を運搬する石油船に對し、スタンダード石油會社及び其の競争者は三億法の資金を投ぜむとし、一方政府は直接に補助金を下付し、或は米國船にて輸入されたる貨物には特別の海關税を賦課し、或は政府の費用を以て商船を建造し、私立會社に貸付け營業せしむる等種々保護方針を立てたり。要するに米國人は今日に至るまで等閑に附したりしも商船隊の擴張が平時と戦時とを問はず必要缺くべからざることを確認するに至れり。

戦争が中立國の船主に如何に莫大なる利益を與へたるや固より言を俟ず。船主の收入支出計算書には之を明記せずと雖、其の事實を探知せしむるに難からず。例へば和蘭米國間の航路に於ては十八萬六千噸の船舶を使用して其配當したる利益は一割即ち六百萬フロレンに過ぎずと雖、該航路に於ては従前よりも殆ど二百プロセントの利益を得たるや明瞭なり。該商船會社が昨年造船事業に千三百萬フロレンを投ぜしにも拘らず、該會社の資産の部は

中立國海
運業者の
利得

載する船舶總數の價格が僅に四百萬フロレンに過ぎざるを見て以て察せば其の餘りの利益は元金の償還及各種の準備金に投ぜしを知るべきなり。

和蘭國の七商船會社、瑞典國の六會社、丁抹國の十一商船會社中、約十會社は五割乃至十割の利益を申告し、又他の若干の會社は、十割の配當をなしたりと雖、其の配當高は實際の收入高よりも遙に少額なるや疑なきなり。又那威國海運界は八億七千五百萬フロレンの利益を得たりと稱せらる。尙同國政府は金貨を以て朽廢船を購買し、一回の航海にて其の代價を皆濟せむとする投機業を防遏せむが爲、一種の法令を可決せしめたり。該法令に依れば苟も新事業を企畫せむとする趣旨書の署名者は、私金を以て、公衆より募集する資本金の一割を納付すべきものとす。スカンデナヴィア兩國及和蘭國に在る從來の會社に至りては、其の株券は二倍又は三倍の價格となれりといふ。

英國に於ては既に商船の四割は政府の徵發するところとなり、水雷の殘虐に甚だしき打撃を被れりと雖、同國の商船隊を組織する二千百萬噸の商船中

英國の海
運と造船
の狀態

其の半は數十億法の利益を實收したり。殊に英國の船舶は現場に於てカールジッラの石炭を船積するの便を有し、隨て之が爲毫も運賃を負擔せざるが故に愈、其の收利多かりき。英國政府は戦時の所得に五割乃至六割の租税を賦課し、之に因て政府は二十二億法を收入せしか、該租税は實際上に於ては、同盟國及中立國より納付せしに異ならず。何となれば、該税を賦課せられたる當日より運賃に五割の騰貴を見なければなり。

余輩は政府が該税より幾許の收入を得たるかを詳にせずと雖、船主は妄に株主の現時の配當金を増加せずして、臨時の收入は主として船舶の建造に利用せしを以て、大藏省は船主に對し課税上大に斟酌を加へたり。是れ實に貨物船の定數を恢復せむとする間接の獎勵策なりと謂ふべし。現時の模範的汽船は開戦以前には毎噸百七十五法乃至二百法にて建造せしも、今日新に造船契約を爲さむとする時は毎噸の價四百五十法なるを以て課税上の酌量は愈、間接に造船事業の獎勵となるべし。然れども英國の造船所が千九百十三

年には二億七千五百萬法の船舶を建造せしにも拘らず、昨年の進水商船の價格は、四千二百萬法に過ぎざるを顧るときは、海軍省の戦艦の注文が其の造船所の事業の最大要部を占めたるを知るべし。

三 英國の經濟事情

戦争より來れる他の一種の現象は物價の騰貴なりと雖、是れ専ら運搬業の衰微及個人主義發達の傾向より來れるものと觀る能はず。蓋し此の現象は全世界に渉るものにして、其の原因も亦決して一に止まらず。物價の騰貴が滔々として新領土にも及ぼすを見て以て知るべきなり。英國に於ては物價の騰貴は平均六十プロセントなるも物品の種類に隨ひ五プロセント乃至二百プロセントの高低あり。例へば亞鉛の如きは、之を千九百十三年に比較すれば、一時三倍以上の價格に上りたり。茶及砂糖の如きも騰貴せし商品の部類に屬せりと雖、其の新税を控除するときは其の騰貴は五割四分以上に及ば

物價の騰貴は一般
的現象なり

英國の現
況

ず。然れども消耗品、衣類、燃料及燈火料の騰貴は金屬及未製品の如く劇甚ならざるを以て、若し新税の重荷を算入せざる時は、労働者社會の生活費の騰貴は四十プロセントに過ぎずと云ふべし。

唯茲に記憶すべきは、維納市の生活費の騰貴は、百二十二プロセントにして伯林市は百十九プロセントなること是れなり。

英國は主として其の食料品を海外に仰ぎ佛國より多量の肉類を消費するに拘らず、人口に比較して其の産出する牡牛及牝牛の頭數は佛國の半に足らず。又豚肉に至りては佛國の三分一に過ぎざるなり。英國政府は開戦の當初より濠洲及南亞米利加より輸入せらるる冷蔵肉を悉く徵發し更に其の差押の範圍を、英國商船旗を樹立する一切の船舶に及ぼし、同時に民間の商會社と契約をなし、毎週若干量の肉類を協定價格を以て納付せしめたり。肉類の輸入數量は少量の燻肉及脂肪肉を除くの外敢て増減なかりしと雖、六億法の騰貴を來せり。尙各國に於て共通の一現象は、未成品の價格は倍加したる

肉類の騰貴

に、反し精製品に至りては従前の價格の半ばを増せしに過ぎざることはなり。

英國人の食する麵麩は果して佛國人よりも少量なるや。蓋し穀類の貿易は、一切之を民間の事業に委ね、毫も之に干渉せざるは、實に英國政府の常態なり。春季に於て亞爾然丁國が連日の霖雨の爲、其の收穫品の發送を二週間遷延せしめざるを得ざりしときに當り、倫敦市及リヴァプール市の憂苦は、忽ち紐育市及市俄古市に其の反響を及ぼし、或者は加奈陀の小麥を轉賣し、其間の利益を獲得せむと企て、又一方英國の小作人は其の貯藏穀類を隠匿せり。於是英國政府は穀類相場の暴騰の傾向を打破せしめむが爲、最初に入港せし船舶に獎勵金を下付して以て印度の輸入を勸奨し終に投機業を防止するを得、麥類の相場は百基に就き三十四法内外に復したり。

佛國に於ては、現今の狀況に徴せば敢て急劇なる騰貴を招きし觀なく、開戦前に於ては英國の麵麩の價格は佛國よりも低廉なりしも、今や倫敦市に於ては、每基四十七サンチム又其他の大都市に於ては四十五サンチム乃至五

穀類の騰貴

麵麩の騰貴

十二サンチームに騰貴せり。嘗て英國諸新聞は麵麩每基に付僅に十サンチームの騰貴を來たせしときに當り、其の騰貴の些少なりと雖、三百四十萬人の軍隊を養はんとするには、其の騰貴の爲八千八百萬法の費用を増加すべきを論じたることありしが、現今の騰貴を目撃し、更に兵營の費用の劇増せむことを痛嘆せり。千九百十五年英國は十四億三千萬法を以て四千五百萬キヤンタール(我百斤に相當す)の麥を輸入し、千九百十四年には三億千五百萬法以下を以て七百萬キヤンタール以上の麥を購買したり。運賃の騰貴が、亦穀類の騰貴を促がせしは、北米より英國迄の毎噸の運賃十一法が八十八法に、ポルトサイド港よりの運賃九法は八十七法に、亞爾然丁よりの運賃十六法は百七十五法に騰貴せしを見て以て知るべきなり。

穀類の産額を増加せしむべき政策を研究せむ爲、英國各省に於て任命せし英蘭蘇格蘭及ウェールズ國の三委員は今後四箇年間農民に對し毎ヘクトリツトルの最低價格十九法三十サンチームを保障せば、其の結果は千八百七十年

酒類の騰貴

乃至千八百八十年時代より、牧場の儘拋棄せられたる疲瘠地を再び耕作地に復するを得べき旨勸誘せり。右の意見竝に愛耳蘭に農業上の機械器具貸附所を創立せむとの意見も終に行はれず。當局者は單に耕作を激勵せむが爲農民に助言を與ふるに止まれり。實際上本年麥の耕作面積は、八乃至九プロセントを減じたるも、現時英國諸港の在庫品量は二年前の當季と略同様なるを以て、英國に於ては毫も穀類缺乏の虞あらざるなり。

麥酒も亦殆ど五十プロセントの騰貴を招きしが、是れ大麥及砂糖の騰貴竝に麥芽の輸出は其の騰貴の主なる原因にあらずして、其の課税が騰貴の主因を占むるなり。議會は國民常用の此の飲料毎ヘクトリツトルの租税を十八法に増加し、千九百十四年末には、該税を三倍するに躊躇せざりしが、其の消費高は、總量の二十分一、即ち二百八十五萬ヘクトリツトルを減ぜしに過ぎざるを以て、政府は該税より殆ど八億法を收入することを得るなり。

葡萄酒は獨り下落し、酒精に至りては、假令政府が蒸餾高の三十プロセント

を徵發し、尙其の比例を増加せむとするも、酒精飲料商及其の顧客は甘んじて國民の一般利益の爲犠牲となりしものと謂ふも過言に非ざるなり。曩に大藏省が、ウィスキーの販賣を制限し、之に重税を賦課せむとする議案を議會に提出せしときに當り、該飲料は忽ち約二倍の價格に上騰したる事ありしが、該議案は議會に於て敗れたるを以て、昨年の消費總量は九十四萬ヘクトリットルに達し十三萬五千ヘクトリットルの増加を示せり。

英國に於ては砂糖を製造せざるに拘らず、歐洲諸國に比較し、多量の砂糖を消費し、其の輸入高の半は獨國及埃國より來れるなり。然るに現今砂糖每基の價格は倫敦市に於ては一法なるも、巴里市に於ては、其の供給不十分なるの故を以て、一法五十五サンチームの價格なり。千九百十五年九月以來英國は砂糖の輸入税を七倍せりと雖、英佛兩國間に於ける砂糖輸入税の差額は僅に二サンチームに過ぎざるなり。英國は砂糖供給の根源が狭少なるに對比し、其の需要高莫大なることを顧み、佛國よりも最も果斷なる或る政策を企畫す

英國の砂糖に對する政策

るに至れり。即ち英國は莫大なる數量を急激に購買せば其の相場の騰貴するにも拘はらず、千九百十四年八月に於て八日乃至十日間に、地球上各地に於て最も有利なる條件を以て、八十萬噸以上の買入契約を締結したり。徵發船舶に滿載し合衆國ジャヴァー、モーリス島及亞爾然丁より輸入されたる其の在庫高は、政府の損害とならざる價格にて賣却し、更に政府は其の收入を以て、砂糖の價格を商業上の相場以下に下落せしめむとせり。蓋し每基一法の現時の相場が英國人にとりては、非常なる苦痛にして、戦争前の價格の二倍以上に當ればなり。然れども其の騰貴は、消費高に著しき影響を及ぼさずして、昨年の消費高は八百噸なりしが故に漸く八プロセントを減ぜしに過ぎざるなり。

租税を増加せられ價格の騰貴せしにも拘らず、其の他の貨物も亦其の消費高を増加せり。例へば煙草は九千六百萬リールより一億八百萬リールに増し、椰子實は千九百十三年に於ては六千百萬リールなりしが、昨年は一

茶、煙草の消費増

億四千萬リールに増し、又製茶は百萬リールより三億千七百萬リールに増加したり。現に露國が千九百十五年に於ては千九百十四年よりも五千二百萬リール以上の製茶を輸入せしが如く、各地方の使用高漸々増加するにも拘らず供給缺乏を告げざるは、支那、印度、錫蘭若くはスマトラ島に於て、其の需要の増加に應じて、茶樹の學術的培養法の發達せしに因るなり。

絲類及金屬は食料品よりも、更に一層騰貴し、就中羊毛の價格は、二倍に達せり。されど英國の在荷は前年に於ては二億千三百リールなりしが、本年の始めに當り既に七億七千萬リールに及べり。英國人は平和克復後の狀況を慮り、頻に其の貯藏高を増加し、一切其の輸出を禁止したり。羊毛絲輸出の最大市場は獨逸國にして其の顧客の購買高は、約五千萬リールに當れり。又開戦以來自國軍隊及聯合國軍隊の爲、英國の製造所に於ては、半靴四千八百萬足、ズボン下千六百萬個、外套千四百萬枚、フランネル六千五百萬メートル、及軍用羅紗一億三百萬メートルを製造せり。

絲及金屬類の上騰

皮類の騰貴

昨年の夏以來英國陸軍會計部に於て千八百萬足の長靴を買受け、其の外軍隊帽子のみにても二十六萬基の獸皮を要せりと雖、是れ固より注文品の最少部分に過ぎず。其の他英國は露國及伊國の爲、ノーザムプトン市及レイセスター市に於て重要な契約を締結し、之が實行に着手せり。鞣皮及鞣皮原料の價は既に五十プロセントの騰貴をなしたるを以て、政府は其の騰貴を緩和せむが爲、其の最高額を定めたりと雖、最も大顧客なる政府の干涉は、却て其の最高額の決定を無意味ならしめたり。又外國木材の大顧客なる英國は、同一の理由を以て戦争以前よりも一億八千五百萬法以上の爲換資金を支拂へり。其の他化學的製造品及銅、鉛、及亞鉛の如き金屬も亦騰貴し、之が購買に五億二千五百法を投じたり。

英國人の所得は、千九百十三年に於ては勞銀及各種の益金を合せ五百億法に見積られたり。而して其の中少くも六十億法は貯蓄となり、又は轉じて家屋、鐵道、船舶工場等の生産的資金となれり。又英國は二箇年來數十億法の米

英國民の所得

國有價證券を賣却し、同時に露國、佛國及伊國に對し債權を獲得し、英國自身の公債は全部其の國民に依り應募せられたり。又英國國民は株式取引所に於て賣買せらるゝ多數の有價證券の下落に依り其の所有證券の減額せるを知れり。是れ政府が戦争の爲募集せし負擔は、即ち國民が之に相當する金額を失ひたると恰も同一の状態に至り、而して英國國民は納税者となり曩に資本家となりて政府に貸與せし資本の利子を供給せざるべからざる也。英國國民は之が爲一種の負債を負擔し、其の負債は實に英國人中最も富裕なる者に就ても其の所得の半を占むることゝならん。又英國人は貧富の別なく、其生活費の騰貴せしが爲莫大なる支出の増加を來たせりと雖、汎く觀察するときは英國は敵國の爲侵略又は封鎖せられざるが故に他の交戦國よりも其の苦痛輕く、且假令其の生活の資源を輸入品に仰ぐと雖、英國が海外より購入する物件の運賃は悉く英國の金庫に納まるなり。

四 露國の經濟事情

露國は英國と全く反對の地位に在りて、毫も生活品に缺乏を告げずと雖、其の收穫の剩餘を賣却することを得ず、且國民貧賤なるが故に資金缺乏せるを以て之が爲頗る苦痛を感ず。若し露國にして資金に缺くる所なからむか、假令封鎖せらるゝも其の物的條件と版圖の廣大とは大いに苦痛を減少するに庶幾からむ。且露國の經濟を見るに、從來は獨逸國が粗製の儘に購買し加工の後更に露國に再賣したる原始的材料を、開戦後は露國をして加工精製せしむることゝなりしを以て、露國は恰も戦亂の爲産業上の獨立を得たるに異ならざるなり。

元來漸く發達せんむとする諸國は、戦争上避くべからざる損害を蒙れるも、其の損害の程度は開明國の如く甚しからず、却つて一國の經濟組織完全なるに従つて愈、其の國の資本及勞力に著しき紊亂を來すものとす。露國商業界

資本の缺乏

の取引計算は甚だ簡單なるものにして、佛國、英國及合衆國に於けるが如く期限拂は極めて稀にして、西部歐洲よりも影響を受くること尠なく、戦後修理復舊を要する大工場の數も乏しく、生活狀態の混亂も輕微なれば、同國經濟の復興問題は複雑に非ざるなり。

露國は戦争の爲、生活上一種の變動を招きたり。強烈なるウオッカの飲用是れなり。蓋し從來は、政府の主たる財源なりしが是れ實に國民の財囊を涸渴せしめ、且其の精神を錯亂せしむるものなれば、開戦の劈頭に當り政府は斷然飲用禁止の政策を採れり。此の果斷は歐洲各國をして驚到せしめたる所なりと雖、元來此政策は露國の進歩派より從來屢要求せられし所にして、都市と農村とを問はず、齊しく政府の決議を歓迎したり。特に露國史上一の奇績とも見るべきは青年團並に労働者農民より成る好酒家階級が神秘的に爾後酒精を飲用せざる旨を誓ひたる事是也。開戦六箇月前即ち千九百十四年一月三十一日勅令を以て、何れの地方を問はず住民より要求する地方に於ては

ウオッカの飲用禁止の效果

小賣店の閉鎖を許可したり。是れ實に全露國に瀰蔓しつゝある禁酒論者の運動の一結果にして、ラジャン政府に於ては暫時の間に三百九十一軒の小賣店中三百九軒即ち其の七十三プロセントを閉店せしむるに至れり。

此の如き氣運なりしを以て露國政府が千九百十四年七月三十一日、即ち勅令と同時に酒精販賣の禁止を爲したる事は外人の觀察するが如く突飛なる處置にもあらざる也。政府の此賞讃すべき果斷は當初臨機の處分の如くなりしも、頗る熱心を以て歓迎せられ露國政府は輿論の大勢により千九百十四年九月四日に至り、戦争の終熄する迄酒精販賣店の閉鎖を命ずるに躊躇せざりき。一般の幸福を計るの必要より慰安を奪はれたる農民は、數週後に至りては酒精を缺くも、決して生活の不可能ならざることを知り、且つ當時各種の事業勃興せしを以て、隨て労働賃銀暴騰し彼等は其の獲得せる勞銀を以て、或は衣類若くは靴を購ひ、或は問食に投ぜり。

當時露國人民は、酒精を缺くも生活に堪ふるのみならず、却つて一身の保健

酒精禁止の對國民の意向

上幸福なることを了解し、尙爾來之を飲用することを好まざるに至りたり。彼等は曰く『今後永く酒精を缺くも我等は決して之を憂へずと雖、若し一朝其の專賣店を再び開設することあらば、我等は従前の如く再び之を飲用せむ』と。此の如きは實に農民の昨今の状態なりとす。

酒精税の収入は六億留^レなりしも、露國職工の勞働能率は酒精を飲用せざるが爲、平均十プロセントの増加を示し、加之各種の新税は、既に酒精及麥酒の缺損額を補ふて餘ありき。何となれば麥酒及葡萄酒の販賣も亦村落都市に於て禁ぜられたればなり。然れども農務大臣は、酒精を絶対に禁止するは過酷に失し、蒸餾の隠蔽及酒精に代る危険物質の普及を防遏せむが爲には、過渡期の調節方法として、寧ろ麥酒及葡萄酒の販賣を慶賀すべき旨を宣言せり。

露國の醸造家は五億法の資本に當る數千の醸造場を所有し、消費税六千萬法を納め、醸造高實に四億法に及べり。然れども露國は各都市に於て、悉くアルコール性飲料を禁ぜしに非ず、現に彼得具羅士府に於ては之を禁止するも、

ツアルスコイエ及バヴロヴスキに於ては販賣せられ、且此處より首都に輸入するを認められ、又莫斯科府に於ては之を禁ずるも、同府より百七十五キロメートルを隔てたるカルীগ市より同府に搬入せらる。

大體より觀察するときは、酒精反對は露國の熱烈なる輿論にして飽くまで初志を貫徹せむとす。論者絶叫して曰く『五百人の燒酎製造家、數千人の麥酒醸造家、及葡萄酒製造家の囊中を肥さむ爲、露國民を毒殺すべき哉』と。露國大藏大臣曾て曰く『千九百十四年一月現在に就て、貯蓄銀行の數は八千五百にして公開せる酒精小賣店は二萬五千軒なり。冀くは近き將來に於て、兩者其の地位を轉換せむことを』と。要するに該銀行に預金されたる貯蓄金の月額は、千五百萬法乃至二億法にして、現在の貯蓄高は六十億法なり。而して其の貯金は主として、農民の所有に屬するものとす。

實に農民は露國民の根柢を形成し、一億八千萬人の人口中、一億四千萬人は農民なり。露國は千九百十三年に、小麥一億九百萬キヤンタール、千九百十四年

殺類騰貴
理由

に五千五百萬キヤンタールを輸出したるに、千九百十五年の輸出高は、僅かに五百萬キヤンタールに過ぎず、爾來麥類の輸出は殆ど絶無なれば、穀類は露國內に山積し、從て内地の市場に於ける價格は著しく下落すべしと豫想せられたり。然るに却つて大に騰貴し、小麥は五十四プロセント、裸麥は四十五プロセント、大麥は三十七プロセントの騰貴を爲し、燕麥は一層甚しく六十二プロセントに當れり。斯の如く外觀上反對の現象を招きたるは頗る複雑なる原因に基く。蓋し留爲替レウワッセルの下落は、留及哥レウワッセルに就き打歩を發生せしめたるを以て、若し露國の留レウワッセルを平準價格即ち二法六十六サンチムに換算せば、露國に於ける現時の麥の相場は佛國の相場と敢て異なる所なく、共に不廉なるを免れず、毎フド二留レウワッセル即ち每キヤンタール三十三法、乃至三十六法となるなり。然れども留レウワッセルの下落は三十プロセントに當るを以て、外國の購買者は、之に比例して支拂金高を減ずることとなり、其の他の輸物に就ても同一の理由を適用し得べし。

麥田の面積も、亦帝國全土に涉り平均十一プロセントを減じ、議會に提出さ

れたる參考書類に依れば、九千百萬デシヤチヌの面積は、八千二百萬デシヤチムとなれり。又南部ヴルガー、小露西亞、前コーカズ、東部シベリヤの如く手工の缺乏せる地方に於ては、面積の減少は二十二プロセントにして、之に準じ收穫も減少したるも、耕作費は勞銀に伴ひ却て騰貴したり。

酒精の禁止は、更に肉類の消費力を増加するの結果を招き、其の爲肉類の價格に五十二プロセントの騰貴を來たせり。目下露國に於ては、家畜の蕃殖に汲々たりと雖、其の頭數甚だ少く、從來シベリヤを合するも、有角畜類の頭數は五千二百五十萬頭なりしが、其の四百萬頭は侵略されたる波蘭に於て、或は敵軍の所有に歸し、或は飼養地方より撤退の際之を失ひたり。又市民の消費高は、九百萬頭に於て、更に軍隊の消費高五百萬頭を之に加ふるときは、假令今後の生産ありとするも、牛類は終に九百萬頭を減ずることとなり。但しモンゴリー地方の主なる農業は、牧畜業なるを以て、若し運搬の困難なくむば、同地方より露國に畜類を輸入することを得べし。

運送力の不充足は平時に於ても露國の一大弱點にして例へば帝國の南方より北方に達する鐵道は常に貨物の滯滞するを以てオデッサに接近せる工場より貨物を彼得具羅士に發送するに當り該鐵道を利用するよりは寧ろ歐洲を迂回し海上より發送せば往々時間の節約を爲し得るが如し。又シベリヤ地方は道路と稱すべきものなし。由來金の産出は露國の信用上極めて必要なりと雖道路の不便是金鑛の採掘を妨ぐ。商務大臣を議長とせる特別會議が曾て發表せる所によればシベリヤの鑛山に商品を發送するを得るは夏期數月間に止まり又或る場合には前年より之が準備を爲すを要し且毎噸の運搬に千五百法乃至二百法を要すと云ふ。交通機關の不備豈驚かざるべけんや。歐洲露西亞に於ては鐵道の便ありと雖貨車の數量十分ならざるを以て農作物の收穫期に際しては常に其の不足を感ぜざるを得ざるなり。露國に於ては鐵道未だ敷設せられざる以前に在りては物資の分布不可能なりしが故に地方に依り物貨に殆ど三倍の等差ありき。然るに這次の戦争以來軍需

品の運送繁劇となり一搬貨物の運輸杜絶したるを以て最近數月間は恰も鐵道なき時代に逆轉したるに似たり。方今食鹽の價格が二箇年前に倍加せるは製鹽場が裏海の沿岸地方に存在せる故ならむか。交通大臣の更迭以來北部十七州の爲に貨物運送計畫を定め最も適宜なる處置として米國に對し數千臺の貨車を注文せり。其の引き渡しあるに隨ひ徐々之を運轉すべきが故に、這般の戦争は北氷洋の不凍港なるコラー、及彼得且羅士間に一億七千萬法を投じ敷設されたる千百キロメートルの鐵道と共に該貨車を遺産として平和時代に譲らむとす。

又戦争は南方の石炭鑛の開掘を促進せしめたり。然れどもドネツ河流域の産額は未だ侵略されたるポーランドの石炭及從來輸入されたる九百萬噸の外國石炭の不足を補充するに足らざるなり。且其の騰貴は惹いて河川の航行に使用するバクラー石腦油及び木材の騰貴を招きぬ。殊に木材は近頃毫も輸出せざるにも拘らず彼得且羅士に於て其の價格戦前に比し二倍せり。

現今多數の工場に於ては石炭の缺乏の爲、木材を代用するを以て原動力の製造上、五十プロセントの費用を増し、現に製紙業の如きは、即ち其の一例にして、ベルノッフにあるワルドッフ及ウツクラヴスキの工場に於ては、從來十三萬噸の製紙原料を生産したるも、其の工場は敵軍の爲占領せられ、又は閉鎖せられたるを以て、製紙原料の半ばを失ふに至れり。因て之をフィンランド、瑞典及那威に仰ぐこととなり、勢ひ製紙原料は、百基に付二十七法乃至四十一法の騰貴を來たせり。

若干の奢侈品は、平素の販路を失ひたるを以て、其の價格下落するに至れり。從來裝飾羊毛皮の如きは、倫敦市は糶賣に轉賣する爲、又ライプツヒ市及巴里市は、之を鞣製又は加工する爲、購買するを常とせり。就中羊兒の羊皮は、一時六十五プロセントの下落を見たりと雖、露國政府にして、一度輸出の禁令を解かば、瑞典の商人は來つて、英國及米國に此等奢侈品を發送すべきを以て、忽ち其の價格を回復するを得べし。

特種奢侈
品の下落

特殊の物品を除く外、一切の物價は、悉く多少の騰貴を來たしたり。而して其の騰貴の原因に至りては、千差萬別にして、或は原動力の騰貴に起因するものあり、或は運搬の不便より來れるものあり、(就中シベリヤの産出物の如きは、最も然りとす)或は輸入杜絶の爲、騰貴を招きたるものあり。現に外國の染料の如きは、七十プロセントの騰貴を爲したるが如き是也。又産出國に於ても其の固有の生産物の豊富なる産出を見る迄、取引を中止せし國もあり。現に一萬六千噸のメリノー(西班牙國特種羊毛)及混合羊毛は、露國內に於て機械材料の半を占め來りたるも、今や全く其の影を没し、且羊毛の缺乏は、其の反動として綿織物の價格を騰貴せしめたり。

一切の革類は、悉く軍需品に徵發せられたるを以て、曩に空虚となりたる莫斯科の倉庫の在貨を充填せしむるは、戦線に於て、軍需品の豊富なる潤澤を見るに非ざれば、到底不可能なる事に屬せむ。勞働賃銀も亦自ら騰貴し、殊に機械工業勞働者賃銀に於て特に然り。蓋し侵略されたる地方の避難民十萬人、

又俘虜數百萬人入り來たれりと雖、是等は概ね農業に使役せられ、相當の技術を要する職工に代るを得ず。又勞銀上騰せるを以て、購買能力を増加せる勞働者の消費する資金は、物價の騰貴を増進するに、大に與りて力あり。

五 伊太利の經濟事情

伊太利も亦露國と均く、其の爲替相場、逆境に陥り、外國に於て自國通貨の下落するを餘儀なくせられたり。同國は封鎖の害を受けず、アドリヤチック海を除ては、其の海上も自由なりと雖、其所有船舶數ふるに足らざるを以て、假令賣買は自由なるも、貨物の運送意の如くならざるなり。伊太利は露國よりも其の面積狭く、外國の供給を仰ぐは、露國よりも更に範圍大なり。殊に同國には、地下生産物貧弱にして、金屬の産額多量ならず、固より其の需要を充すに足らざるなり。加ふるに、今や觀光外人の來るなく、従つて現金の流入なく、又移住民は母國に資金を輸送せずして、外國に於て却て多額の金錢を消費せり。殊

伊太利の
貿易状態

に伊太利は、十五箇年來外國に於て募集せられたる自國公債の買入を爲したるに依り、爲替相場下落を防止し、若くは之を緩和するに足るべき外國有價證券の所有高多額ならざるなり。

伊太利に於ては、戦争参加の時期に先だち、既に物價騰貴し、多くの貨物につき輸入減少を見、千九百十四年末四箇月内に四十七プロセントを減ず、或種の貨物に就ては投機行はれたり。

伊太利國には、砂糖の貯蓄多量なりしも、毎キヤンタール百二十八法の價格は、千九百十四年には百七十法に騰貴したり。因て政府は、二十八箇所若くは三十箇所の組合製糖所に對し、向ふ一年間、内地の砂糖相場を毎キヤンタール百三十法に維持せしむるの契約にて、五十萬キヤンタールの輸出を許したり。然るに、翌年に至り砂糖増加せしを以て、政府は更に反對の政策を採り、毎キヤンタール百三十五法の價格にて販賣することを承諾する製造家に對し、從來九十九法なりし輸入税の一部を免除したり。其の他政府は紙類に就ても同一の政

戦前物價
騰貴の傾
向あり

砂糖の騰
貴

海運賃金の騰貴

策を襲踏せり。

伊太利に於ては、爲替相場の下落に踵いで主たる二種の輸入品、即石炭及麥の運賃に騰貴を來したり。開戦前に於ては、伊國の船舶は、先づ黒海に赴き麥を搭載し、之を英國に輸入し、石炭を積載して歸航せり。而して平時に於ては、カヂーフよりゼノア迄の運賃は、毎噸十法を超過したることなかりしが、昨年春季には、其の運賃は、伊國通貨にて百五十法に騰貴したり。詳言すれば、其の運賃は、二十五プロセント乃至三十プロセントの爲替相場の打歩を加へ英貨百志となるなり。當時、アドリヤチコ號船主の明言する所に依れば、總噸數六千噸の該船を用ひてゼノアとカヂーフ間の行程は、往航に十日、積込に六日、復航に十日、陸揚に十六日を要し、頗る不利益なる條件に於て、保険料、諸税、金利及元金の償還高を合算するも、其の費用は、僅に毎噸二十法に過ぎずと云ふ。ゼノア港の混亂は終に貨物をしてサッガイヌ港に陸揚するの已むなきに至らしめたるものなるが、元來十六日間の陸揚日數は、寧ろ信じ難きものにして、是同

港の陸揚人が、蒸氣起重機に鎖鑰を施し、之を使用することを禁止したるに因るものなり。然れども現今に至りては、彼等も能く事理を解し、其の使用を許せしを以て、三日の日數あらば十分陸揚を完成するを得るに至れり。而して二十法乃至百五十法の差額は、即ち船主の多數を占むる英國人の獲得する利益にして、英國政府は之に租税を賦課し、其の利益の分配に與かれり。其の後英國政府は、聯合國の最も正當なる要求を容れ、十分なる隻數に於て徵發せる汽船を其の用途に供すべき措置を採れり。

石炭の騰貴

石炭は毎噸三十法乃至三十五法の相場なりしも、一時ゼノア港に於て二百二十法迄騰貴したるを以て、四月に至り、米國船は、ヴェルヂニ洲の石炭を塔載し地中海に來航せり。木炭及薪材は、北部伊太利、即ちスラヴネー及ダルマシー地方より産出すと雖、其の産出増加の割合は、極めて微々たる有様なるを以て、其の各種の用途に於て、石炭に代ることを得ざるべし。例へば伊國の小都會に於ては、瓦斯の缺乏を告げたるを以て、多數の瓦斯會社は、相次で破産の悲況

に陥れり。因て伊國鐵道院は燃料を一手に買占め、鐵若くは冷蔵肉類と均しく、之を主なる都合に分配するの策を採りたるを以て、今やミラン、フロランス、若くは羅馬に於ける炭類の相場は、巴里市と敢て異ならざるに至れり。

運賃及爲替相場は、千九百十五年二月に七法五十サンチムの輸入税を廢止せしにも拘はらず、毎キャンタール二十五法の相場なりし麥の價格を四十九法に騰貴せしめ、現今は、小麥麵麩は毎キロ、羅馬に在りては五十一サンチム、ミランに於ては五十四サンチムなるが、國民は毎キロ五十サンチムの混製麵麩を以て満足せり。其後伊太利政府は、穀類の投機を防遏せんが爲、穀類の調査を命じ、其の賣買につき届出の義務を定め、且同國中央の大都會に公立穀類倉庫を創設したり。又ミラン市は、市民に食料品を供給するが爲、逸早く、毎月七千磅の賃借料を以て、英國運送船一隻を、向ふ一箇年間借り受け、ヌーヴェール、オルレヤン及モントレアールより同市に小麥を輸入せしめたり。當時其の相場は、毎キャンタール四弗八十八仙なりしを以て、之を伊國の爲替相場に

小麥の騰貴

食料品の騰貴率

日本の外國貿易の發展

換算する時は三十二法六十五サンチムとなり、更にゼノア迄の運賃十一法、及ゼノアよりミラン迄の運賃一法三十五サンチムを合算する時は、結局毎キャンタールの價格は四十五法となるなり。伊太利政府は、之と同時に毎キャンタール五十二法の價格にて、濠洲よりゼノア港に小麥を輸入したり。

牛肉も亦都市に従ひ、四十乃至六十プロセントの騰貴を來たし、之を政府の統計に徴するときは、一般國民の各種食料品の價格は、羅馬及ミランの兩市に於ては、二十五プロセント、フロランス、ナールブル及チュレンの三市に於ては、三十五プロセントに騰貴し、ユヂース、ポローギユの兩市に於ては、更に甚だしく五十プロセント迄暴騰したり。

六 日本の經濟事情

戦争は日本國產の新販路を開きたるを以て、交戦國中獨り日本の外國貿易の著しき發展は特に注目し値す。見よ、千九百十六年の輸出高は四十億法に

達し、之を千九百十五年に對比すれば實に三分一以上の超過を示さずや。況んや千九百十五年の輸出高が既に業に過古數年の輸出高よりも著しき増加なるに於てをや。更に輸出入を對照する時は、十億法以上の輸出超過なり。日本國の新産業中、其の重要物産の一を擧ぐれば、綿製品にして、旭日帝國の紡績工場は毎日二十二時間の活動をなして莫大なる利益を博し、十五會社は増資を行ひ其の製産高の増加を期し、支那に輸出せられたる數量のみにて二億五千萬基に及べり。既にして日本帝國は、二年以來太平洋を経て南亞米利加との貿易を増進せしが、更に千九百十七年二月一日以來は、太西洋の航路を採り新嘉坡、錫蘭、マダガスカル、及喜望峯を経て、新に伯刺西爾との貿易開始をなして偉大なる効果を擧げ、今や七千五百噸の五隻の定期船は、同國の移住民と共に極東の製造品を新世界に輸入せむとす。嗚呼平時に於て豫想せられし歐洲戦亂の可能的期限は、今や虚構の空想となり了んぬ。歐洲諸國が互に拮抗對峙して敢て屈せざる威力は、自他相俱に驚嘆して措かざる所なりと雖も、

此の如き世界平和の紊亂は、何人か之を能く豫知し得たるや。而かも擾亂者は獨逸なるを以て、戦亂の第一の犠牲者となるべき者亦獨逸たらざるべからざるなり。

第二節 中立諸國

(摘要) 一、和蘭及白耳義の經濟事情 戦争に因る物價の騰貴、生活費の膨脹は、交

戦國と中立國とに依りて其の程度を一にせず。一方の慘苦は他方の繁榮たることもなきにあらず。獨逸貿易の關門たる和蘭に於ては、政府の嚴重なる監視あるに拘らず、獨逸に對して禁制品の密輸を企つるもの續出すると共に、農産物の輸出は異常の隆盛を來し、爲に物價は著しき昂騰を見るに至れり。和蘭は其の地理的關係上、戦後に於ても恐らく獨逸の勢力範圍を脱する能はざるべし。白耳義も亦、戦後工業を回復して國家の復興を企つべきは論を俟たずと雖、而かも商業上獨逸の勢力に服せざ

るを得ざらむか。

一、ス・カ・ン・ヂ・ナ・ウ・イ・ヤ 諸國の經濟事情 是等諸國も亦、經濟上獨逸の勢力範圍内に在り。食料品の節約物價の調節を講ぜざるに非ずと雖、而かも物價騰貴の趨勢は到底之を防止するに由なく、麵麩は三割、燕麥は七割の騰貴を示せり。

丁抹に於ても物價は異常の昂騰を示せり。而して其の原因は固より交戰國の龐大なる需要に基くものにして、之に因りて是等中立國の攫得したる利益は實に測り知るべからざるものあり。丁抹農村の貯金高が十五倍の増加を示せりといふが如きは、此間の消息を語り得て餘りあり。

一、西・班・牙 の經濟事情 戦争に因る輸入杜絶の結果は工業の勃興を促せり。西班牙に於ても從來不振なりし製糖業の如き、今や漸く復活の緒に就けり。同國爲替相場場の狀況は輸出を困難ならしめたるを以て、食料品の價格は比較的騰貴せず、隨て生活費の膨脹は一割五分乃至一割八分を

示せるに過ぎず。又輸出入の變動に伴ふ物價の騰貴は勞銀の昂騰を來したりと雖、而かも未だ生活費の膨脹には及ばず。要之、西班牙の工業は戦争に因る恩恵を享受し、充分の發達を遂ぐるに足るべき階段にも達せざる状態にあり。

一、米 國 的 經 濟 事 情 米國に於ける產業界は、今や未曾有の隆盛を極めつゝあり。世界の諸金屬需要の昂進、軍需品注文の輻湊等、各國の需要は、悉く合衆國に集中し來り、爲に供給は到底其の需要を充すに足らざるの盛況を呈せり。隨て物價の騰貴は著きものあり、鐵類の如き從來一噸の平均相場三十弗なりしもの、開戦後一躍して六十弗に昂騰せり。而かも米國民が殷賑富裕を極むるに至りたることは、家庭用娛樂用自動車の激増、電話事業の發展等に徴して明なる所にして、米國西部の小作人が數十億法の餘財を蓄積したりといふが如き、以て一斑を知るべきなり。モンロー主義は、今や産業上にも行はるゝに至り南北兩亞米利加間の關係は一層の

親密を加へむとす。元來合衆國を開發せるは歐洲の資本なるも、戦争はその地位を一變して債務國より債權國となし、國民又各種の悲觀説を排し、其の抱負を行はむとして即ち茲に亞米利加萬國協會の設立を見るに至れり。その目的とする所は、米國商品の新市場の開拓に在り、事業は先づ汽船會社と合同して造船事業と支那の鐵道敷設、運河浚渫の事業とを營まむとす。米國に於ける銀行業も亦、時運に適應すべき改善を加へ、商業委員を各國に派遣し、又商業の指導を爲し得べき人物を養成せむとす。

一 和蘭及白耳義の經濟事情

眞紅の血潮を以て戦史を記録する國民の側に在りて平然として之を閱讀する至幸の國民は、今や果して如何なる生活を爲しつゝありや。交戦國中に

物價騰貴
の影響

及ぼせし戦争の慘禍と打撃とは、自ら大小廣狹あるを免れず。白麵麩を食する佛國人と、黑麵麩を食する獨逸人とは、到底之を比較すべくもあらざるが如し。然れども物價の騰貴が、聯合國に對しても亦敵國に取りても、等しく窮乏の原因たるに至りては即ち一ならむ。之に反して、中立國に就きては、其の騰貴は、寧ろ國家繁榮の基礎と爲りたることなきにあらず。故に生活費の騰貴は全世界に波及せりと雖、世界各國必ずしも、皆其の騰貴に苦しむものと言ふ能はざるなり。

和蘭、丁抹、瑞典及那威の如き中立諸國の爲替相場を、交戦國の其れに比較するときは、十五、二十、若くは二十五プロセントの騰貴を招けりと雖、其の騰貴は決して正貨の膨脹、信用機關即ち銀行兌換券の過剰より來れるものに非ざるや明なり。而して中立國に於ては、物價は假令打歩を生ぜる通貨を以て表示せらると雖、海上より輸入せらるゝ貨物に就き運賃の影響を蒙れり。殊に封鎖に依て獨逸に輸入を見ざるに至れる商品は、敵軍が之を買収せむが爲る百方

力を盡すを以て、其の商品は非常なる價格を以て其の隣國に輸入せらる、而して其の商品の種目は頗る多く、一切の戦時禁制品を含み聯合國は、中立國が其の商品を敵國に供給せざる旨を誓約せざる以上は、中立國へも該商品を輸入することを許さざるなり。

開戦前に於ては、獨逸は和蘭を經由して數十億法の商品を自國に輸入せしも、今や和蘭は嚴正中立を保ち、聯合國に對し誠實に其の誓約を果さむが爲、斷乎たる處置を執り、國境に沿ふて十キロメートルの區域を特定監視地帯と定め、又其の地帯に在る諸市を以て攻圍状態に在るものと宣言し、軍隊をして嚴密に監督せしめ、和蘭チルビュール(和蘭市)市に於ては、市外に通ずる道路に悉く鐵柵を構え、通行の荷車を悉く檢閲せり。ウァーヴ及フリビエヌの兩市に於ては數群の密輸入者屢、逮捕せられたりと云ふ。同國は更に一層の効果を收めむ爲、最近監視所を増設せり。然れども一兵卒に食はずに、莫大なる黄金を以てせば、彼等は唯々として、密輸入者に和蘭國境線の踰越を、默認せむこと想像する

和蘭の中
立と密輸
監視

に難からざるなり。

獨逸人は和蘭國商人の白耳義領内に來るを待ち、凡百の手段方法を盡し密輸入を勧誘せり。嘗てアルネーム控訴院に於て判決したるマルガリン油及麻油の輸出事件に際し、檢事は六箇月の禁錮を求めしが、其の密輸出は、全く伯林の『中央購買廠』に於て企畫せるものなること、後日に至り發見したり。又或時は、ムーズ河の氾濫の爲、偶然同河岸に銅の澁滯せるを發見したることあり。又或時は憲兵が、白耳義國官憲の豫告により護謨を差押えたることあり。英國政府の發布したる黒表に掲載せられたる中立國の疑はしき會社名中、和蘭會社は六十七の多數を占めたるを以て、悉く之を監視に附せり。故に、和蘭協會は、七百名以上の使用人を派して、商品の賣買上最も嚴密なる監督を行へり。前述の如き和蘭の政策より、如何に獨逸國の憂苦忿怒を惹起せしやを想はば、其政策の效果顯著なるを知るに足らむ。嘗て、和蘭國政府は、脂肪油の賣買を公然要求せる伯林政府の強硬なる厭迫を受けたるも、決して之に屈從せざ

第二章 戦時に於ける各國經濟事情の變遷

八八

りき。即ち油類の如きは、消費高二倍となりたれば、必然内地の需要に充てざるべからざることを、拒絶の理由となしたり。土地の産出物に就ては、和蘭は全く自由にして、國內の需要に不足を告げざる限度に於て、最も有利の條件の下に農産物の一部を輸出せり。即ち乾酪は五十基に付三十三フロレンより七十フロレン、又鶏卵は百個に付四フロレンより七フロレンに値上げせり。同種の貨物と雖、輸出許可を得たると否とに依り市場の相場に自ら高低あり、現に牛酪の如きも輸出許可を得たるときは、四法七十サンチムなるも、是れなきときは三法二十サンチムにして、其の外千九百十四年の相場の倍額となりし商品も、決して尠少ならざるなり。殊に家畜乳製品、若くは穀類の發送高が四十若くは六十プロセント、否時に二倍の割合にも増加せしことあるは、普く世人の知れる所なり。

斯の如く、獨逸國に吸收せらるゝ巨額の輸出は、物價の騰貴を醸生し、而して和蘭獨り其の利益を恣にせり。然れども一方に於ては、同國に於ても、外國よ

り輸入せらるゝ物品に就ては、其の價格騰貴し反對の影響を蒙れり。即ち砂糖は倍額となり、穀類性酒精は、其の價格三倍となれり。但し、和蘭國に於て生活費の騰貴を平均三十二プロセントと見積る所以は、其の他の物價の變動餘りに劇甚ならざるが故ならむ。既に錫の如きも、依然其價格低廉にして、世人の傳ふる所に據れば、和蘭殖民大臣は、蘭領印度の工業上必要なる「アニリン」染料を獨逸國より輸入せむが爲、ボルネオ産の錫八十萬基を、同國に賣渡せりと云ふ。

獨逸も亦、本年の夏和蘭に、多量の自轉車用タイヤを輸出せしが、世人は同品の市場に現はるゝを視て、尠からず奇異の感を抱けり。是れ恐くは、獨逸が其の占領せる佛國北部の倉庫より引き出し、以て和蘭の商業市場との關係を斷絶せざる爲、之を輸出せしめたるならむ。千九百十六年アムステルダム「一般商業新報」の記事に曰く、「獨逸は絹製品、綿製品並に銅を主要材料とせる諸器械を和蘭に輸出せり。此の一事たる、甚だ信じ難き觀ありと雖、焉ぞ知らむ直正

の事實なるを」と。前記の取引が果して重要なるものなりしや否や、甚だ確實ならずと雖、獨逸が和蘭との自由貿易の利益を壟斷するや既に久し。現に開戦前和蘭に於て、獨逸製鐵板を以てライン海専用の貨物船を建造したり。而して其の建造費が、材料の産出國たる獨逸に於けるよりも低廉なる所以は、和蘭に於ては獨逸よりも職工の勞銀低廉なるを以て、同型の船舶にして同國の造船所は、廉價に之を建造するを得べきが故に、獨逸國の冶金業組合は、擧て和蘭に於て之が建造の契約を承諾したり。

和蘭大藏大臣トループ氏が嘗て下院に於て從來和蘭の踏襲せる門戶開放主義は平和後に至りても引續き其の維持を期すべく、而して該主義は、和蘭をして、竟に、全世界に亘り販路を求めむとして努力及ばざるなき獨逸物産の唯一の貯藏場たらしめむことを明言せり。隨て和蘭は、運送に關して貴重なる華主の愛顧を蒙ることゝなるべしと雖、一面に於ては、勢ひ商業上獨逸勢力の範圍内に拘束せらるゝに至らずむば至幸なり。果して曩に聯合國間に締結

されたる經濟協約が空文ならざるに於ては、和蘭國は獨逸國の勢力範圍に拘束せらるゝが爲、工業上多大の妨害に逢著せむも亦、測るべからざるなり。

之に反し、白耳義は、内地の工業を利用し、孜孜として自國繁榮の基礎を復興すべき途を講ぜむとす。開戦數月前に白耳義國カンピーヌ平原の南方に當り、ヴェストファーリー州の山脈より連續する地層に於て、豊富なる鑛脈を發見せりとの風説なりしが、果して事實とせば、白耳義は隣邦即ち佛國の工場にコークスを供給することゝならむ。世人の知れるが如く、佛國ローレン谿谷地方の石炭は、コークスに變造することを得ざるを以て、製鐵事業の爲佛國は勢ひ獨逸コークスの輸入を待ち、既に千九百十三年に於ては、獨逸國より一億六千萬法のコークスを輸入せり。又工業國なる白耳義は、獨逸國より輸出する多量なる商品の仲繼者たるを以て、同國の商品は白耳義國內に充滿するのみならず、獨逸品はアンヴェール港に於ける取引の最大部分を占め、一切の輸出は其の商船隊を以て監視せらる。

一 スカンデナヴィヤ諸國の經濟事情

北歐諸國
の經濟上
の地位

スカンデナヴィヤ諸國も亦精製品及農産品に就ては獨逸の勢力範圍を脱せず、獨逸の工場は、專賣權を有する物品の價格を隨意に定め、昨冬の如きも丁抹國の通信員に、一切の染料は四百プロセントの値上を爲し、其の支拂は丁抹のクローンヌ貨幣を以て爲すべき旨を通告せしめたり。之に反し食料品に關しては、獨逸人はスカンデナヴィヤ王國の勢力下に在りて、現に瑞典國は從來獨逸人より購買せし裸麥、燕麥、肉類及脂肪肉等を、今や却て彼等に賣渡すことゝなれり。元來瑞典が純粹の農業國を脱せし以來、其の國民の三分の一は工場に於て使役せらるゝ所となりたるを以て、同國民は漸く其の糧食に不足を感ずることゝなれり。因て穀類三百萬キヤンター、及殆ど之と同量の肉類三千萬個の鶏卵等を、毎年獨逸國より輸入するを常とせり。然るに、現今小麥及其の二倍以上を消耗する裸麥の如きは、獨逸國の如く糧食補給委員を置き、勅

物價の騰
貴と食料
品の節約

令を以て其の最高價格を定めたるにも拘らず、其の價格を平時の其れに比較するときは、七十プロセントの騰貴を示せり。

同國に於ては、食料品節約を目的として、小麥粉に十プロセントの割合を以て馬鈴薯粉を混和して特種の麵麩の製造を初め、又四箇月間蒸餾事業を廢止し、今や將に家畜の飼養に穀類を供することを禁止せむとす。目下麵麩の騰貴は三十プロセントにして、開戦以來其の他の一切の食料品の騰貴も亦全く麵麩と同一の割合なり。瑞典に於ては、和蘭と均しく物價を表示するに當り、獨逸の貨幣に對し二十九プロセントの高値を示せる通貨を用ふるを以て、労働者の家計は、爲に毎年二百三十法の膨脹を招きたるも、其の支出の増加は、勞銀の騰貴に依りて以て自ら賠償せらるゝことゝなれり。那威及丁抹に於ても、同一の現象を目撃すと雖、丁抹の物價は平和時代に於ては、常に他の二箇國よりも低廉なりしを注目すべきなり。

平時丁抹に於て購買する製茶の數量は、一箇年百十萬リールなりしに、昨

年コバンハーグ市が英國市場に於て、一日に六十九萬リール製の茶を購買するや、其の相場忽ち暴騰し、次で鯨魚も、俄然二倍の相場に奔騰し、又秣の缺乏は、多數の家畜を屠殺するに至らしめたるを以て、肉類は千九百十四年に於て一時下落したり。牛酪に關しては、時に輸出を禁止し、時に解禁したるが爲、其の相場の昇降特に劇しく、瑞典國政府が約定價格を以て内地に販賣せむことを契約したる者に限り、其の製造高の一部を輸出するを許し、其の外一切輸出を禁止したる時に當りては、スカリー市に於ては、其の相場は每基六法五十サンチームに騰貴したり。牛酪に關し、丁抹政府は何等の統計書を發行せず、公衆をして其の多寡を知らしめずと雖、是れ獨逸國には每基三クロンヌ四十五にて賣渡し、英國には二クロンヌ五十にて賣渡ししことが、兩國の不滿を惹起せむことを憂へたるが故なり。

聯合諸國の物價の騰貴は、需要と資力との權衡、及消費と生産との平均を失ひたるに原因するが故に、之が爲多少利益を得たる國民ありと雖、國民全體よ

り觀察するときは、其の失ふ所多大なりと謂ふべし。何となれば、國民は總て外國品の輸入に待たざるを得ざるのみならず、英國の外、各國皆外國の貨幣に對し、相當の打歩を支拂ふを要すればなり。

反之、此等の中立國にては、其の貨幣は依然平價を維持するも、若干の商品は運送費の影響を受け著しく上騰し、現に石炭の如きは其の一例にして、瑞典に於ては、毎噸の價格十六クロンヌより四十クロンヌに騰貴し、隨て鐵道の經營費は五千五百萬クロンヌより一躍して七千百萬クロンヌに増加したり。又和蘭政府は、露國に對し中繼運輸の便宜を與へたるを以て、其の報酬として廉價を以てカルデッ港より千二百萬噸の石炭を輸入したり。之を要するに此等の中立國に於ては、物價の騰貴は、單に外國の需要特に劇甚なるに起因するものなるが故に、農商社會は、之が爲莫大なる利益を擧げたりと謂ふべし。

丁抹に於ては、コバンハーグ市の貯金高の減少せしに反し、農村貯蓄銀行の

貯蓄高は十五倍となれり。然れども、スカンデナヴィア三王國に於て各々平價を以て國債を募集し、又丁抹人は、最近に至る迄、獨逸人の左右し、抵當貸付を目的とせる「丁抹國信用會社」の株券の殆ど全額を有利なる相場を以て買戻し、又人口僅に二百五十萬人に過ぎざる丁抹に於て、戦時利得税により徴收したる税額が七千五百萬法に達したる等の諸事實を綜合して考ふる時は、假令一切の在庫貨物及貯藏品を賣却したるも、皆是れ高價を以てしたるものなれば、結局する所、スカンデナヴィア地方が金錢上莫大なる利益を占めたる事敢て疑なきが如し。

三 西班牙の經濟事情

中立國に於ても、輸入の杜絶即ち外國競争の消滅は、嶄新なる工業の勃興若くは衰頹に瀕せる工業の復興を促したり。例へば、開戦前に於ては非常なる恐慌に沈淪せる西班牙の製糖業の如き、即ち是なり。西班牙某官曰く「我國の

製糖場に於ては機械器具類は最も完備せりと雖、内地産の甜菜と外國産の甜菜とを比較するときは、其の價格に於て毎噸十五法乃至二十法の等差あり。且製糖業の主要なる助成原料は燃料にして、而かも其の數量不足なるが爲價格不廉なるに加へ、其の運搬費も亦頗る高値なり。是れ即ち我國の産物が特別の場合の外、世界の市場に現はれざる所以なりと。

西班牙に於ては内地の需要に超過し多數の製糖場を建設せしも、輸入を防遏することを得ざりしを以て甚だ不振の状態なりき。然るに戦争は一切の競争者を沈黙せしめ、俄に砂糖の販賣高を増加せしめたり。然れども總ての製糖機械は獨逸品にして、隨て目下之を購買することを得ざるを以て、一時工場を閉鎖するに至りしが、其の後資金の豊富なる製糖場のみ再び開業するを得たる状況なりしに因り、砂糖の價格は三百プロセントの驚くべき騰貴を爲したり。茲に甚だ奇異なる事實は、現今西班牙に於て多少砂糖價格の下落を見たることなり。開戦前五箇年間砂糖每基の價格は平均一ペセター（我四十

錢二十サンチムなりしも、方今は一ベクター〇七サンチムとなれり。蓋し千九百十三年に於ては平價以下なりし西班牙爲替相場は、今や、法に對し二十プロセント騰貴せしことを知らば、此の價格の差異が因て生じたる理由を知るに餘あるべきなり。

爲替打歩の發生は、佛國に於て西班牙產貨物の價格を騰貴せしめたるを以て同國の輸出を阻害し、殊に砂糖の輸出を不可能ならしめ、本國に於ては一切の物價を比較的低廉ならしめたり。茲に吾人が比較的と言へるは、千九百十三年來小麥製麵麩及馬鈴薯は二十プロセント、鮭魚は二十五プロセント、鶏卵は三十プロセント、牛肉及羊肉は十七プロセントの騰貴を爲したるに反し、青荳牛乳米及葡萄酒の如きは、些少の騰貴を招きたるに過ぎず。殊に油類の如きは却て下落せるが故なりとす。されば一般國民の生活費は平均村落に於て十八プロセント、又各州の首府に於て十五プロセントの騰貴を爲したるに過ぎざるなり。

物價騰貴の限度

輸入及輸出の騰貴による増減の實物價

西班牙は多量の精製品及未製品を外國の輸入に仰ぎ來りしが、其の資力の後援なく、内國產の以て補充するに足るべきものなきが爲、其の價格は著しく騰貴したり。又露國及瑞典より木材の輸入杜絶し、之が缺乏を告ぐるも同國の山林は之を補ふに足らざるなり。製紙原料も化學的製造品及炭類と相並び六十プロセントの騰貴を爲したるを以て、製紙家は其の山林にエビセア(製紙原料の木材名)を栽培せむことを主張したり。麻類及牛乳製品も亦缺乏し、其の外、自國產と外國產とを問はず普通の羅紗類も亦二百プロセントの騰貴を來せり。

前者と反對の原因即ち輸出の劇増は、其の他の物品に就き同一の結果を招けり。例へば皮類の價格は三倍となりし爲、頻に家畜を外國に輸出せし結果、獸脂の缺乏を招き、延いて蠟燭及石鹼も騰貴し、又脂類及テレメン油は爆發物製造用の爲聯合國の需要劇甚なりしを以て其の價格騰貴せり。キルク工場の如きは其の注文全く絶えたるを以て、其の従業員を悉く解雇せざるを得ざ

りしが、該工業は國民の利害休戚に關するが如き盛大なる事業にあらざる也。然れども石炭類の缺乏は鑛物の採掘に著しく影響し、鐵及亞鉛の缺損は市内の建築業をして全く萎靡せしめ、失業者の増加を促したり。

勞銀の騰貴

勞銀の騰貴は生活費の騰貴に遠く及ばず、今紡績工場に就て千九百十三年と現今の勞銀の差額を見るに、漸く男子は毎週三法、既婚婦は二法、未婚婦は一法の騰貴を示したるに過ぎざるなり。然れども西班牙産業が戦争に因りて赫々たる光明を得むが爲には、其の設備餘りに不完全なりと言はざるべからず。然らば其の罪果して何人に歸すべきや。市に依りては、其の工場に對し毎馬力四百法に當る課税を爲すを見て、當業者は或は其の罪を租税の過重に嫁せむとす。茲に其の責任の歸する處を論究せむとするときは、餘りに冗長に失すべきを以て、姑く之を他日に譲らむとす。

西班牙の工業は戦争の恩恵を蒙らず

四 米國經濟事情

合衆國政府の政策的干渉

果して政府が一國民の繁榮を左右するものとせば、千九百十四年八月に於ける合衆國政府の態度は實に凡庸なりと謂ふべし。合衆國の新政策を評せば、奴隸制の再設とも稱すべきか、唯昔時の奴隸は黒色人種なりしも今日の奴隸は白色人種なるのみ。人類てふ組成物の貴重なる酵母とも稱すべき白色人種の或者——事業家——を徒に國家の束縛の下に縲繫するを以て唯一の目的と爲すもの、實に是れ昨今の民主黨の態度なりとす。然れども想ひ見よ。彼の事業家の創設的天才と不斷の努力と不撓の意思とが、五十年來竟に彼の偉業を完美せしめたるものに非ずや。然るに今日此の事ある、誰か能く夢想するものぞ。此の束縛、此の干渉、吾人の以て奴隸制度の再興と爲す所以なり。トクヴールの論説及ラブーレー氏の『米國に於ける巴里』と題する書、共に公刊せられて既に久し矣。元來何事も冗繁なる規則を厭ふ自由の國なりし米國に於て、將又民間の創設の爲には國家の遺習慣例を飽くまで尊重し來れる米國に於て、焉ぞ知らむ、今日大産業の施設經營に關し國家の羈束的容喙行はれ

むとは。

事業界の活動者が其の資産の一部を割きて團體に寄贈するが如き場合に於ても、此の義侠的行爲は尙且或種の政治家流の猜疑の眼には狡獪なる詐謀を企つるものとして映ずるものゝ如し。故に嫉妬深き彼等は數百萬金を擁する賑恤家に對し常に武装を解除せざるなり。例へば「ロックフェラー基金」の如きは莫大なる資金を以て白耳義人の救済を目的とするものにして、歐洲人の齊しく驚嘆して措かざる所なり。然るに此の博愛事業が其の創立者の寄贈したる五億二千萬法の資金を以て猥に恩恵を施し、以て労働市場に著しき影響を及ぼさむとする虞ありといふ口實の下に、此の事業は聯邦委員會に訴へられ、法律上の審問に附せられたるを聞くに至りては、殆ど呆然たらざるを得ざるなり。

米國に於ては國家と交渉なき私設機關若くは個人又は團體の勢力に對する著しき嫌は、忌往々下の如き事實を派生する動機たらしむ。而して此の事

千港の一
例

千港的立
法例

たる、歐洲諸國の寧ろ解するに苦しむ所なり。そは例へばオハイヨー州の立法者は職工が「シンヂケート」に加入したるを理由として解雇したる親方に對し、五百法の罰金又は六箇月の禁錮に處すべき旨規定し、又コロラド州の民主黨は、元來新聞は鐵道と同じく公共事業なれば其の代價若くは其の廣告料に關しては鐵道と同一の法規に依り規律すべき旨を主張せり。同國上院に於て可決したる法案は佛國の「アウアー」に似たる電報通信機關の獨占を防止せむが爲、總べての新聞に對し五百法の罰金の下に、苟も法定の料金を支拂ひ請求する者には悉く其の通信を通過せしむべき旨強制せむとするものなり。

鐵道に關しては、政府は隨意に其の乗車賃を増減し、其の従業員を増さしめ、其の勤務日數を減ぜしむ。斯の如く隨意に支出を増し收入を減ぜしむる當該官憲の權利は、動もすれば會社を衰微せしめむとす。現に或州例へば、ミッスリー州に於て二年間に四會社の破産せる事實ありたり。關稅率の低減は歐洲に取りては頗る慶賀すべきことなれども、合衆國の誇稱せし高率の労働賃

千港政策
による經
濟上の不
安

銀を低落せしめ、終に失業者を増加したる結果を齎せり。又米國の工業は稍不自然に發達せし傾向あり。殊に羊毛工業の如きは若し過度の保護税率なくむば到底歐洲製品と競争すること能はざりしなるべし。鋼鐵工業も一時危殆に瀕し、合衆國合同製鐵會社は其の收入不足の爲平常の利益配當をも爲す能はざりき。

以上列叙せしものは千九百十四年に於ける米國工業の不安なる狀況にして、是れ千九百十二年に於ける民主黨の勝利により得たる結果なり。然れども果して米國が其の後二年間に根本的に工業上の態面を一變せしものとせば、米國が工業界の禍根を理解せしが故なるを以て、更に進て其の狀況を詳説するを要するや勿論なれども、吾人は先づ歐洲の戦争が米國繁榮の現狀に如何なる影響を及ぼせしかを知らむと欲す。

合衆國の統計年度は七月一日に始り翌年六月三十日に終るものなるが、千九百十二年六月三十日より千九百十六年六月三十日に至る間に或種の工業

戦争による
工業の
般盛

銅鐵其他
商品の騰
貴

若くは事物に就き次の二種の潮流の現はるゝを知る。其の一は下落及損失の趨勢にして、若干の物價は千九百十四年の秋に至る迄漸次下落して止まざりき。其の二は騰貴及利得の傾向にして、歐洲の戦争は騰貴を醸成して今日に至るまで其の形勢を持続せり。今其の一例を挙げれば、冶金事業の中心地に於ける銅鐵注文の出所を調査するに、内國注文の増加は僅に十プロセントに過ぎざるも、外國の注文は三百プロセントを増加したり。右の影響を受け、製鐵每噸の平均相場は三十弗なりしが一躍して六十弗となり、隨て内地の顧客中最も重要な鐵道會社の如きは、焦眉の急に迫れるものゝ外一切其の買入を中止したり。

各種の金屬の騰貴せし如く諸種の商品も亦愈々騰貴し、生産運輸の便を擴張したるに拘らず、需要供給の平均を得るに至らず、需要は到底満足に應ぜられざる狀況なりき。軍需品に至りては、今日既に千九百十八年分のものに就き引渡契約を爲したるも、是等は姑く措き、實棉若くは綿布、被服類、食料品、點火用

品の如きは、未曾有の高價に達せり。又小麦の相場は毎エクトリートル六弗となりしが、是れ實に千八百六十四年に起りたる奴隸解放戦争後未だ曾て見ざる所の相場なり。

英國佛國獨國の如き交戦國は、各自國の需要を満足せしめむとするに寧日なく、國産を外國に輸出するが如き餘暇なきを以て、從來其の供給を仰ぎたる中立國迄も合衆國物産の輸入を必要とするに至れり。是れ即ち物價の騰貴が敢て其の販路を萎縮せしめざる所以なり。

戦争の繼續する間、利得すべき此の「富源」に就き、米國人中直接に利益を享受せずして唯消費者の地位に立てる人民は、諸物價の騰貴を見て以て頻に不平を唱へて止まざるなり。

然れども此の點に付米國人民は餘りに悲觀するに及ばざるなり。現に彼等の目撃するが如く人民の勞銀著しく騰貴せしを以て、物價騰貴するも毫も生活費の擴張を妨げざるなり。又揮發油の相場が毎リットル二十サンチム

各國の需
要合衆國
に集まる

自動車の
増加は富
裕を示す

電話事業
の發展

食料品の
騰貴と利
得

に騰貴せしを見て、輿論は頻りに其の暴騰を批難とせりと雖、合衆國に於て使用する自動車の數は、千九百十六年一月一日には一億の人口に對し二百二十萬五千臺なりしも、今や三百五十萬臺に増加せしを見れば、其の騰貴は敢て痛痒を感じざるものゝ如し。單に紐育市のみにても其數は十萬臺にして、之を千九百十三年に於ける佛蘭西全國の現在數六萬六千臺に比較するときは、佛蘭西全國の數よりも五十プロセント以上多きなり。又合衆國に於て主務官廳の帳簿に登録されたる自動車中、僅に其の六分の一は商業用に使用せらるゝのみにて、其餘は悉く家庭用又は娛樂用車なり。

又昨年来米國は電話事業を擴張し之を延長したり。故に今や三分間百法の電話料を投ぜば、四千八百料を距てたる紐育と桑港との間に於て、談話を交はずを得べきなり。

小麦毎エクトリートルの價格が輸出港に於て三十法に上騰せし以來、職工は一片の麵麩を購買する爲餘分に一ユー(我二錢に相當す)を支拂ふことゝな

りたりと雖、其の輸出は米國西部の小作人をして數十億法の餘財を蓄積せしむることとなりたり。

肉類に關しては、市俄古市の二大工場、即ち昨年中に五十七億法以上の取引を爲せしスヴィフとアルムールとの二工場の報告書を一讀せば、假令獸類の價格が前年より稍高價なりと雖、該工場は主なる都市に於て牛肉毎キャンタールを前年より五プロセント安く、百基に就き八十法にて販賣し、而して一億五千萬法の利益は全然牛皮、肥料、石鹼、其の他獸類の副産物より來れるなり。其の副産物の輸出は肉類より遙かに多量にして、却つて肉類は冷蔵肉として亞爾然丁共和國より合衆國に輸入せられ、其の輸入者は之が爲莫大なる利益を實收せり。

以上列叙するが如く、合衆國は開戦以來特に歐洲に販路を求むるが爲、從來歐洲に販賣したる商品を製造若くは模造せり。現に全世界に於て千九百十三年に消費せし亞鉛の數量は百萬噸以上なりしが、其の半は獨逸國及白耳義

鐵業の發
展と巨大
なる利益

國に於て製造し、合衆國の產出高は三十二萬噸に過ぎざりしが、今や世界の產出高減少したるを以て、其の價格は三倍となれり。因て幾許もなくして米國の鑄造場は鍛冶爐及蒸餾器を増置し、千九百十五年には五十萬噸の亞鉛を產出し、千九百十六年末に至り、其の產出能率は、八十二萬四千噸に達したるを以て、二年間に百五十プロセントの増加を爲せり。米國の亞鉛は、千九百十三年には十六萬九千弗の損失を蒙り、千九百十四年には利益を擧げ得たるも七萬七千弗に過ぎず、次で千九百十五年には其の利益五百萬弗に上り、千九百十六年に至りては更に七百五十萬弗に達したり。

アルミニウムの產額も同一の状態にして、本年の其の產額は十萬噸に達せしを以て、之を千九百十三年の產額二萬二千噸に對比するときは約五倍となれり。又タンクステンは、器具用の銅鐵を鍛へる爲使用する一種の金屬にして、目下其消費高は實に莫大なり。其の採掘高は二倍となれるも、該金屬の價格は毎噸一萬千五百法にして、合衆國產額は未だ其の需要に應ずるに足ら

兩亞米利
加間の密
接の關係

ざるを以て、之を南米の輸入に仰げり。

米國は米國人自ら所理せよとの所謂モンロー主義は、最初政治界のみに行はれしも、事物自然の趨勢より終に財界工業界にまで行はるゝこととなりたるを以て、兩亞米利加間の交誼は愈々親密を加ふることとなり。合衆國の識者曰く『這般の戦争は經濟界の事件に關し余輩に尠からざる教訓を與へたり。就中來る者は必ず之を歓迎せむと信じたる地方に於て、我競争者が幾多の堡壘を構えたることを知りたるは、決して輕々に看過すべからざる教訓なりと謂ふべし。南亞米利加は其の進歩に一頓挫を來し購買力の減少するや、歐洲人は同地方に放資するを止めたるも、獨り英吉利國が之に送付したる財貨約二百億法の貸付額に相當するは、余輩の熟知する所なり』と。

開戦當時英國が外國に投資せる金額は千億法に上り、其の内四百六十億法は英領殖民地に、七十億法は合衆國に、殘る三百八十億法は全世界中の他の地方に投資せられ、其資本より生ずる利子の半も直に其の地に投ぜられたり。

英佛獨の
外國投資
の南米國
資との投

他の諸國に於ても英國の實例に鑑み外國に投資し、漸次に自國物産の販路を擴張せり。佛國及獨國が各約五十億法を南亞米利加に投資せりと稱せらるるも、反之合衆國は同地方に於ては何等の債權を有せず。僅に若干のトラストが大西洋及太平洋の沿岸に於て商業を經營し、或は鑛山開掘事業に従事するも、其の價格は十五億法乃至二十億法に過ぎず。

合衆國は歐洲の債務者なるにも拘らず、如何にして其の偉業を完成したるや。合衆國が旅客もなく貨物もなき渺茫たる原野を通過して西洋に渉る數十の鐵道を毫も資本なくして敷設せむとの考案を立てしは、當時外見上甚だ無謀の計畫なりしが如しと雖、而かも之を助け能く其の計畫を成功せしめたるは、實に歐洲の資本なり。因て合衆國は農産品を輸出し、以て自國の工業發展の爲外國に於て借入れたる資本の利子を支拂ふこととせり。

合衆國は千九百十四年八月の始めに當り、頗る危懼の念に驅られたり。當時最も有力なる鐵道從業員の言に曰く『合衆國は千九百十五年末に平價にて

合衆國の
外國資本
の發による開戦當時
の財政悲
觀論

二十六億法の公債の償還を要求せらるべく、且計畫線路の定期擴張を行ふ爲毎年二十億法の資金を要し、單にペンシルヴァニア鐵道會社のみにて千九百十四年六月三十日以前の四年間に於て、其の擴張費に十三億二千萬法を要したり。故に合衆國は嘗に今後數年間新に借入を爲さむとするに當り歐洲に信頼するを得ざるのみならず、交戦國が相場暴落の危険を顧みず我市場に於て合衆國公債證券を賣り放つべきを以て、合衆國の市場は自國公債證券の大洪水を見るに至らむ』と。

然るに米國人の恐怖心は一片の杞憂に過ぎずして、米國は歐洲大陸に於て百八十億法の公債證券を買戻し、更に進で十億法の金額を貸付し、其の後も間斷なく増加せり。隨て米國は債務者より一躍して債權者となりたり。而して千九百十六年六月三十日の輸出高は輸入高に對比し百六十五億法の超過なりと雖、此の一事を見て以て俄然急激なる膨脹を爲したる米國の富に就き十分なる理解を爲したりとする能はざるなり。

歐洲に對し債權國となる

戦後貿易に關する悲觀論

米國にも悲觀論者尠からざるが、其の意見に曰く『米國には一種の自負心あり。一旦平和の光明現はるゝに至らば、怒濤の如き軍需品の輸出は忽ち停止せむ』と。實際千九百十六年に米國より發送したる爆發藥は二十四億と計上せらるゝも、其の輸出は急に絶無となるべく、最近迄輸出せし鐵及鋼鐵の價格は三十億法以上に上れりと雖、其の價格も必ず下落すべく、又交戦國も平和克復後は砂糖を自國に於て製造し、千九百十六年には全然米國に仰ぎたる八億法の石油及十五億法の麥の一部を、將來は露國より輸入するに至るべし。又彼等は曰く『干戈一たび治らば、歐洲は争て國家復舊の難事に着手すべく、戰爭の損失は其の購買力を著しく減じ生産者は需要に依り制せられ、最も低廉なる勞銀にて製造を命じ、互に相競て未曾有の廉價なる製作品を販賣せむとすべく、米國は之が爲其の市場を蹂躙せられ、終に其の防禦に堪へざるべし』と。

然れども米國人は概ね此の如き悲しむべき豫言を信ぜずして、彼のカーネギーの言へる如く、鋼鐵は時に王公貴族の如く尊重せられ、時に乞食非人の如

米國人の抱負と戦後の準備

く蔑視せられ、假令其の價格は同じからざるも、建築用に破壊用に平時にも將又戦時に於ても、自ら其の需要あらむことを期せり。加ふるに歐洲人民は資本原料及職工の缺乏の爲疲弊し、且租税の重荷に呻吟せるを以て、鋭敏にして指導其の宜しきを得たる米國人と、到底競争するを得ずとの確信を懷けり。故に米國人は互に相提携して其の前進を維持繼續せむが爲、營々として準備を怠らず、又彼等は前代未聞の大戦に依り、舊歐羅巴よりも更に一層米國の市場を嫉視すべき新歐羅巴の顯出せむことを期待せり。

米國人は、兩半球に於て其の比を見ざる最も有力なる金融工業機關(亞米利加萬國協會と稱す)を、一朝にして創立することに決せしが、前述の思想は、實に其の決定を妨げざりしのみならず、恐らく却て其の決定を促進せしめしならむ。此の機關たるや、純然たるトラストのトラストにして、米國は財界を席捲して、一躍世界の銀行家たらむとするの空想を實現せむと欲するなり。

獨逸人は動もすれば、色眼鏡を以て社會の事物を觀察することあり。然れ

亞米利加
萬國協會
の設立

ども佛蘭西人たる我等は、戰爭中米國人の佛國に對して有したる好意に就き感慨して措かざる所にして、殊に會て同國民獨立の爲めには、佛國は人命を擲ちて援助したれば、焉んぞ將來兩國間に紛議を醸すが如きことあらむや。此の如く共鳴せる佛國人は、前記の新機關の設立を衷心より祝福し、他日平和條約締結の後日耳曼人の工業上の侵略を支へむとするに、最も有力なる堡壘たるべきものとなし、進て其の擧を慶賀せむとするなり。

抑も該團體は、甚だ僅少なる二億五千萬法の資本を以て其の事業を創めむとするも、該資本は毫も廣く民間より募集せず、且著しき苦痛なくして該團體の理事者中より醗集することを得たり。該團體は營業科目の頗る廣濶なると共に、第一流の銀行家、大工業家、電氣、肉類の營業者、鐵道、石油、鋼鐵、銅、船舶等の會社の首領より成れる團體にして、二十年來銳意事業界に於て奮闘努力したる會社及敏腕家を網羅せしものなり。而して日耳曼系統の米國人も、亦聯合國の親友たる純米國人も、相提携して該團體に加入せり。多大の勢力を集めた

同協會の
組織

同協會の
目的

る此の龐大なる團體は、政府の見る所に據れば、甚だ嫌忌すべき獨占權を占むるが如くなるも、其の事業の設立者は却て商務卿の同意協力を得て、其の計畫書を編製するを得たり。是れ全く其の事業が所謂國家的事業たるが故なり。組合規約に定むる所に據れば、該團體は米國商品の爲新市場を開き、其の資本技術家及製作家を用ひ、外國に存在せる自國の工業の該團體の目的に適合する國內の附帶事業の改良擴張を目的とす。

同協會の
事業計畫

又其の事業に着手するに當り、太平洋及太平洋汽船會社と合同し、近く最大造船場(紐育造船會社)を買入れ、其の製造力を増し、併せて船舶の修理に必要な器具を鑄造するものとす。又歐洲諸國が活動を始め、該團體の援助を要求する迄、支那政府と條約を締結し、數千キロメートルの鐵道の敷設並大運河の浚渫事業を經營せむとす。

銀行制度
の改善
委員の
派遣

故に合衆國は既に地球上到る所に於て製造、販賣、金融等の事業の經營を企畫せり。更に進み二年來國內の銀行制度を改良し、獨逸國の銀行制度に循ひ、

長期貸附並事業及益金を擔保とする信用貸付の便を増し、以て外國に於ける銀行業をも完成せむと欲せり。又合衆國は露國及和蘭國に商業委員を派遣し、若くは同國の委員を駐在せしめ、殊に今日まで中央亞米利加共和國の輸入高は總輸入高の四乃至五プロセントを超過せざるにも拘らず、尙且是にまで委員を派遣せり。而して外國貿易の先覺者となり、且外國商況を視察するに適當なる人物を養成する爲、最近國立都市銀行が模範に採りたる獨逸國の方法に倣ひ、亞米利加に於て出產したる成年の優秀者を大學生中より拔擢せむとす。

佛國の好
意

佛國は米國の遠大なる其の計畫を憂へざるのみならず、却て之を歓迎すべく、既に米國が佛國に對する好意に出でたる計畫なれば、毫も政治的偏見を有せざるなり。故に世界の中心點を移動せむとする這回の戦争終熄したる後には、佛國は米國に對し懇談的商議を爲すを辭せざるべし。

合衆國の
参戰

余が本論の起草を終るや、恰も米國は中立國の域を脱したれば、本論の刊行

せらるゝ頃に於ては、此の有力なる共和國が諍閑なる地位を棄て、正理公道の理想と其の名譽ある傳説との爲、來て交戦國中に列せむと信ず。既に同國の政黨は全く區々たる政争を忘れ、翁然としてウイルソン大統領の旗下に集まりたれば、將來合衆國々論の決する所如何にせよ、既に合衆國は同情を以て佛國開戦の主意を酌み、更に今後彼等は獨逸國に天誅を加へむとす。故に戦争の正に耐なる時に當り、既に協商國に合同せしものなれば、平和克復の曉には愈、其の關係を親密確固ならしめむ事、蓋し何人も信じて疑はざるなり。

第二編 軍國氣質

第一章 軍事教育

第一節 米國に於ける青年の軍事教育論

米國 海軍少將 カスパー・エフ・グードリッチ 述

(一九一六年五月アメリカン・レビュー所載)

(摘要) 一、本論は米國青年の缺點を指摘し、世界の亂に鑑みて其の覺醒の必要を絶叫す。

一、種々なる缺點を除去する最善の方法は、十八歳の青年に軍事訓練を施すに在りとす。即ち毎年七月一日に十八歳に達する青年を陸海軍に送り、一年間軍事教育を與へ、以て善良なる習慣と強健なる體格とを助成せしめんとす。

一、然れども固と是れ軍國主義を鼓吹せむが爲に非ずして、専ら社會的教育的立場より此の計畫を唱道するに過ぎず云々。

世界大亂
と人心の
覺醒

今日世界の各方面に於て認めらるゝが如く、斯くの如く人心の覺醒を促せるは、有史以來恐らく未曾有の事なるべし。而して此の覺醒は吾人が自ら準備を爲すべき時代精神に依りて動かされたる結果に外ならず。吾人は永き間、唯四圍の状態にのみ支配せられ、自ら時代を指導開發し、舊來の陋習にして排すべきは排し、改むべきは改むるの勞を取ることなかりき。自ら欲せざる所は之を默過し、明白なる其の責任を回避せむとする習慣は、今日に於ては殆ど吾國民性の一部を形勢するまでに深く根ざせり。若し夫れ全世界に影響を及ぼせる這次の歐洲大亂なかりせば、吾人は此の致命的缺陷を自覺することなく、平々凡々の間に無爲に經過したるならむ。然るに歐洲大亂勃發の結果は、精神界にも一大變動を來し、吾人は千七百七十六年(獨立戰爭)及び千八百

六十一年(南北戰爭)當時に於ける經驗より、一層根本的なる、而して一層徹底的なる問題を取扱ふの必要を感ずるに至れり。

而かも是等の重大なる問題に對して満足なる解答を與へむこと、殆ど不能の事に屬す。

殊に予は身を軍籍に委ぬる者にして、何等社會學的知識の素養を有せざれば、斯の如き問題を論究するには、甚だ不便の地位に在り。然れども予は我邦青年の福利に就て多大の興味を有し、而して我邦の前途を思ふて、此の際一言なき能はざるなり。論評或は酷に渉るなきを保すべからずと雖、是れ決して予が青年に對して同情薄きが故には非ず、寧ろ彼等を熱愛し、國家の前途を憂慮する至誠横溢せる結果に外ならず。讀者先づ之を諒せられよ。

米●國●青●年●の●缺●點●

我邦青年は常に生活負擔の過重に苦しむのみならず、不完全なる教育、不健全なる思想及確乎たる訓練の缺乏等に依りて、甚しき障害を受けつゝあり。

吾人をして我邦一般の青年に就て冷靜に考ふる所あらしめよ。予が茲に一般青年と稱するは、決して讀者諸君を意味するに非ず。都會又は地方に於て途上常に見る所の者を謂ふなり。先づ彼等の體格に就て謂はむか、肩は圓く、胸は凹み、歩むに足摺りを爲し、馬車に乗りては正坐すること能はず。又人を正視することも能はざる有様なり。彼等の態度は凡べての人に對し果して叮嚀親切なりと謂ひ得るや。彼等は其の長上に對し果して尊敬を拂ひ居るや。彼等は談話を爲すに當り果して注意深きや。彼等の理想は善良なる紳士たらむとするに非ずして、寧ろ粗野不遜なる無賴漢たらむとするにあらざるかを憂ふ。彼等は兩親に對して果して從順なりや。弱者及老人に對して果して親切なりや。知友に對して果して援助を爲し得るや。

彼等の野心は果して何物に存するか。彼等は梯子の基底より一段々々辛苦して頂上に達せむと努力しつゝあるか。彼等は其の日々の仕事を忠實に勤むるは、聽て將來成功の果實を收むる道たることを知り、零細なる仕事をも

忽諾に附せずして能く勤めつゝありや。彼等は高等の學校を卒業して眞正の實務に従事するに當り、輕蔑の念を以てすることなきや。彼等は黒の上衣、白のシャツを着くる僧侶の職を以て、彼等に相應はしき最好の地位と考へ居ることなきや。

●●●●●
外國人の發展

米國は實に自由の天地にして、昨日新渡來の無産者も、今日の分限者となること少からず。即ち困難なる仕事に堪へ得る智力と體力とを有する者は、何人たるを問はず、其の才能の如何にて大商店の主人となり、學校出身の米人を願使用するを得るなり。而して此の誇りは當然なることにして、此の自由の天地に於ては、かゝる成功を贏ち得るの機會は米國産の者にも無限なることを記せざるべからず。然るに外國移住者が獨り勢威を振ひ吾が青年が單に其の使用人たるに甘んずるは、如何なる理由に因るか。是れ吾が公民教育制度を以て改正の餘地なき程完全無缺なりと思惟せる小なる自負心に痛撃を與

ふるものに非ずして何ぞ。

今日國民の權利と國家の威嚴とを維持する爲には大に軍備を擴張せざるべからずと主張する者は、主として、三十歳以上の者にして、三十歳以下の青年は、一般に平和主義者と認められ居れり。若し夫れ斯の如き状態が事實なりとせば邦家の爲豈憂慮すべき現象なりと謂はざるべけむや。もと老人は一般に平和を欲し、青年は一般に争闘を好む。然るに此の事あるは蓋し女教師の下に訓育せられたる青年は、自然女性化せるに拘はらず、男教師の薰陶を受けたる先輩は、元氣潑瀾たるに當然職由するにあらざるか。此の事にして幾分たりとも眞實なりとせば、吾が教育制度は尙ほ改善を要する状態に在ることを暗示するものに非ずや。知らず、米國労働者は永久に外國産の監督者の支配に甘んぜざるべからざるか。彼等にして監督能力を除去せられざる限りは、何ぞ其の地位の向上を不可能とする理由あらむや。

然れども吾が教育制度を改革し、十歳以上の兒童の訓育は、女教師に委ねず

といふ獨逸の制度を採用せむことは亦自ら別問題なりとす。

十・八・歳・の・少・年・の・軍・隊・的・訓・練

我邦の學校に労働の好習慣及其の尊ぶべき所以を諄々として説くも、是れ恰も一般の家庭に作法の改善を求むると等しく、得て望むべからざることなり。而して此等の缺點を匡正する方法果して絶無なりといふべきか。

予は今日の時勢を以て改革を爲すべき最好の時機なりと確信す。一言にして云へば、一般的軍事訓練（軍隊的勤務に非ず）を與ふことを要す。今毎年七月の一日に十八歳になる青年を陸海軍に送りて一年間軍事教育を與へ、以て清潔、簡明、從順、自重、尊上、善良なる習慣、義務の觀念、愛國心、國旗に對する尊敬の念慮等を養成せしめ、此の外野營、信號、斥候、塹壕掘りの練習及武器の使用等を教授し、斯くて一般に智育の劣れる彼等に讀書算の外、今日一般に等閑に附せられたる米國史の概念等に於て、簡單なる試験に應ずるだけの教育を與ふべし。而して此の訓練は貧富貴賤の別なく一様に經驗せしめざるべからず。

世の父兄よりは『子弟を手放す能はず』との反対起るやも計り難きも何人とならざるは當然の事なり。況んや此の場合に於て彼等の得る所は、其の失ふ所と同日の論にあらざるに於てをや。

尙訓練中は衣食住は勿論出来得べくむば日用品及郵便代として一箇月一弗位宛の補助を與ふべし。斯くて一箇年の後には精神、身體、道德共に著しく改善せられ家庭に歸還せむ。

彼等の得る所豈僅少なりとせむや。而してこは單に理論に非ず實際問題なり。加之彼等は今日殆ど缺乏せる公民的資格及公共的義務の觀念を強くすべし。茲に一箇年間といふは、軍事訓練に對する最小期間にして、又彼等青年が職業上及教育上の生活より離れ得る最大期間なりとす。

予が茲に十八歳とせしは、青年の最も閑暇なる時を選べるなり。即ち此の年齢の時期には彼等は未だ生業に従事せず、又大學にも入らざるなり。而し

由限八年
せしに制十
理制

て同時に青年に取りて最も危険なる時期なり。感化院及懲戒所等の收容者は此時代の青年を以て最も多しとす。海軍將校たる予及予が同僚の配下に在りては、彼等は悪友に誘惑せらるゝが如き事は殆ど皆無なり。軍事勤務を経たる者の犯罪率は、一般の者に比して頗る低きことは昭乎として明かなる事實なり。此に述べたる計畫の効果は、今日其の子弟の邪道に入り、やがて牢獄に呻吟するに至るを見て痛心せる幾多の父兄よりは、早晚認識せらるべきを確信す。

最近の統計に依れば、十八歳に達せる米國産の青年數は、約九十萬人あり。此の中疾病其の他の事情にて訓練を受くる能はざる者を除去するも、尙優に七十萬の青年の入隊を見るを得べく、雇主も亦喜びて有效なる訓練を経たる此等の青年を雇入るべし。結局吾が常備軍は大部分消滅するに至るべし。何となれば其大部は此等青年の教官に採用せらるゝが故なり。同時に又多數の將校も要すべし。予は愛國的精神及公民的觀念の鼓吹に對して、無限の

價值あるものとして、此の計畫の實現を切望す。

國家の名譽に關せざる限り吾人は終始一貫平和主義を唱道し居れり。若し此の計畫にして軍國主義を助成せしむるものなりとせば、予は絶対に賛意を表する能はず。然れども予は社會的、教育的立場より大に此の計畫を唱道する者なり。試に其の子弟の軍隊に勤務せる父兄に就て、軍事教育を受けたる結果如何を質問せむか、彼等は皆一樣に其の有効なることを答ふるに躊躇せざるべし。而して予は、予が麾下に勤務せる多くの青年に就て、自ら經驗せる所に依り、更に確乎たる自信を以て之を述ぶることを得るなり。

艦上に於ては、分隊長は彼等水兵の眞の友人にして、凡百の事に就て何かと注意を與へ指導を爲し居れり。此の兩者の間柄は眞に理想的なり。水兵が將校を尊敬するは、決して階級の相異のみにもあらず、又嚴罰を恐るゝが故にもあらず、將校は何事に就いても彼等より多く知れるが故に、己れより優れる者として之を認むるの結果に外ならず。試に戰艦に上りて砲術の操縦を見

軍國主義
の鼓吹に
あらず
軍事訓練
の効果

よ。將校も水兵も帽子の異なるのみにて服装は全く同一なり。將校は如何にも親切にして、水兵は飽迄従順なり。彼等は世界的勝負に對して、相共に一のチームを作り居れるなり。諸君は自分等の子弟を斯の如く麗しき感化の中に置くことを満足して立去らるべし。

海兵團に於ける新兵は、胸圍、手足等著しく肥大し、入團後三箇月を経ざる間に於て比較的寛裕なる制服も窮屈を覺ゆるに至るを常とす。陸軍に於ても規則正しき時間、身體の訓練、充分なる食料、戶外生活等全く同一の原因なれば、其の結果も同一なるべしと信ず。今日此の計畫の細部に就て説明せむとは、不必要なるべし。而して其の經費の如きも左程大なるを要せず、全然保護制にある常備軍の莫大なる經費に比すれば、殆ど言ふに足らざるなり。吾が常備兵一人宛經費は大約一千弗を要し、更に召集期間中生産事業より離れざるべからず。而して以上述べたる方法に於て、青年の公民教育に要せる經費は、凡べての點に於て改善せられたる彼等に依りて、將來回收することを得べし。

こは瑞西、新西蘭、濠太利、其の他の諸國に於て、既に確證を得たる事實なりとす。若し、何人にも尙一層少額なる經費を以て、我國の産業に故障を生ぜしめずして、青年の福利を増進せしむる方法を案出したらむには、予は喜んで其の計畫に賛意を表するに吝ならざるなり。

第二節 獨逸に於ける青年の軍事豫備教育論

デア、ゲ、ハイメ、アドルフ、ブッセ博士述
スツディエンラート

(一九一六年四月二十八日東亞ロイド所載)

(摘要) 一、本論は獨逸に於て戰亂に伴ひ生じたる青年の軍事豫備教育の可否を論じたるものなり。

一、軍事豫備教育の可否に就ては未だ根本に於て識者の意見一致せずと雖、同教育を終了し戰爭に参加せる者の偽らざる告白に依れば、該教育は實に至大の効果を有するもの、如し。

意見の不
一致

一、故に該制度は須く戰後にも之を繼續し、階級職業の如何を問はず、満十六歳以上徴兵適齡に達する迄の青年をして、悉く之に参加せしむべき國家的制度を設くべきを主張す。

青年の軍事豫備教育に就ては盛に論議せられつゝあるも、其の意見は區々にして尙未だ全く趨向を一にすることなく、殊に此の種の豫備教育を永久的制度となすの可否に關する根本問題の如きすら今尙ほ議論の一致を見るに至らず、現にアドルフ、マッテイアス及テオバルド、チーグラの如き著名なる教育家は、青年の軍事豫備教育を繼續するの必要ありと斷定し、帝國議會議員たる控訴院判事ミューラー、マイニンゲン博士の如きは、『吾人は帝國青年防禦法を必要とす』と題する小冊子を發刊して、青年の軍事教育に關する帝國法制定の必要なることを大に唱道せり。然るに伯林高等學校長ルードルフ、ランゲ博士が、一日刊新聞紙上に寄せたる意見の如きは、之と趣を異にするものあり。

曰く『青年に對し戦後に於ても亦現在行はるゝが如く半ば軍隊的方法又は全然軍隊的方法を以て體力の鍛錬を施すことの果して眞に必要なりや否や、或は單に有益なりと云ふに過ぎざるや否やの問題に就ては、尙ほ大に研究すべき餘地あり。識見に富み且つ愛國の熱情を有する人士の意見に依れば、我が青年は寧ろ戶外體操、競技、遠足、游泳等に依りて其の體力を鍛錬するを以て足れりと做すが如きは、必らずしも適切なる説なりと言ふべからざれども、種々の遊戯に類するものを含める軍隊教練は、固より之を除くことを得べしと做せり。蓋し軍隊教練は、入營後に於ては固より缺くべからざるものなれども、入營前に在りては到底完全に之を施すこと能はざるのみならず、軍隊教練なくとも、尙且つ必要に應し得べき程度までは、體力を増進することを得べければ也』と。軍事豫備教育行はれてより今や一年半、此間に於て何人も充分なる研究を遂ぐるの機會を有したるに拘らず、之が價値に就ては、尙ほ未だ意見の一致を見ざることを斯の如し。是れ果して本問題の眞價を究むるに足るべき

該教育を
終りたる
者の意見

手段なきに因る乎。吾人は曩に、一年間軍事豫備教育を受けたる後軍務に服し全く軍事教育を了へて既に戦線に立ち、若くは將に戦場に出づべき時期に迫れる青年の意見を叩きたり。斯る青年兵士中には相當の意見を有する者頗る多し。現に彼等は吾人の質問に對し、各自口頭若くは書面を以て、軍事豫備教育に關して自由の意見を吐露したり。今其の書面を以て回答したるものゝ中、豫備教育の繼續に關する意見の採るべきもの三を擇びて左に之を掲げむ。即ち目下戦場に在る一砲兵の書翰に曰く、『予は青年に對し特に軍事豫備教育に参加するの義務を負はしむるときは、一面に於ては軍事に對する興味を喚起し、尙武の氣象を養ひ、他面に於ては行軍及教練に依りて勞苦に耐ふるの習慣を養ふの效ありと信ず。故に予は此の制度を戦後迄維持するは勿論、更に大に之を盛ならしめむことを望むもの也』と。又砲兵觀測學校に入學を命ぜられたる一青年は書して曰く、『軍事豫備教育は何れの兵種に於て之を授くるを問はず、其の利益は極めて大にして、之を受けたる青

年は他の新兵よりも卓越せる成績を擧ぐることを得べし。此の事實は隊形變換の場合に於て之を認め得ること最も著しく、又攻撃運動、散開、集合、躍進の場合に於ても之を認め得べし。予は斯る場合に於て屢、豫備教育の必要なることを痛切に感じたり。其の他身體の鍛鍊を適當ならしめむが爲には、荷物を携へて長途の行軍をなすことを要す。更に進んでは武器を携へて演習を爲すことも殊に必要ならむ。實彈射撃も必要なり。予は又軍事教育の際に於ては守衛勤務就中敵前守衛勤務に關する事項をも教授せむことを望む。蓋し兵卒中には守衛勤務の極めて重大なることを明確に了解せざる者多ければなり」と。最後に目下伯林近衛聯隊に在りて軍事教育を受けつゝある歩兵の意見に曰く、『予の豫め一言し置きたきは、予の意見は未だ斷定的のものに非ざること是れなり。何となれば吾等は今日迄に野外勤務大演習を一回行ひたるに過ぎざればなり。此の演習はシャエーネベルヒ、ウイメルスドルフ、シュマルグンドルフよりグリューネワルドの狩獵場に至る地方に於て行

はれたるにて、吾等が青年中隊に於て行ひたる演習と略ぼ同様なり。予が此の地方の地形に通じ居たることは、固より予に對して至大の利益を與へ、遂に予は斥候長たるの任務を擔ふことゝなれり。中隊に於ける斥候勤務は屢、練習せられたれども、斥候の大多數は只だ中隊長の指揮の儘に無意味に行動し、其の勤務振りは極めて拙劣なり。予自身は、青年中隊に於ける演習の際、毎回斥候として派遣せられたるが故に、斥候の任務の重大なることを了解し居たり。予は嘗て青年中隊に屬したる二名の師範學校生徒に就ても同一の例を擧げ得べし。此の二名は殆ど常に斥候長として用ひられつゝあるが、是れ畢竟彼等が軍事豫備教育に依りて斥候勤務を學び居たるの結果に外ならず。其の野外勤務に屬する前哨勤務、前哨戰の如きも亦予に取りては既に在學中より珍らしきことには非ざりき。學校に於て學びたるとは、吾等が今當隊に於て行ひつゝある演習及現に受けつゝある命令と何等異なる所なし。豫備教育の爲に予の最も益したるは、隊形變換及開進の場合なり。號令の急遽に連

發せらるゝ場合には、兎角狼狽して、遂に全く自己の左右すべき所を知らざるに至り、爲に士官より、汝元來何れに屬するや」と詰問せらるゝが如き場合稀ならず。然れども軍事豫備教育を受けたる者は決して斯る詰問を受くるが如きとなし。故に予は學校に於て授けられたる豫備教育が、演習及野外勤務に當り予に對して至大の利益を與へたることを確信して疑はざるものなり。學生にして若し青年中隊の教練を目して價值なき戯なりと認むるが如き者あらば、是れ最も悲しむべきことなり」と。

斯の如く直接の經驗に依りて衷心より披瀝したる意見の、公平にして眞理の存することは、毫も疑ふべきの餘地なきが故に、豫備教育の軍事的價值は、確實なりと認むることを得べし。而して軍事豫備教育が我青年の身體上及精神上の教育に及ぼす效果の如何に大なるものあるかは、獨り我邦學生及體操遊戯協會及防禦協會ウエールクラフト・アソシエーションの會員の上へのみ眼を注がずして、從來事務室又は工場に於て働き、或は大學の講義室にあるが爲に身體の鍛鍊を爲すの機會を有

見吾人の意

せざりし青年の極めて多數なるを思ふ者の、必らず之を認むる所なるべし。身體鍛鍊の機會を有する者の外、之が機會を得るに不便なる者の數は、ミュラー・マイニングン氏の言ふ所に依れば、百人に就き八十人を算するが、是等兩者に對して體育及軍事豫備教育を施すは、正に國家の神聖なる義務也。是の故に一般に義務を負はしむべき國家的制度を設け、以て階級職業の如何を問はず、滿十六歳以上徴兵適齡に達する迄の青年をして悉く之に参加せしむることを要す。任意主義の下に體育を施すを以て目的とする諸團體の事業は、之が爲に何等妨げらるゝことなきは勿論、却て豫備教育上從來よりも一層尊重せられ、國家的組織に依りて著しき發達を見るに至るべし。是れ從來青年團體に於て豫備教育を受けたる者が直に拔群の成績を示し、拔擢せられて分隊長に擧げられたるが如き事實に徴して判斷するも明かなる所なり。

斯の如き大なる教育計畫の實施問題には、固より幾多の困難を伴ふべし。而も精神一到何事か成らざらむ。況や最も重大なる要件は今日既に備はり、

現に豫備將校として戰場に在る教師を以て戦後に於ける軍事豫備教育の指導者及教育者たらしむることを得るに於てをや。

第二章 士氣の振興

第一節 海外英人愛國組合

(摘要) 本組合は一九一四年十月を以て設立せられたるものに係り、海外在留の英人をして、一致協力以て祖國の利益と安寧とを増加せしむるを以て目的と爲す。總裁に英國皇帝陛下を仰ぎ、セルボーン卿を會長に推す。

一、今組合規則の概要を見るに、海外に居住する英國臣民は、總て本組合の會員又は准會員たることを得べく、組合を統轄する爲、二十四名以上の委員を以て組織せる中央委員會を置き、支部には六名以上の委員より成れる支部委員會を設く。支部の役員は、會長、議長、名譽幹事、名譽會計及會計検査人より成る。

一、會員の釀出金は年額一磅とし、准會員は其の以下を釀出す。

一、支部の會員は相互の連絡を圖り、定期會合を催すの外、皇帝誕生日或は帝國日(五月二十四日)に特別祝賀會を開く。

總裁及會長

千九百十四年(大正三年)八月歐洲戰亂の勃發するや、英本國に於ては、時局に鑑み海外に在留せる英人をして一致協力以て祖國の爲に努力せしめむとの目的を以て、『海外在留英人愛國組合』組織の議を決し、英國皇帝陛下を之が總裁に仰ぎ、セルボン卿を會長に推薦し、同年十月に至り準備全く成り、本部の設立を見るに至れり。今其の組織の概要を掲ぐれば左の如し。

海外在留英人愛國組合規則

目的

一、目的

- (イ) 皇帝の領土外に居住する英國臣民間に組合の結束を作ることを
- (ロ) 英帝國の利益及安寧を増進すること

會員

二、會員

管理

三、管理

皇帝の領土外に居住する英國臣民は、年齢男女の別、社會上の地位、政派或は宗教の如何に拘らず、本組合の會員或は准會員として被選舉資格を有す。

本組合は二十四名以上の會員を以て組織する中央委員に依て管理せらる。其の委員は少くとも海外に居住したりし者三分の二を以てす。中央委員中に缺員ありたる場合は、組合支部にて指名されたる紳士に依て毎年補充さるべし。中央委員は其の委員中より執行委員を毎年任命す。

中央委員は各支部の指導に關して一般的規則を設くと雖、各支部は自治制に依り各、自己の規則を制定す。但し其の場合には常に本組合の目的を編入するを要す。故に左記の規則は單に凡例として示すに止まり各支部に依て斟酌することを得。

各支部の管理は六名を下らざる會員より成れる委員に委託し、其の委員は毎年開催さるべき會員總會に於て選舉せらるゝものとす。

役員

四、役員

支部の役員は會長、議長、名譽幹事、名譽會計及會計検査人より成る。各一箇年の任期にして、支部毎年總會に於て之を選擧す。但前任者を再選することを得。

釀出金

五、釀出金

會員の出資年額は、各支部の委員之を定む。會員の釀出金高は毎年一磅とし、又毎年五磅以上釀金する者は、之を支部の副會長と爲すことを得。會員は其の出資年額以外に特別寄贈を爲すことを得。

會員は出金すべき寄贈金に關して、其の愛國的目的或は他の目的等にして指定する權を有すと雖、本組合の各會員は帝國防備費に對し、其の收入に従ひ、毎年寄贈すべき義務あるものとす。

本組合の支部は若し必要と思惟する場合には、會員の標準出資年額以下の釀金を以て、英國臣民を准會員として選定することを得。准會員の釀金

未支拂釀金

六、未支拂釀金

額は、英人團體の各會に容易に判明すべき様計算表として作製すべし。毎出資年額は、毎年一月一日に支拂ふべし。十月一日及十二月三十一日の間に於て、本組合に加入する會員は、少くとも十二箇月を經過する迄、其の釀金を新に支拂ふべき義務を有せず。

會員にして成規の期限經過後一箇月を超ゆるも、仍出資年額を支拂はざる者は、議案に關して發言又は投票を爲すの權を有せず。會員にして其の釀金を六箇月間支拂はざる者は、會員として權利消滅せしものと認む。但し委員は此等の會員が支拂ふべき金額を支拂ひたる時は、再び會員と爲すことを得。

七、除名(略)

八、會員章(略)

九、會合及活動範圍

會合及活動範圍

支部の會員は成るべく相互連絡を取り又定期會合を催すべし。支部の會員は、又皇帝誕生日或は帝國日(五月二十四日)に於て毎年特別祝賀會を催し、其の日に於ては會員は總て組合徽章を佩用すべし。
十、會計年度(以下略)

(報告)

第二節 英國に於ける囚徒の愛國心

(一九一六年九月二十六日倫敦タイムズ所載)

(摘要)本篇は英國戰時に於ける在監囚人の状態及其の數の減少せるを述べ、尙囚人が愛國的精神を以て、軍需品製造の事業又は兵役に服しつゝあるの狀を叙したるものなり。

現戰役の影響に因り在監囚人の甚しく減少せることは、警察署長及既決囚監獄署長の作成に係れる本年(一九一六年)三月末日に至る過去一年間の報告

囚人の減少
原因

に依りて明かなり。即ち該年度に於て、有罪の宣告を受けたる囚人は六萬四千百六十人にして、之を其の前年度に於ける十一萬四千二百八十三人に比較する時は、五萬百二十三人の減少を見るべし。
サー・イー・ラッグルス・ブライス氏が議長として署名せる此の報告に由りて之を観るに、此の多大なる減少を來せるは、主として次の三種の原因に由來するものゝ如し。

- (一) 多數の常習輕罪犯人が兵籍に入れる事。
- (二) 酒類監督局の發せる制限令及裁判官又は軍事當局者の出せる制限令。
- (三) 就役の容易となり、賃銀の潤澤を來し、随つて犯罪者をして科料を支辨することを得せしむるが如き労働の需要豊富なること。

警察署長の言ふ所に依れば、現戰役の在監囚人に及せる著しき影響の一は、入監者の大部分は體質上及精神上の缺陷を有せる者に限られたるの事實なりとす。何となれば、今や男子に對する國家の需要は、已に他の階級に對する

戰爭の囚
人に及ぼ
せる影響

と等しく、囚人階級に對しても亦甚大なるものあるを信すべき理由あるを以てなり。五名より成る惡漢團の一人たる年若き盜賊がロンドン監獄の教誨師に告げし所に據れば、其の四名の相棒は軍隊に入り、内二名は戦死し、他の二名は負傷したりと。而して彼は若し彼にして出獄せば、直ちに出征して自ら報國の一端を盡さむと欲すと言へり。蓋し是れ彼れの誠實なる誓言たるなり。

在監囚人の
軍需品の
製造

在監囚人の減少にも拘らず、軍需品の製造は、益々旺盛なる活氣を以て經營されつゝあり。本年(一九一六年)三月末日に至るまで過去二十箇月間に於て、陸海軍の用途に供する爲、殆ど七百二十五萬個の物品に對する注文發せられたり。囚人は定期時間外に於て尙ほ喜んで勤務せり。看守の言ふ所に據れば、囚人に對し彼等の普通勤務時間約二十五パーセントの追加勤務時間を要求することは、必ずしも些事ならずと雖、尙何等の不平なくして行はるゝに至れり。而して此の時間外労働に對する賞與は、多量の附加糧食の形式を以て附

與すべきの事實に由り、適當なる手當を給せらるると雖、尙之を以て彼等が甘んじて定時外の勤務に服するに至りし事の理由となすを得ざるべし。或る囚人の如きは、經濟の爲と稱し、特別給與の衣食を辭退したりと云ふ。而して此の事に關し教誨師の書に曰く、『此等獄衣を纏へる囚人の胸底、尙ほ忠義と愛國の貴ぶべき精神に溢るゝものあるを見るべきなり』と。

青年の兵役に服せる爲、ボルスタル感化院の如きは男子の人員を減ずること約半數に及べり。而かも今や壯齡に達せる多數のボルスタルの男兒は、戦線に於て其の爲すあることを示せり。現に其の二名は戦功に依り勳章を授與せられたりき。

第三節 佛國民の勇武

(摘要) 本篇は佛人アー・デー・セル・ティランジュ氏が巴里に於けるセント・マドレーヌ寺院に於て爲せる講演集ラ・ヴィ・ヘロイック第二編第三十二卷の抄譯

に係り、所謂佛蘭西魂を鼓吹せむが爲に、戦線に於ける非戦闘員の危険を冒して戦士に活力を供給し、被侵入地方に於ける當局者、學校教師、工業家等の奮勵努力しつゝあるの状況を叙し、戦闘員と非戦闘員と互に一致協同して最後の勝利を收むべきことを論じたるもの、一讀以て士氣を振興するに足る。

我同胞よ。諸君は吾等が久しき以前より祖國の兵卒を等閑に附して顧みざりしとは思惟せざるか。勇壯忠武の庇護者は彼等を措いて豈他に求むるを得むや。

凡そ戦争に従事せる一國に於て國民の愛國的義務は、最も價值あるものにして、吾人が數回に亘り説明せし所なり。

世の皮肉者流は曰く、戦闘員は誰れよりも先きに此の事實を自覺せりと。既に評判となれる版畫に、二人の兵卒が塹壕の邊りにてその脚を揉治しつゝ、

ある光景を示したるものあり。其の記事に曰く、『甲(彼等が後援して呉るゝならば)乙(彼等とは誰?)甲(國民!)』と國民たる者焉ぞ後援せざるとあらむや。而して軍人の好模範或は兵卒の心を鼓舞する記事に於けるが如く、佛國に露はれたる國民の英雄的行爲の状況を明示するは、以てフランス魂を高むるに足らむ。

國民の英雄的行爲を説くに當り、戦線にある我非戦闘員の勇壯と彼等の重要な職務を明示するは必ずしも無用の業にあらざるべきを信ず。彼等は場合に依り銃火を蒙り爲に時として軍人的光榮を擔ふ事あるも、一般に彼等の職務は花々しからず。是彼等が戦闘の慘劇に参加せずして尙且危険の地域を馳驅する名譽の行動を證する一事なりとす。兵器の豊富なる近世戦争に於て、着弾距離内に身を置くものは何人も死の候補者たるを免れざるなり。抑も戦線に接近して常に兵士の柔順なる下僕たる者は、即ち糧食供給者、運搬者、料理人、其の他名もなき下級の軍夫等にして、彼等は屢々戦闘員より却て身を

戦線に在る非戦闘員
の職務
と其の勇武

危険界に曝露し戦線を往復し、敵に死を與ふるを任とする戰士に活動力を供給せむとす。而して唯彼等は第一線の塹壕に於て其の貴き任務を厚遇する嬉々たる聲を聞く時に、隠れたる感謝の價値を感じて満足するのみ。想ひ見よ、一糧食運搬夫は雨霞と飛び來る彈丸を冒しつゝ、提桶に葡萄酒を満し、犬の如く桶の柄を齒に咬へて四つ足にて匍行したりと云ふ。彼の疲勞困憊察するに餘あらずや。彼は只管己が同胞を餓えざらしめむことを希ひて疲勞を意とせず、進んで身を危地に置きたるなり。彼の唯一の報酬とも云ふべきは、雀躍して彼等の塹壕に飛び入り、『それ葡萄酒よ』と叫ぶ瞬間にあり。

クリスマス夕刻の事なりき。デニヌチー中尉戦死し、獨逸塹壕を去る二十四米の地點にて人々彼を見張り居りし時、一料理人は純良なる葡萄酒二壘葉卷煙草、カツレット等を持ちて死者を饗應すべく來れり。誠によくこそ彼は來つれ。戦死なる悲劇と此の親切なる忠誠との對象は斯の如き勳功の崇高なる眞義と慈悲心とを、より強く裏書するものと謂ふべし。

軍隊を中心とする
周囲の國民的
獻身的行爲

軍隊を中心とする周囲に全く自發的なる獻身的行爲あり。吾人は此の行爲をも賞讃するを要す。例へば或者は深林中にて我軍隊を東道し、最も重大なる職役を果せり。或者は首尾能く敵の情報を獲て之を參謀に致さむとして敵の戦線を横斷せり。又或者は負傷して一夜中樹木に結び付けられ、翌朝獨逸人に穀物粉の輻重隊を導く事を命ぜられ、其の一隊を逆に佛國戦線に導けり。是等の表彰すべき行爲は神の御前に奉告せらるゝに價するも明かなりと雖、只是等の役目は屋上に公告せられず世の耳目に觸れずして止むもの多し。されば戦功を論ずるの日に於て、吾人の胸底に明智ある裁判官を置かしめよ。

國民の英雄的行爲は被侵入地方に最も多し。是れ該地方民は最も直接に、最も殘酷に打撃を蒙るを以てなり。

彼のセーネマルスの可憐なる女教師が、市長の其の位置を去りしにより之に代り、アラの田野監守人 (Garde champêtre) が軍隊の衛生、負傷者の手當、間牒の監

市長の職務を代理
せる可憐なる女教師

督に任せしが如き、ランの郵便配達人が砲火を冒して避難民の地下室に郵便物を配達せしが如き道徳上最も卓越せる行爲なり。如何に好名義なりとも、將又如何に脚色せらるゝも、其の地位を見捨てし者は、公の良心が判断する日にその前に赤面すべし。然れども今は之を論ずる日にあらず。未だ事の善惡是非を判別する時機に到達せざるなり。今日敢て之を爲すは早計なり。彼等は時としては佛國軍事當局者に命ぜられその位置を去り、或は其の場合之をなすを以て國家の爲なりと思ひて之をなしたるものあらむ。過日白耳義の一大臣が之に關し左の言を爲したるは最も人道的と思惟す。曰く『吾人は主義として官吏が其の位置に踏み止まるべきを尊敬す。然れども物質的若くは道徳的に不能なるべき事あるべきを以て之を各人の良心に一任するを可と信ず』と。

吾人は戰塵揚がらざる至高道徳裡に於て、宗教と國家の同盟が愛國的共同一致を示したるを見る。而して白耳義は之が好例を與へたり。數世紀來有

名なりし『勇敢なるリエージ市民』は最も花々しき英雄的行爲を以て抵抗したり。

實にも白耳義は文明の爲め國民と軍人との二重の努力を爲すべく神の膝下に選出せられたる事を證明し、以て世界の信用を博せるものと謂ふべし。

我佛國に於て、熱血燃ゆるが如き市はアラ、ソア、ラン、モ、ナ、ン、シ、グ、エル、ダンなり。是等の市に於て行政官は市民の苦痛を緩和し、敢然敵に抗し、敵の倨傲を忍び、市民を慰安せむ爲には其の無法なる要求を容れ、彼等をして敵の危害より免れしめたり。

元來獨逸人は事に敗るれば頗る柔順なるも、之に反し我が事成らば不遜傲慢にして傍人無きが如し。彼は他人の尊嚴を念頭に置かず。偶、之を置くもそは此人を嘲弄せむが爲のみ。エ、ベル、ネーに於てカイゼルの皇子は、市長をして手づから其の門衛の前垂れを以て獨逸國旗を作らしめたり。其の布片にして一たび奪ふ者あらむか、之が責任を負はしめらるゝ、彼市長は、先づ銃殺

熱血燃ゆるが如き市

せられ、市は掠奪せられ、次で焼拂はるべし。

又獨逸の一士官は部下と共に徵發に來り、穴藏の番人を捕へて強請せり。彼士官は如何なる犠牲を拂ふも何物かを獲得せむとせしも、而かも何物も發見する能はざりき。士官は飽迄も固執せり。而して一隊は此の洞窟中を彼處此處と探索し、竟に無數の三鞭酒壘を發見せり。士官は突如として歩を停め、番人に向ひ其の胸に拳銃を擬し、「從へッ。然らずんば……」と叫べり。

番人は士官が三鞭酒を得むが爲め、死を以てするを見て、寧ろ意外の感をなし、侮辱の色を面に表し、此の拳銃が疑もなく常に國民を強迫する忌むべき器具に用ひらるゝを知り、恐怖ならぬ怒氣を含み、如何にして如斯侮辱的強迫に答ふべきかを思ひ廻したり。憤怒の詞にせむか、そは美しきに過ぎたり。侮辱の詞にせむか、そは高きに過ぎたり。此の刹那彼番人は泰然として其の炯々たる兩眼を暴虐者の面上に注ぎ、極度に緊張せる平靜を以て、咽喉も裂けよと計りに大喝一聲此の單簡なる詞を放てり。「否！」。時に士官は拳銃を鞘に

被侵入地
に於ける
國民の英
勇的行爲

收め、靜かに言へり。「汝の所有せるものを我等に與へよ」と。

友人と共に獨軍侵入の爲破壊せられたる地方を訪ひたる一通信員は、國民の英雄的行爲に裏書する三状態を目撃せり。彼は是れより先き奪略せられたる村落を訪ひ侵略地方の状況に關して幻想を有したりき。今やエヘルネーに入り何等破壊の跡を有せざる街路を見、問ふて曰く「獨逸軍は何物にも手を觸れざりしか」と。友は答へて「其の跡なし。只斯く外觀美麗なる家屋内に鐘を鳴さば、其の響きは恰も空虚の洞窟にて鳴せし如き感あるべし。内部には一物もなし、凡ては獨逸にありと、」

一車輛は破壊せられたる路上を、アグイズに向て彼等を導きたり。彼處にては萬象凡て再生せしが如く微笑せり。シャンバンニの葡萄は繁茂し、葡萄蔓棚は列をなせり。之を見て通信員は言へり。「計らざりき、此の地方は完全の状態にありとは。貴下は毫も困憊せし事あらざるべし」。友は答へて「物質的にはなし。エヘルネーに於けるが如く外面に現はれざるのみ」然らば家屋内

敵に破壊
せられた
市とラン
市

に於てか「否此處なり」と彼は言ひ終り、堅く握れる拳もて己が胸を打ちたり。九月十七日以来アラールに於て非文明者に破壊せられたる市役所附近に、恰も平和の日に於けるが如く小兒等の遊ぶを目撃せり。彼等の遊戯は戦争の幻影に依りて鼓吹せられしにあらざるも、塹壕を掘り、榴弾を投げたり。是れ生死の境を知るが爲、生者が死を弄ぶものならずや。

又唯一人が商業會議所を代表せり。而かも會議所は閉鎖せられざりき。唯一人の市長が市役所を代表せり。而かも事務は進行せり。

要するに事は凡て順當に進み、最も戦禍を感じたる諸市に於て、尙且斯の如き状態に在りたり。ランに於ては富みたるも貧しきも、三鞭酒を貯ふる白堊坑中に寢食するを常とす。是れ家屋の地下室は巨大なる榴弾を避くるに足らざればなり。彼等は砲聲止むや否や其の職務に従事し、火災起れば随つて之を消し、ラン市の破壊を免れしむる爲には如何なる努力をも吝まず。

小學校教師等も忠實に其の使命を果すに意を用ふ。二千名以上の小兒は

北部地方
大工業家
の勤勉努力
力

穴藏の奥にて覺束なげにアルファベットを讀習し、而して彼等の或者は此の地下室學校を出入する場合、動もすれば砲彈に見舞はるゝ事あるなり。植木屋は花園に草花を植ゑ、又街路は清潔に掃除行届き撒水せられあり。皆是れ眞の英雄的行爲ならずとせむや。吾人は此の市を見て、奈翁が頭髮を整へ美々しく軍服を飾りて露西亞より退却せる一士官に「汝は勇者なり」と云へる詞を想起せざるを得ざるなり。

北部地方に於て、大工業家は工場の活氣を維持せむが爲に勤勉努力しつゝあり。是れ纏て、出征せざる職工に對する最も人道的行爲にして又工場の關係する其の地方若くは郷里に對する忠誠に外ならず。

凡ての地方に於て此の持久的活動力を模倣す可く、試みたるも、常に必ずしも効果なかりき。何となれば稍、無秩序なりし我國の制度組織は恐るべき國歩艱難の中に於ても回復するを得ざりしを以てなり。然れども動員以來稍、好況に向ひ、吾人に安心を與へたり。豫測不十分なりし爲、出征者の出發は大

混雜を來せるも、漸次空員を満し或は補充せり。行政事務は再び取扱はれ、學校は再開せられ、公共事業は再始し、最初多くの苦情を惹起せし交通々信事務も之が改良の爲に幾多の賞讃すべき努力試みられたり。一般事業は縮少せり。而も奢侈品に關する商工業以外には失業者なし。

故に吾人に缺ぐるは、忠誠の心にあらず。只少許の秩序に於て遺憾の點あるのみ。之に關し吾人の敵は吾人に好例を與ふべし。

余は一時打撃を被りたる事業、破壊せられたる商工業に對して隱忍するは、怠惰の確證にもあらず、又勇氣の缺乏せるにもあらざるを認む。否反對に余は是等の困苦を嘗めしものは、最優良の人々なりと思惟す。彼等は識見高く原因と結果とを洞察する明あり。無本性と健忘とを以て裝はれたる凡庸の輩に見る能はざる經驗的才能を有せり。

一般の法則として忍耐力と身體上竝道德の價値とは並行す。是れ人道の理想的權化なるキリストが聖書に「苦しみを知る人と稱せらるゝ所以なり。

アラ
ーの
一に
於ける
工業家
の言

余はアラーの一工業家の言を好む。彼曰く、

昨年の七月には余は幸福なる人として世人に認められ又實際其の價値ありき。何となれば余は各方面に財産を所有したるを以てなり。然るに今や凡て破壊せられたり。如何なる悪夢と雖想像だも及ばざる災害は來れり。唯現に戰場にある余の息子等が再び歸り來らむ事を祈るのみ。余は既に六十歳なるも元氣鏗鏘たり。以て再び我事業に着手せむ哉。

崇高なる佛蘭西語よ。何ぞ語調の簡にして勇氣に満てる。

人々よ奮起せよ。ドッセー將軍がマランゴの役に於て言ひし如く「戦争は負けたるか」と歌へよ、今は三時なり、他の戦に勝つべき暇あらずや。戦争は諸君等の爲のみにあらず。諸君等は息子を有せり、諸君等は佛蘭西を有せり。祖國の爲に労働の器械獲得せる道德的器具及經驗を保存せよ。諸君は「他の戦争」と題せる記事を讀まざりしか。宜しく此の平和の戦争を爲すべし。而し

て願くは勝者たらむ哉。

運命の惡戯に依り子息より反對に相續する世の親達よ。諸君は子息の生命を承繼し、以て彼等の赫々たる光榮を樂しみ且之を善用せざるべからず。諸君の心中に不在者を想起して希望の花を咲かしめよ。破壊せられたる希望を美しく有用に變化せしめよ。

終りに臨みて一言せむとす。そは戦闘員たると非戦闘員たるとを問はず、個人たると團體たるを問はず、公人も私人も負傷せるも無事なる人も、等しく目下の義務として既に拂はれたる多大の犠牲が空しく徒爾に歸せざらむ爲には、如何なる代價をも敢て辭せざらむ決心あるを要す。我一將官の言ひし如く、塹壕の人と、内部の人とは親しく相協力せざるべからず。彼等は譬へば互に相支持するゴチック式穹窿の如し。建築物の安固は一に之れあるが爲なり。

豪勇沈毅にして且寛仁なる兵士等は、所謂「内部の人」に對し左の如く告げむ

塹壕の人
と在郷國
民との一
致協力

こそ望ましけれ。

宜い哉。全佛國は共に俱に相助く。佛國は我等を支へ我等は佛國を支ふ。佛國は我等が彼女を愛する如く又我等を愛せり。何人も國を新しき危険に陥らしめ、又戦死者を裏切るべき早計なる決定を我司令官に要請するなし。今や事の總ては猶無人の境を往くが如し。

戦闘員は斯く信じてこそ天下無敵たるべく、非戦闘員は之と共鳴して始めて常勝者たるを得む。

第四節 戦線背後の佛國農民

(一九一六年八月二十八日、タン所載)

(摘要)本文は戦場背後の農民が壯丁出征後、其の職に勵精して後援の實を全うせむことを期し、又該地方縣會議員等が農民を集めて士氣の鼓舞に助めつゝある狀況を述べたり。

天氣晴朗なる夏の或る日曜日、戦線より程遠き佛蘭西の一寒村に於ては、壯丁が祖國の危急に馳せ赴きてより以來、其の地方の農民は或は刈入れの爲、或は家畜の世話の爲、晨に星を載いて出て、夕に月を踏むて歸り營々として怠らず。女も子供も老いたるも争ふて或は野良の仕事に、或は家事の取締に當り、以て夫、父、息子或は兄弟が塹壕より歸りて、其の不在中に凡て順調に進みたるを目撃して喜び、更に戦時に於ける佛國田園が平時と等しく豊饒ならむことに勉めたり。我農民は譬へば土地の如し。彼等は倦まず撓まず瞬時も休息することなく、日曜日にもすらも凡ての勞作を休むことなし。然れども一度縣會議員が村役場に來りて誰れ彼れの別なく親しく會合して、國運に係る大悲劇に依りて、全佛國の國民に鼓吹する感情を相共に披瀝せむとする報傳はるや、村役場への道路は農民男女の青上衣ブルジョア或は白色頭飾コケツにて滿されたり。勇敢なる佛國民は互に胸襟を開きて相談るを喜ぶ。故に今日最も雄辯なる講演者とは、國民の共同精神を聴きつゝ己の思ふ所を忌憚なく吐露する者に外

ならず。到る處の聴衆は眞摯なる言説を聴かむとし、又公衆は講演者の好意に報ひむ爲には最も花々しき喝采にも優る沈黙せる静聽を以てせり。

必要なる思想、貴き教訓にして、有力なる人々の仲介に依らざれば寒村僻地に達せられざるものあり。縣會議員は最も此の役目に適當なり。彼等は其の土地區劃の範圍に於て多く有益なる事を爲し、現状の眞想を明らかにするを以て、佛國と其の友邦が、何故に又如何にして最後の勝利を得て被壓制國民を解放し、壓制者の跡を斷つべきかを説明するに其の最も適任者ならずむば非ず。

惟ふに佛國政府に依り、獨逸當局者が侵入佛國諸縣の人民に對して爲したる行爲に關し、中立諸國に致せる公文書を凡ての縣會に通知し、幸に侵入を免れたる住民に、不幸にして敵の暴行を蒙り、ヘーグ條約も何等價值なかりし事を知らしむるを要す。リール、ルーベール、ツール、コアン諸地方の婦女子の誘拐、被侵入諸縣の住民に獨逸官憲が課したる強制勞作、市民の捕虜に課せられた

る祖國に對して行ふ戰爭勞作の強制的協力、凡て此等の行爲は佛國民全般に知らしめ、戦線より遠き住民が同胞の困難を知り之が解放に全力を盡さむとを要す。熱狂せる群集を包容するには餘りに狹隘なる此の村役場に於て、フオン・グレイヴ・ニッツ將軍の蠻行に對するリール市長竝に僧正の勇敢なる抗言に關し、佛國政府が最近世界の輿論を喚起せし公文を材料として講演せられたり。講講者がリール市の一夫人の書簡——そは不幸なる小兒等が住み慣れし住家を奪はれ、避難地に出發せんとする時「佛蘭西萬歳！自由萬歳！」と叫びつゝ、暴戻なる敵兵の前に虚心平氣に涙も見せず門出をなしたることを述べたり——を朗讀するや、聽衆は感極まり慘として面を擧ぐるものなかりき。

而して彼等が家に歸りて一時中止したる務めを再び執りしとき、層一層各其の分に應じて最善の努力を竭くし、以て文明と野蠻との大戦争が人道の敵を膺懲して再び起つ能はざらしめ、我不朽の佛蘭西をして陸離たる光榮に終

らしめむことを祈念したりき。

第五節 佛國婦人の愛國心

(ステファン・クーベ氏著「佛國婦人の愛國心」中の一節)

(摘要)本文は佛國被侵入地方に於て、同國婦人の慨然たる意氣を示したるもの、一讀以て懦夫を起たしめ士氣を振興せしむるに足る。

勝利の勞働婦人 由來婦人は體質優美繊細にして固より砲火を冒すに適せず。然れども祖國の危急存亡の秋に方り我兵卒等に糧食を補給し之を後援するとき、我少女等は霰彈雨飛するを物ともせず易として死をも輕んずるを常とす。嗚呼これ眞に勝利の勞働婦人とも云ふべきに非ずや。

茲に一豫備兵の娘ロバンと呼ぶ十六歳の一少女ありき。英國戦線を突破して砲煙を冒し、フレンチ將軍の參謀にラバッセの地圖と敵軍の位置に關する

最も重要な通報を齎したり。英國軍隊の表彰する所亦宜なりと謂ふべし。マルヌの戦に七名の佛國兵はラ・フェール・シャンブノアーズの一森林中に取圍まれ、空しく餓死を待つの外なかりき。天なる哉、森林の邊マドレーンに守護の天使忽然として現はれたり。カミーユ、エレイン、マドレーン、マリイヴァテルの四人の尼僧は、毎夜敵の斥候隊の目を掠めて我勇敢なる兵卒等に糧食其の他必要品を持ち運びたるを以て、兵卒等は其の義侠に依り五日間命脈を保つを得たり。斯くして九月十二日獨逸軍は撤退したる爲、七名の兵卒は再び其の陣地に歸着せり。此等の勇敢なる尼僧は歩兵第八師團の指揮將官に依り表彰せられ、千九百十五年一月四日十字勳章を授けられたり。

ソナムに於て、塹壕内の兵卒等は戦慄すべき砲撃の爲、凡ての救援より遮斷せられたり、此の時若しマルセル・サンメルと呼ぶ十九歳の一少女が猛烈なる彈雨を冒して、兵卒等にスーブの小桶を運搬せざりしならば、彼等は恨を吞んで餓死する外なかりしといふ。千九百十四年九月三十日彼女は、第一線の兵

卒の間に馳驅しスーブ小桶を運搬中竟に不幸にも負傷せり。乃ちバレー將軍親しく彼女の胸間にラクローワ・ド・ゲール、ラクローワ・ド・ラ・レジヨンドヌール兩勳章を飾れり。

『汝、勇敢なる佛國婦人』サンリの町は炎々たる猛火に包まれ、住民は今や消防に狂奔せり。粗末なる着衣の一婦人は極めて沈着に水桶を滿して、ヴイエ・ユド・バリ街の一家屋の災に注ぎかけぬ。敵の放火兵は再び火を放てり。彼女は再び水を注ぐ。遂に彼女は叫べり、『乞ふ、焼を止めよ。こは貧民の住家なれば』と。獨逸人は彼女の泰然たる勇氣に僻易し、終に『御身は勇敢なる佛國婦人なり』と感歎の聲を發したりといふ。

茲にも勇敢なる他の一人の佛國婦人あり。獨逸軍がカトーに近づきたるとき、當局者は逸早く傷病者や看護卒を撤退せしめたるも、二人の英兵のみは餘りに重傷なりし爲遺留せられたり。赤十字社の看護婦ド・シイリニールと呼べる一少女は此の二人の英兵と共に殘留して、看護の任に當れり。されど敵

兵が市に侵入せるとき、彼女は意を決して二人の英兵を伴うて逃れむとせり。其の危険と困難とは蓋し想像に難からざるなり。彼女は雨と降り霰と注ぐ榴弾を冒して漸く一車輛と一驢馬とを發見せり。乃ち車の半を藁もて滿し、全力を盡して二人の負傷兵を其の上に横臥せしめ、及ぶ限り隠蔽し巧みに獨逸軍の到着せると反對の方面より逃れ去るを得たり。

雄々しき虚言　クロテイルドブリークリーと呼ぶ十六歳の少女は、勇敢にも我兵卒を救はむ爲、虚偽の報告を爲して獨逸人を欺けり。舞臺はオアーズ河畔のアヅルシーなり。或朝まだき頃、十三人の獨逸鎗騎兵、突如として此の村に現はれたれば村民等は周章して堅く門戸を閉ぢぬ。然るにクロテイルドブリークリーと呼ぶ一少女は、獨り何物も知らざるかの如く歩行を續け居たり。突爾として進み來れる鎗騎兵の一人は、矢庭に彼女を捕へて拔劍を差向けぬ。「御身は眞實を語るや」「然り」「此の邊に佛國兵潜伏せざるか」「否、兵士の隻影だもなし。」「果して眞なりや」「焉ぞ眞ならざる」。

斯くて敵軍は行進を續けて一農家の前に着き、やがて其の中に闖入すると見る程に忽然として屋内より激しき銃聲起れり。そは我勇敢なる歩兵が彼等の光來を祝福したる珍羞なりき。七名の鎗騎兵は敷石の上に倒れ、他の六人は「戦友よ」と叫びつゝ手を舉げて降服せり。

クロテイルドブリークリー嬢は三日以來毎日午後、我兵卒等に食料を運搬したるものにして、彼の日偶々彼等の生命を救へるなり。而して我兵卒等は彼女が其の農家に達したるとき、酬ゆるに饗餐を以てせむことを申出でたるとき、彼女は答らく。

『多謝す、唯一の懇願あるのみ、他なし、願くは俘虜を虐待せざらむこと是れなり』と。

『満足して瞑目せむ』メッサンと呼ぶローレン生れの一婦人は、戦亂勃發の時芳紀正に二十一歳、ナンシーに近き戦争地帯の一村に住居せり。彼女は立退を命ぜられたるも頑として拒絶し、三箇月間郵便配達に當り、毎日約二里

半の道を往復せり。

千九百十四年十月の或夕暮のこと、一隊の獨逸兵が一下士に指揮せられて村に入り來り彼女に降服の意を漏せり。彼女は彼等に命令して携帯せる武器を國境に沿へる小川に投ぜしめ、深夜佛國前哨に導き司令官に引渡したり。勇敢なる兵卒に於ても斯く遺憾なき措置を期するを得むや。

獨逸軍はナンシーのグラン・クロネ陣地攻撃に失敗し撤退するに至れり。其の退却の道すから、彼等はメッサン嬢が二人の佛國負傷兵を看護しつつあるを目撃し、残酷にも此の勇敢なる少女に發砲せり。胸に三彈を受け、彼女は遂に兩親の腕に抱かれて、英魂空しく去りぬ。其の臨終に近きて曰へるあり。「妾は佛蘭西國に身を捧げ得たるを思はゞ満足して瞑目せむ」と。言未だ終らず唇に天使の如き微笑を浮べて、安らげき眠に就きたりといふ。

祖國佛蘭西に對する此の最後の愛の詞は、ジャンダルクをして泣かしめたるらむ。冀くは英魂長へに幸あらむことを。

リ●●●夫人 千九百十四年九月二日のことなりき。獨逸人頻りに右往左往し、レッサール住民は綿布皿鉢の類を車に積み込みて争ふて避難せり。リスクツ―夫人は其の小作地に野宿し、逃るゝとを拒み、老母と三人の下女と共に居残り。約三十萬の獨逸兵潮の如く進み來れり。片眼鏡の一士官、彼女の住家を敲いて牛乳、麵麩肉類等を請求したるを以て、彼女は其の食料品を提示せり。士官は食料品を攫取して一枚の紙幣を差出せり。之を見たる彼女は即ち之を投げ還へせり。

「何故！」と呆然たる士官の反問に對し彼女は傲然として答へり。「貴官恐らく了解せざるべし。妾は或る條件付にて食料品を進呈せむとす」「條件付！」然り條件付——そは獨逸の戦線を自由に往復することはれなり」「諾矣、然れども其の危険なきを保せず」と彼の士官は意地悪き微笑を漏して立ち去れり。

リスクツ―夫人は直に腕に馳せ馬を二輪車に繋ぎ食料を満載し鞭を上げ

ぬ。彼女は敵の戦線を突破するに當り、敵の斥候隊が其の食料を奪取せむとしたるを以て、乃ち鞭を振つて叫んで曰く、『獨逸參謀部宛の糧食！』と。敵兵は此の凜乎たる威風に恐怖し、易々として道を讓れり。彼女は暴風を冒してナンツイユの病院に赴き、呆然爲す所を知らざる獨逸少佐の面前にて佛國負傷兵に豊富なる食料を分配したる後、『又明日！』と朗らかなる一言を遺して悠然として立ち去りたり。斯くして彼女の姿は毎日現はれたり。十二日タレザールへの歸途、雪崩れの如き榴彈の破裂を見て彼女は佛軍の攻撃を識れり。彼女は周章狼狽せる獨逸兵の間を嘲弄するが如く傲然として通り過ぎぬ。一森林の邊を通れるとき、敵の一負傷兵は彼女に救助を嘆願せり。『先づ汝の銃を——』と彼の銃を取り上げ、彈藥を除き彼を車に載せナンツイユの病院に導けり。

彼女は千九百十五年四月病を獲て再び起たず。我兵卒等は誠心を捧げて彼女の墳墓を三色花束にて飾れり。誠に彼女の如き以て佛蘭西婦人の龜鑑

と稱せざるべけむや。

カントン・バカラ嬢とド・メーストル嬢 千九百十四年八月二十四日、赤十字社は、カントン・バカラ嬢にソアッソン附近のヴァイクスパン野戦病院を委托したるを以て、カントン・バカラ嬢はジュヌヴィエーヴ嬢及びジャースド・メーストル嬢と共に其處に身を落着けたり。其の後間もなく白佛兩國の避難民到着し之を宿泊せしめぬ。三十日に至り殷々たる砲聲を聞きしが夕刻に至り英佛負傷者陸續として後送せられたり。三十一日獨逸軍は更に接近せり。而して竟に一人の參謀將校はカントン・バカラ嬢に立退を迫りしが『負傷兵の此處に止る間は決して立退かじ』と。而して親愛なる負傷兵をソアッソンに後送せしめ身は彼等に隨ひ、後再びヴァイクスパンに歸還せり。

翌朝村には最早一片のパンをも求め得ざりしを以て、彼女は之を手にせむ爲ソアッソンに引返し、而して砲戰の眞只中に身を挺して街路に斃れたる負傷者を看護するに努めたり。

時に敵の一將校、ピストルを手にし、忽焉として進み寄り衣服の徵發を強制したるを以て、餘義なく供給したり。

一人の中尉は、彼女に自働車に同乗すべき旨強制せり。偶々溝渠の中に一負傷者あるを認め、彼女は將校に停車せしめ、彼の負傷者(背廣服を身に着用せしも實は佛國一兵卒なりき)に赴き、其の軍隊手帳、小銃の類を巧に獨逸人の目より隱蔽し彼の生命を救助するを得たり。彼女は爾後二人の同僚と共に屈せず、撓まず忠誠の生活を續けたるが其の三人はやがて軍隊の表彰する所となれりといふ。

裝藥せざる小銃 佛國婦人協會員リュス・ギックス夫人は、八月二十一日勤務に従事すべくソアッソンに向ひ出發せり。彼女はルーベルに止まりて病患者を看護し居りたるに、翌朝獨逸軍到着せり。敵將校の一人は宣言するに、家屋を搜索して、若し無傷の英國兵若くは佛國兵を一人にても見出さば、凡ての婦人等を銃殺し家屋を焼き拂ふべき旨を以てしたり。幸にして一人の兵卒も發

見せられざりしと雖、負傷して野戰病院にて治療中の龍騎兵の小銃を發見せり。兵卒の一人は、何人が之を置きたるかを訊問するや、ギックス夫人は『それは妾なり』と答へぬ。『若しそれが裝藥せるものならば汝の不運立所に至らむ』と云ひ放つて、彼兵卒は彼女の胸に銃を擬しぬ。幸にして銃は裝填せられざりしものなりしかば、彼女は危く死を遁れたり。

九月七日獨逸の軍醫正は、ギックス夫人に出發する旨を告げ、驕慢なる態度を以て曰く『我等の前面には最早敵の片影を止めず、長驅して巴里を陥れむも僅々二日の後なるべし』と、同日アイテル親王とフォン・クルック將軍は負傷兵を見舞へり。然るに翌朝に至り俄然獨逸軍の形勢不利となり、九日彼等は市を撤退してラ・フェルテ・ゴシエの道を探らざるを得ざりき。

午後六時に至り、一負傷英國兵氣魂しき叫喚を發して全室を震駭せしめたり。彼は遂に英國喇叭の音譜を聞き同胞の到着を知れるなりき。傷病兵等は雀躍してラ・マルセーエーズを高唱し、ギックス夫人も欣喜して手の舞ひ足の

蹈む所を知らざりき。此の勇敢なる看護婦は三月間ルペーに止まり、次にヴィ
リエに赴き傳染病者の看護に従事せり。

小●小●ド●ニー●ズ●カル●チ●エ● 茲に卑賤の一少女が、其の勇氣に依り獨逸人を
瞳若たらしめたる佳話あり。幼きドニーズカルチエは、僅か九歳の身にて英
雄的行爲を爲して以て史中の人物たらしむることなど夢想だもせざりき。實に
彼の少女は友達と戯れ遊ぶの外餘念もなかりしなり。

千九百十四年九月二十七日敵の飛行機は巴里トロカデロ街に爆彈を投下
するや、偶々通りかゝれる彼の少女は其一破片の爲、脚部を挫けり。血に塗れ
ながら、彼の少女は母親と祖國佛蘭西の外他意なかりき。彼の少女が病院に
着き最初に發したる詞は、其重傷を母に告げざるべき願なりき。切斷手術の
場合にも彼の少女は努めて微笑を漏し、心痛せる母親に安心を與へむとせり。
而して母親を慰むる爲に健氣にも曰く「妾は祖國佛蘭西に脚を贈物とせるな
り」と。其後母親に毛絲と針を乞ひ、兵卒に贈る編物に着手し、而して此の事は

駈廻はり遊ぶよりも有益にして且樂みなる旨を物語れりといふ。

第六節 佛國に於ける學校と戰爭

(一九一六年八月一日ルツユ・デ・ドゥ・モント所載)

(摘要)本篇は佛國に於ける各種學校の教師及學生が、負傷兵の救護、慰安、軍人慰
問品の製作、寄贈、孤兒の救濟等に獻身努力しつゝあるの實狀を叙したる
ものにして、其の自發的愛國心極めて旺盛なるの一端を窺ふに足る。

今や學究的佛蘭西は、教師連の兵卒と爲りたること以外の方法に依りて、戰
闘的佛蘭西と密接なる關係を有するに至れり。先づ吾人は佛國大學に依り
て爲されたる無數の光輝ある戰時事業に就て説述するを要す。大學は初め
國民救濟事業に參與し、之が會長には大學教授にして世人より尊敬せらるゝ
アッペル氏を任じたり。

次で尙一層學校として應はしき事業に着手せり。即ち白耳義が貴き犠牲となり、其の小學教師は四散して爲す所を知らざるを見るや、直ちに「僚友白耳義人の法」(France des camarades belges)なる事業を創設したり。又佛國自身が侵略せらるゝに及び避難せる小學教師等をして、其の學齡兒童に關する事務に従事するに遺算なからしめむ爲「佛國人招待」(Accueil Français)と稱する事業を施設し、最後に戦亂の爲女教師中に寡婦の生ずるや、即ち立つて日々の施與物を分配する救済金庫を設けたり。

吾人は負傷者を學校に收容する事に就ては、茲に多くを云はざるべし。蓋し言はむと欲すれば、其の材料多きに過ぐるを以てなり。負傷者は小兒に對しては限りなき慈愛譬へば弟が兄に對するが如き高潮なる温情の目的物なりき。

負傷者は凡て己が母校に收容せられむことを希望したり。彼等の爲に温情溢るゝが如き世辭あり。人は己がデザートを節し、或は日々の食量を定め、

學校教師
と負傷者
の救護

以て彼等に之を與ふ、日曜日には彼等の爲に歌ひ、演藝を催す。又父たる負傷者には、その娘の爲に人形を齎しぬ。彼等に最も近き家に在る婦人は、彼等の衣服の世話を爲し、或は之を修繕す。然れども間もなく是等斷片的忠誠の心は、好意を表はすに不充分なるを認めらるゝや、各學校、各市は各々事業計畫を立てたり。是等事業中或る者は其の趣好と云ひ、温情と云ひ遺憾なし。例へば(兵卒の珈琲に砂糖を加ふる爲めの)砂糖片の製造、一週一回の鶏卵(此の事業はカルカソンヌ市の少女等に依り設けられ、之に依りて一病院の負傷者の獻立は一週鶏卵百五十個を増加せり)、野菜類の供給、枕、撞目杖、小遣錢等に關する諸事業の如き是れなり。

教師等は之を指揮し、或は場合に依り之に注意を與ふるのみ。彼等は其立場より自己に豊富なる科學、談話及愛情等に依り慰安したり。

即ち種々の講演は病院に於て行はれ、屢、聽衆に最も感動を與へ、又讀書を學ばざりしもの、或は之を忘却せしものには、個人的に課業を與へたり。而して

教師の負
傷者に對
する慰安
事業

是等年長の生徒は頗る温順なりし爲、教師はその報酬として獻身的に之に盡瘁せり。女教師は看護婦の用ふる白色の被布を爲せり。彼等は佛國婦人が嘗て爲したる總ての事を爲したり。是れ實に此の恐怖すべき時代に於ける美しき詩集とも稱すべきか。

ヴォジュ縣の一女教師は、如何にして負傷者と生徒とを分擔し得るやを人に問はれ簡單に答へたり。曰く、病院には夜勤するを以て、曾て教課を休みし事なし」と。負傷者退院する時にも小兒との關係は持續せり。戦争開始以來生徒等が教師の訓諭に依り、負傷者に對し敬禮する美しき習慣は之を示すに足らむ。往來頻繁なる都大路に於ては、負傷者は屢、生徒等の敬禮に會ひ、先づ意外の感をなし、やがて之が應接に暇あらずして疲勞を感ずる程なりと云ふ。人跡稀なる田舎に於ては、此の歡迎表示は一層價值あり。即ち敬禮を受くる人には公の尊敬、人類の尊嚴を意味し、之を爲す者には、恰も負債を減少するが如き感を與へ、又愛國的競争心の確證を意味すと謂ふべし。

各村の學
校羊毛の
本營とな
る

當時佛國は宛然是れ一個の廣大なる共同工作場なりしと雖、各村に於て羊毛の本營とも云ふべきは即ち學校に外ならず。人々は此處に相會合し互に誘導するなり。羊毛の貯畜が、非宗教的の學校にて減少せむか、一人の村の僧侶は自轉車に打跨り、附近の小間物店にて徵發し來るを見る。一年中數箇月間は、恰も婦人の爲の工藝雜誌たるの觀ある諸種の教育雜誌を面白く讀む事あり。又人一度、學校を訪れむか、商店と工場とを同時に訪れしが如き想をなし、此處彼處の隅々には既成品、未成品の種々の包を散見し、凡ての指頭が仕事に向て熱心に動きつゝあるを見るべし。之に關して使用羊毛の分量及送付物品數の統計に依れば、驚くべき巨額に達し、而かも前途愈増加せむとす。彼の女生徒の織妍たる指頭は、國家の如何なる事務も又如何なる工場も爲す能はざりし事業を善く爲し、尙數百萬法を節約し得、斯くして我兵卒等は善く寒氣を凌ぎ得たり。

田舎に於ては各人は先づ自己の村落より出征せる軍人の爲に働きたるが、

次で一種の共同生活を開始したり。

斯くして聯隊は中學の特別賓客となれり。斯る聯隊を第一に生じたるは縣立中學又は偶然に聯隊を舍營せしめてその何聯隊なるかを記憶せる學校なり。時に聯隊長は其義務供給者に爲すが如くに學校長に要求を爲し、而かも此の要求は常に認許せられたり。然れども要求にして充すに困難なるものありき。例へば海員の長靴に模し、塹壕の濕氣を防ぐに足るべき瀝青を塗抹せる布片にて造れる長靴の如き是れなり。總て必要なる送物の中に砂糖漬果物を取り入れ、殊に或る場合の如き、兵卒等を市民生活の祭日に參加する思あらしめ、彼等に多少なりとも歡喜の情を想起せしむる爲、何はさて措き菓子を入るゝを忘れざりき。

次に小兒は送物を爲す場合に、自ら進んで其の中に小通信文を書き加へたり。包中には必ず彼の可憐なる心を偲ばしむべき何物かを入れ置くを可とす。司令官は是等の行爲に對して各答ふる所あり。而して或學校の文庫に

教師及生徒の軍人慰問品

は聯隊長よりの書簡ありて、其の部下に對する親切と、彼等の背後に幾多奮激せる小國民あるを思ふ誇とを窺ふに足る。

小學教師は村の各兵卒が己れに宛てられたる包を受くべき様に萬事用意せり。是れ彼が最も嬉しく受くべきものにはあらざるか。包を郵便配達人より受取り其の宛名を發見したる時、兵卒は正に一の登簿番號たるを忘れ、再び一人に復せる思ひあらむ。而かも之を送る人は未知未見の人なり。然れども此の未知の人は、一人の友、一人の保護者なり。斯くて學校と塹壕との間に神秘的聯環の愛情を以て堅く結付けられたるなり。

日常の業務を有する外、凡て是等の臨時の業務を負擔せる學校生活を想像せられむことを。特に問題となり居る少女等は、自分等は誰しも無用の生存物たらざるを知ると共に、又男子の尊重すべきものなることを自覺せり。而して彼等は此の事に成功し、戦時に於ける學校史に於て、女學校々々に於て爲されたる廣大なる位置を占むるに至らむ。女學校長は千九百十四年以來の

女學校に於ける教師の活動

校舎生活を語れり。獻身てふ同一形式の單調なる反復も、讀者に強き印象を與ふるに足らむ。殊にそこには此の單調を破るべき原始的創意あるに於てをや。即ちAに於て生徒等は盲目の兵卒等に讀本を供給する爲に印刷を學べり。Bに於て教授等と二人の若き娘は一の避難所を開設し、而して之を管理せり。Cに於て女教師等は跛足の兵卒等を伴ひ、病院の常食物を改善する爲に市場に赴き、到る處に慈悲を乞ひ野菜を得たり。又學校が息子を失ひし母、夫を失ひし妻の爲に、喪服を製造せしことあるは夙に人の知る所なり。ラマルチン女學校の校長記して曰く、妾は多くの生徒等と八年乃至十年以來生活し、數人の同僚と二十年以來共に生活したるも、計らざりき、彼女等の道德的價値の斯く顯著ならむとは」と。然れば此處にも亦一の「佛國人の奇蹟」を生じたるなり。或種の感情は事件に依り喚起せられ特に鋭敏となれり、此の感情とは何ぞや。曰く佛國人は同一家族より出でたりといふ自覺と、最優良なる我小國民が、彼等自身の平穩及幸福に就て感じたる屈辱と、是れなり。願くは是

等の感情の永續せん事を。願くは我少女等が、彼女等の針の錆びるに任せず、其の學校の幸福なる格子の彼方に、單に戦争に依りてのみ生ぜざる不幸を注目する習慣を失はざらむことを。

終りに學校が其の役目として發表したるも、未だ開始の運びに至らざる二つの試みあり。戦争は既に無數の孤兒を生ぜり。於是目下之が保護取扱を、公の教育行政機關に委託せむとする法律を起草中なり。該法律が此の範圍に於て定めらるゝ時は、其の孤兒に對する第一の義務は、實に教育の義務なることを規定すべし。「學校の被後見人」てふ作業は、既に委託せらるゝ孤兒の爲に、學校内に保護の氣運を生起せしむるに努力しつゝあり。又既に貧困なる孤兒の教育に任ぜる富裕なる兒童より成る「戦争の兄弟姉妹」てふ團體あり。巴里の一中學校の或級にては、一女孤兒に嫁資を供せりと聞く。又官立中學校長等は無報酬にて孤兒を就學期間中世話すべき旨申出たり。世には父も母もなき孤兒あるべし。然れども家庭なき子供あらば、同時に子供なき家庭

あらむ。又是等子供なき家庭中には、我多くの女教師の寂寥なる家庭あり。而して人は、疑もなく擴がるべき運動即「戦争の母」なる事業を奨励する爲に女教師に多くの期待を有せり。該法案にして可決せられたる曉に於ては、既に準備の完成せる習俗と愛情と存する在るを見む。

大部分兩親なき千八百名のセルビヤ國小兒は佛國に到着せり。彼等の兩親は、或は死し或は放浪の巷にあり。是等千八百名の小兒は我多數の建築物中に分ち收容せられたり。彼等の教育及給養に就ては、國家之が費用を負擔せり。然れども國家が豫見し能はざるものあるを見るや、即各團體は、直に此等臨時被育者に對する救助委員會を設定せり。是等の委員會は其の可能的方法を以て國家と家庭とに代はらむとす。茲に特筆すべきは、我少女等がセルビヤ國の少女を抱擁して歡待措かざりし事是なり。可憐なる抱擁は、言語の相違が、他の方法にて斯く感動せし感情を表示し能はざりしに外ならず。斯くして我小兒等は我國に永久なる友を作れり。實に戦争は不幸を生ぜし

セルビヤ
より來れ
る孤兒の
救護

戦死者の
崇拝と學
校兒童の
祭祀

も、翻つて見れば又博愛なる語に十分徹底せる眞意を與へたりと謂ふべし。憐むべき孤兒は、我生徒等の此の博愛心、即殆ど家族的性質を帶べる感情に於るが如き博愛心中に失はれたる愛情の、最も確實なる代人を見出すを得たり。現代人は須らく、死者の追憶を永久にし墳墓を保持するを要す。彼に取りて此の慈悲の注意は、單に義務なるのみならずして、一種の負債とも云ふべきものならずや。彼は之を支拂ふに準備を怠らず。死者の崇拝は正に現時の名譽の一なり。祖國の爲斃れたる勇士の崇拝は、宗教上最も重要なる所行なり。此の祭祀に就き、小兒等は實に司祭者にして、今やユーゴの詩は幾多の學校に於て朝の祈禱の如くなれり。既に記念祭を舉行せし或市に於て、我學校の少年は優美にして沈着なる身振を以て、其の年長者の墳墓の上に大花束を捧げたり。是等の祭日に臨席せる英國士官は、我少年役僧の莊重なる態度を嘆賞して已まざりしといふ。ローレン州に於ては、墳墓は學校の兒童に依りて規則的に保護せらる。吾人は侵略せられたる或市に於ても、此の慈愛溢